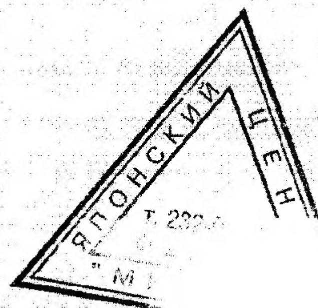
テーマ別

中級から学ぶ日本語

荒井礼子／太田純子／亀田美保／木川和子／桑原直子／長田龍典／松田浩志

改訂版



KENKYUSHA

はじめに

本テキストは、1991年に出版された『テーマ別　中級から学ぶ日本語』を改訂したものである。旧版は、「初級から中級、さらに、上級への橋渡しを目的」に、「日本の大学・専門学校に進学し学習・研究を目指す人々、また、日本社会との関わりの中で仕事に従事する人々」を対象に書かれたものである。旧版作成に当たっては、1. 初級で学習した項目を可能な限り応用するよう促すこと、2. 各課の新出項目導入を本文に限り、速読、聴解練習等でその項目を繰り返し読み、聞くことで達成感を持てるようにすること、3. 学習者の創造力が生かせるよう、多様な解答が可能な練習項目を設けること、4. 異なった文化背景を持った学習者が興味を持って共通の話題とできるテーマを設定すること、5. 学習者が既に持っているテーマに関する知識、意見を学習者同士が交換する過程で自然に日本語力を伸ばせる練習を設けること、などに主眼点を置いたが、上に掲げた、本テキストが対象として想定する学習者レベル、並びに、基本的な作成方針には一切変更はない。

幸いにして、旧版『テーマ別　中級から学ぶ日本語』をお使いいただいた先生方からは、テーマがあって学生たちが興味を持って学ぶことができる点、また、教える側もテーマに関する社会状況の変化にともない、毎年新しい情報を盛り込みつつ授業ができるという点を評価していただいた。

この度の改訂については、1. 先端医療、環境問題などを扱った課で古くなったデータを刷新すること、2. 語彙項目、文法項目で不適当なものを入れ替えること、3. 旧版出版時からご助言をいただいていた語彙数の増加を中心に作業を進めた。その結果、本文を全く書き換えた課が3課、大幅に書き換えた課が3課、その他第1課を除いて残りの課も全部、部分的に書き換えた。語彙数に関しては、旧版から使用頻度の少ない語を約60語削除、『テーマ別　上級で学ぶ日本語』から約100語を移動、更に、約200語を新しく導入し、総語彙数1350語(改訂前約1100語)とした。また、文法項目では **使いましょう** の入れ替え六か所、また、本文変更に伴い、**答えましょう**・**まとめましょう**・**話しましょう**・**書きましょう** の各練習も全面的に、また、一部分、必要に応じて変更した。

改訂に当たっては、過去十年以上にわたり、『テーマ別　中級から学ぶ日本語』を使っていただいた先生方からの励まし、ご助言、更には、当テキストを使って日本語学習をした幾多の外国人学生の皆さんからの反応が、何よりも作業推進の大きな原動力となった。研究社出版部の佐藤淳さんからは、忍耐強い励ましと御協力を得た。すべての皆様に心から御礼申し上げると同時に、本テキストが日本語学習、日本語教育の一助となり、皆様への御恩返しになることを心より願っている。

2003年6月
著者一同

『テーマ別　中級から学ぶ日本語』を使うために

1.　各課の構成とそのねらい

各課は、それぞれ、**本文・練習**(本テキスト)、**速読・聴解**(別冊「ワークブック」)の四つのセクションから成り、それぞれのセクションを一つのテーマが結んでいる。各課の表題として、そのテーマを象徴する動詞が使われている。四つのセクションには、以下に説明する個々のねらいが盛り込まれており、それが機能的に組み合わされ、授業で活用されれば、無理なく日本語の四技能が伸ばせる構成になっている。

2.　各セクションの構成とその使い方例

本文——ここで各課のテーマが紹介され、同時に、新しい文型、文法項目、語彙、漢字を導入する。本文に入る前の段階として、**新しい言葉**として新出語彙のリストを掲げると同時に、**いっしょに考えましょう**にテーマ導入のための質問が設けられている。

練習　**答えましょう**・**使いましょう**・**まとめましょう**・**話しましょう**・**書きましょう**の五つのステップに分けて練習する。

答えましょう　本文が理解できているかどうかを確認する目的で設けられた十問から成る。十問のうち、最後の二問は、テーマに関して学習者が自らの意見を述べるための設問。「教師用マニュアル」に詳述したが、テーマについて考えながら、自然に会話の練習ができるようにデザインされている。

使いましょう　新出の文型、文法項目を導入し、練習する。一度、本文を読むのに支障のない程度に文型、文法項目の説明、練習をしておき、本文読解後再度、口頭練習、書いて確認という順で学習項目が定着するよう意図されている。

まとめましょう　あるボリュームのものを読み、それを要約する練習。要約の一例をあげてあるが、最終的にはこのような形のヒント無しで要約できるようになることが理想。授業をするに当たっては、先ず、口頭で本文のまとめをし、その後**まとめましょう**の下線部を埋めて確認するという順序で進めると良い。

話しましょう　各課で扱われたテーマについて意見交換できるよう、本文についての反論・違う視点からの意見(**A**)、各課のテーマに関連する設問(**B**)が設けられている。(意見交換の後、そのまとめとして、テーマについて作文させるのも良いと思われる。)

書きましょう　原則として、口頭で練習しにくいもの、書き言葉として使われる言い回し、文型が選ばれている。二つの部分に分けられており、**A**で練習したものを組み合わせて更に複雑な練習を目指しているのが**B**である。

速読——語彙、文法項目、漢字等新出は一切ない。すべて、本文で既習のものである。題材は、各課のテーマに沿ったものであり、最終的には、十分以内で千五百字程度の文章が読めることを目指す。定められた時間内に読み、先ず、大筋の把握が

できているかどうかを○×式の設問で確かめ、その後、与えられた質問に答えを書かせ、理解度を再確認するようデザインされている。

聴解——学習者が出会うであろう聴解場面を、会話形式（I）と講演会・インタビュー等（II）に分け、聴解力を伸ばすことを目指す。同時に、本文等で扱いにくい話し言葉独特の表現の紹介も目指す。一度聞かせた後、準備された三択問題で大まかな把握ができているかどうかを確認し、その後、全体、あるいは、一部分の書き取り練習という形で理解度の再確認をする。

3. 新しい言葉 に載せた語彙項目の選択

各課の最初に設けられた 新しい言葉 にリストされている語彙項目の選択に当たっては、『日本語初歩』（国際交流基金日本語国際センター）で扱われたものを既習項目と考え、原則としてそれ以外のものを掲げたが、『初歩』以外を用いて初級学習を終えた学習者のため、必要だと思われる場合は、重複を承知で新語扱いした。漢字の振りがなに関しては、次の「4. 漢字と振りがな」に述べた原則に従ったが、新語リストでは、予習の際の便宜を考慮し、すべての漢字に振りがなをつけた。

4. 漢字と振りがな

本文下欄外に新出漢字を掲げてあるが、これも新語同様『初歩』を基準とした。*を付した漢字は、それ以前に新出漢字として扱われたものの読み替えである。本文では、新出漢字、並びに、新しい読み方に限って振りがながつけられている。

5. 『テーマ別　中級から学ぶ日本語』を使った授業例

a. 新しい言葉 を使って新出語の導入。予習だけでは応用が難しいと思われるものを中心に、例文を使って導入。使いましょう での練習対象語句は、ここでは扱わない。

b. いっしょに考えましょう を使って、テーマの紹介。

c. 使いましょう で練習する項目の導入。本文読解に支障をきたさない程度の練習にとどめておく。使いましょう の練習設問（A、B 等）はここでは使わない。

d. 本文読解。

e. 答えましょう を使って、本文の内容把握ができたかどうかの確認。最初は、口頭練習で確認し、その後、書かせて再確認する。

f. 使いましょう の設問 A、B 等を用いて、使えるようになるまで練習する。口頭で練習したものを書かせて確認する。

g. 聴解 I を使って聴き取り練習。一度聞いて三択設問で理解度確認。その後、書き取り練習の形で再確認する。

h. まとめましょう を使って、口頭で、次に下線部埋めの順で本文要約練習。

i. 速読用読み物を使う。一度読ませて設問 A で内容を確認後、設問 B を書いて答えさせ、再確認する。

j. 話しましょう の A を使って、本文についての意見交換。

k.　書きましょう を使って練習。

l.　聴解 II を使って聴き取り練習。一度聞いて三択設問で理解度確認。その後、書き取り練習の形で再確認する。

m.　話しましょう の B を使って、テーマについての意見交換。

n.　作文を書く。答えましょう の 9，10 番、あるいは、話しましょう を使う。

(*別冊「教師用マニュアル」に 使いましょう・答えましょう・まとめましょう・書きましょう の解答例を付したが、模範解答としてではなく、あくまで一例として使っていただければ幸いである。使いましょう 以下、いずれの項目もできるだけ多くの答えが可能なようにデザインされており、学習者に多様な答えを出すよう奨励されたい。)

目　次

第１課　［たとえる］



新しい言葉

たとえる	言(い)う	役(やく)に立(た)つ
口(くち)に出(だ)す	また	でも
額(ひたい)	便利(べんり)ナ・ニ	小判(こばん)
昔(むかし)	全然(ぜんぜん)(～ない)	本棚(ほんだな)
並(なら)べる	是非(ぜひ)	



いっしょに考えましょう

1. 皆さんの国では、猫(ねこ)はどんな動物だと言われていますか。
2. 「猫のような人」と言われたら、どんな人のことを考えますか。
3. 犬はどうですか。
4. 「借(か)りてきた猫」という言い方がありますが、どんな意味だと思いますか。
5. 皆さんの国で、話の中によく出てくる動物は何ですか。

[たとえる]

忙しくて忙しくて、だれでもいいから一人でも多くの人に手伝ってもらいたい。そんなとき、日本語では「猫の手も借りたいほどだ」とたとえて言います。たとえ猫が手伝ってくれてもそれほど役に立つとは思えませんが、何か口に出して言いたいと思って、こう言うのです。

また、「私の家には庭があります。でも狭いですよ」と言いたければ、これも「猫」を使って、「猫の額ほどの庭があります」と言います。猫にも額の広い猫と狭い猫がいると思うので、日本語の分かる猫に聞かれたら、「失礼じゃないですか」と怒られてしまいそうです。

まだまだたくさん「猫」のお世話になる便利な言い方はあるのですが、「猫に小判」という言い方ほど面白いものはないでしょう。小判は昔のお金ですから、今なら「猫に一万円」と言えば、意味が分かるでしょうか。高い辞書を持っていても、全然使わずに本棚に並べておくだけの人に、「猫に小判だね」と言うのです。

猫だけではなく、犬、牛、馬など、人と昔から生活をしてきた動物たちを使った言い方がたくさんあります。皆さんの国の言葉にも「猫の手」や「猫の額」、そして「猫に小判」などと同じような言い方がありますか。あれば是非それを紹介してください。

忙　*伝　猫　借　*私　庭　狭　額　*分　怒　便　判　面　昔
*味　然　棚　並　皆　是　非　紹　介



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 忙しくてだれかに手伝ってもらいたいとき、何と言いますか。
2. そう言ったら、本当に猫が手伝ってくれるのでしょうか。
3. どうしてそう言うのですか。
4. 「庭があるけれど、とても狭い」と言いたいときにも猫を使って言います。何と言いますか。
5. 猫を使った言い方はほかにどんなものがありますか。
6. それはどんな意味ですか。
7. どういうときに、それを使いますか。
8. どうして猫や犬、牛、馬などを使った言い方が多いのでしょうか。
9. 皆さんの国にも「猫に小判」と同じ意味の言葉がありますか。
10. 皆さんの国ではどんなとき、動物を使ってたとえて言いますか。



使いましょう

A 「～と言います」という言い方を練習しましょう。

例: じょうずにおよぐ人を見たとき、「魚のようだ」と言います。

1. まだ四月なのにとても暑いとき、「＿＿＿＿」と言います。
2. かわいい女の子を見たとき、「＿＿＿＿」と言います。
3. 寒くて手が冷たくなったとき、「＿＿＿＿」と言います。
4. ＿＿＿＿とき、「猫の額ほどの庭」と言います。
5. ＿＿＿＿とき、「猫に小判」と言います。

B 「たとえ～ても」という言い方を練習しましょう。

例: たとえ猫が手伝ってくれても、それほど役に立つとは思えません。

1. たとえみんなでそうじをしても、あまり＿＿＿＿とは思えません。
2. たとえ高い物を使っても、それほど＿＿＿＿とは思えません。
3. たとえタクシーで行っても、＿＿＿＿とは思えません。
4. たとえ＿＿＿＿ても、それほどじょうずになるとは思えません。
5. たとえ＿＿＿＿ても、それほどこまるとは思えません。

C 「～ほど～はない」という言い方を練習しましょう。

例: 面白い言い方はいろいろありますが、「猫に小判」という言い方ほど面白いものはないでしょう。

1. 私の国に山はたくさんあるのですが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はないでしょう。
2. 人間といっしょに生活してきた動物はいろいろありますが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はないでしょう。
3. おいしいものはたくさんありますが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はないでしょう。
4. いろいろな言葉を習いましたが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はないと思います。
5. いろいろな所へ旅行しましたが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はありませんでした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

日本語には＿＿＿＿がいろいろあります。「＿＿＿＿」や「＿＿＿＿」や「＿＿＿＿」など、どれも面白い言い方です。どの国にも＿＿＿＿がありますが、これはその動物が＿＿＿＿からだと思います。



話しましょう

Ａ 第１課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「動物の名前を使ったような言い方は、面白くて便利です。でも、私のように日本語を習っている学生には、むずかしいです。私はおぼえようとは思いません。『猫の額』よりも『狭い』という言葉をおぼえる方が、もっと大切だと思います」

Ｂ 皆さんの国で、子どもでもおとなでも知っている面白い言葉を教えてください。



書きましょう

Ａ–1 ＿＿＿＿て、＿＿＿＿て、だれ(に)でもいいから、＿＿＿＿てもらいたかった。

例：うれしい → うれしくて、うれしくて、だれ(に)でもいいから、話を聞いてもらいたかった。

1. むずかしい →
2. さびしい →
3. つらい →

A-2 ＿＿＿て、＿＿＿ほどだった。

例：おかしい → おかしくて、おなかが痛くなるほどだった。

1. 高い →
2. 寒い →
3. おいしい →

B ＿＿＿たら、＿＿＿ので、＿＿＿て、＿＿＿ほどだった。

例：トムの昔の写真を見た ⇨ 今と全然ちがっていた ⇨ おかしい
→ トムさんの昔の写真を見たら、今と全然ちがっていたので、おかしくて、おなかが痛くなるほどだった。

1. 家に帰った ⇨ 国の友だちから手紙が来ていた ⇨ うれしい →
2. 友だちに料理を作ってもらった ⇨ しおとさとうをまちがえた ⇨ からい →
3. 映画を見に行った ⇨ 日曜日だった ⇨ 人が多い →

第2課　[つたえる]



新しい言葉

(招待)状((しょうたい)じょう)	クラブ	ずっと
決(き)まる	にこにこスル	広告(こうこく)スル
直(なお)す	(1) DK	マンション
(六)畳((ろく)じょう)	(一)間((ひと)ま)	国際(こくさい)
大丈夫(だいじょうぶ)	きっと	家庭(かてい)
しばらく	ごぶさたスル	さて
過(す)ぎる	思い出(おもいで)[←思い出す]	始(はじ)める
記念(きねん)スル	知(し)らせる	どうか
楽(たの)しみナ・ニ	日時(にちじ)	場所(ばしょ)
会館(かいかん)		



いっしょに考えましょう

1. 日本へ来てから、どんな人に手紙をもらいましたか。
2. 今までもらった手紙やカードの中で、一番うれしかったものは何ですか。
3. どんなときに手紙を書き、どんなときに電話をかけますか。
4. 友だちや家族に自分の気持ちを言いたいとき、手紙と電話と、どちらがいいですか。
5. 日本人やほかの国の友だちと話すとき、どんなことが難(むずか)しいですか。

[つたえる]

陽一(よういち)とアンさんから結婚式の招待状が来た。二人とは、学生時代から学部もクラブもずっと同じだったので、家族のだれかが結婚するようで、とてもうれしい。招待状も、昔からの決(き)まった言葉をたくさん並べたものではなく、二人の気持ちを伝える大変(たいへん)いいもので、二人がにこにこしながら「来てくださいね」と言っているようだった。

招待状をもらってすぐに、陽一の勤(つと)めている広告(こうこく)会社に「おめでとう。良かったな」と言って、電話をかけた。「いい招待状だな」と言うと「あれはアンが書いたのを、僕(ぼく)が少し直(なお)したんだよ。1DK のマンションで六畳一間(ろくじょうひとま)だけれど、また遊びに来てくれよ」と言っていた。

国際(こくさい)結婚は難(むずか)しいと言うけれど、二人は大丈夫(だいじょうぶ)。きっといい家庭(かてい)を作るだろう。



陽　決　変　勤　*広　告　僕　直　畳　際　難　丈　夫　*庭

[つたえる]

しばらくごぶさたしておりますが、皆様、お元気でしょうか。いつもいろいろとお世話になっています。

さて、私たちは今度結婚することにしました。学生時代に小林先生のクラスで初(はじ)めて会い、それからもう五年が過(す)ぎました。結婚式には、たくさんいい思い出を作ってくださった小林先生も来てくださるそうで、とても喜(よろこ)んでいます。

私たちが新しい生活を始(はじ)める記念の日に、皆様にも是非来ていただいて、御一緒(ごいっしょ)に楽しくお話ししたいと思います。お忙しいとは思いますが、来ていただければとてもうれしいです。お待ちしております。

お返事を十日までにお知らせください。どうかよろしくお願いいたします。

（陽一）　みんなが来てくれて、クラス会になったらいいなあ。

（アン）　国から両親も来てくれるので、楽しみにしています。

日時　十一月二十三日（日）午後二時
場所(ばしょ)　桜(さくら)会館

十一月三日　　　　中村(なかむら)　陽一
アン・シャリー

初　過　喜　始　御　緒　*場　桜



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 二人が初めて会ったのはどこですか。
2. 二人が結婚するということを知って、この人はどう思いましたか。
3. この人はこの招待状をどう思っていますか。
4. 招待状をもらって、この人はどうしましたか。
5. 結婚式はいつ、どこで行われますか。
6. 結婚式にはどんな人たちが集まりますか。
7. 返事はいつまでにしなければなりませんか。
8. この人は二人の結婚は難しいだろうと思っていますか。
9. これまでに招待状をもらったことがありますか。それはどんな招待状でしたか。
10. これまでに招待状を出したことがありますか。それはどんな招待状でしたか。



使いましょう

A-1 「〜ことにした」という言い方を練習しましょう。

例: 私たちは今度結婚することにしました。

1. 私は来年＿＿＿＿＿ことにしました。
2. 私は今度の休みに＿＿＿＿＿ことにしました。
3. 私はあした＿＿＿＿＿ことにしました。
4. 私はきょうから＿＿＿＿＿ことにしました。
5. 私は今晩＿＿＿＿＿ことにしました。

A-2 例: A: 今度のスキー旅行に行きますか。
B: 私は今年も行くことにしました。

1. A: いつ国へ帰るのですか。
   B: ＿＿＿＿＿ことにしました。
2. A: 今度の日曜日には、何をするのですか。
   B: ＿＿＿＿＿ことにしました。
3. A: あれ、あしたパーティーへ行かないのですか。
   B: ＿＿＿＿＿ことにしました。
4. A: ずいぶん早く起きるのですね。
   B: ＿＿＿＿＿ことにしたのです。
5. A: ずいぶん早く帰るのですね。
   B: ＿＿＿＿＿ことにしたのです。

B–1　「〜よう」という言い方を練習しましょう。

例：昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようです。うれしいです。
→ 昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようで、うれしいです。

1.　あの人と話をすると、妹と話しているようです。うれしいです。
→ あの人と話をすると、＿＿＿＿＿。
2.　あのレストランがなくなると、家がなくなるようです。さびしいです。
→ あのレストランがなくなると、＿＿＿＿＿。
3.　手紙が来ないと、わすれられたようです。かなしくなります。
→ 手紙が来ないと、＿＿＿＿＿。
4.　この音楽を聞くと、国へ帰ったようです。楽しくなります。
→この音楽を聞くと、＿＿＿＿＿。
5.　あの人に会うと、母に会ったようです。元気になります。
→ あの人に会うと、＿＿＿＿＿。

B–2　例：昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようでうれしいです。

1.　＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿ようで元気になります。
2.　＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿ようでいやになります。
3.　＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿ようで楽しくなります。
4.　＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿ようでさびしいです。
5.　＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿ようでかなしいです。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿から＿＿＿＿＿をもらった。＿＿＿＿＿ようで、とてもうれしい。＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿ではなく、＿＿＿＿＿を伝える大変いいものだった。結婚式には＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿もいらっしゃるそうだ。よく＿＿＿＿＿と言われているが、二人は＿＿＿＿＿と思う。



話しましょう

A　第２課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「この招待状は、国際結婚をする二人が書いたものだから、これでもいいですが、

私は、昔の人が考えて今まで伝えてきたことには、いろいろな意味があると思うので、決まった言葉や書き方などを大切にする方がいいと思います」

B 言葉で伝えることができないものがあると思いますか。それは何ですか。



書きましょう

A ＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿ではなく、＿＿＿＿＿いいものだった。

例: 二人からの招待状 → 二人からの招待状は難しい言葉を並べたものではなく、二人の気持ちを伝えるいいものだった。

1. 私たちのきょうかしょ →
2. 友だちからのプレゼント →
3. 入学式での先生の話 →

B 招待状を書きましょう。

＿＿＿＿＿様

しばらくごぶさたしておりますが、皆様、＿＿＿＿＿でしょうか。いつもいろいろとお世話になっております。

さて、今度＿＿＿＿＿ことにしました。お忙しいとは思いますが、＿＿＿＿＿たいと思いますので、是非＿＿＿＿＿てください。お待ちしております。

日時＿＿＿＿＿

場所＿＿＿＿＿

月　　日

＿＿＿＿＿

1. クラス会 →
2. たんじょう日のパーティー →

第3課　［はたらく］



新しい言葉

やっぱり(＝やはり)
〜とか
〜なんて
あら
おみやげ
それでも
眠(ねむ)い
このごろ
転勤(てんきん)スル
〜より

無理(むり)ナ・ニ
番組(ばんぐみ)
もちろん
すごい
CD
パソコン
がんばる
慣(な)れる
チーム
(場所の名前)九州(きゅうしゅう)

できるだけ
楽(らく)ナ・ニ
冗談(じょうだん)
この前(まえ)
頭(あたま)にくる
ゲーム
偉(えら)い
この間(あいだ)
足(た)りる



いっしょに考えましょう

1. 日本では仕事のために一人で生活している人がおおぜいいますが、皆さんの国ではどうですか。
2. 家族のだれかが、仕事のためにみんなとわかれて遠くへ行っていたことがありますか。
3. そのとき毎日れんらくしましたか。
4. そのとき家族の生活は前と同じようでしたか。
5. こういう家族はこれからもふえると思いますか。

[はたらく]

お父さん、一人で寂しくないですか。九州は遠くてあまり帰れないから、毎日手紙を書けと言われたけれど、やっぱりちょっと無理です。でも、できるだけ書くようにします。ごはんのときは、いつもみんなでお父さんのことを話しています。まだ会社で働いているかなとか、もううちに帰ってこの番組見てるかなとか。

今晩もカレーを食べながらお父さんのことを話しているとき、お母さんは、お父さんがいない方が食事の用意が楽でいい、なんて言っていました。もちろんこれは冗談で、本当はとても寂しがっているんです。電話が鳴ると「あら、お父さんかしら」と、すごくうれしそうな顔をするので分かります。

ミエは、お父さんがこの前おみやげに買ってきてくれたCDを、とても喜んで聞いています。ミエは、「お父さんはミエのことが一番好きなんだよ」と言うので、僕はちょっと頭にきていますが、それでもミエはまだ小さいんだからと思って、何も言いません。でもお父さん、僕には新しいパソコンゲームを買ってきてね。

僕は毎朝六時に起きて、ドンに散歩をさせています。お父さんとの約束だから、眠くてもがんばってやっています。偉いでしょう、お父さん。初めは、いつも散歩に連れていってくれた人と違うので、ドンは嫌がって一緒に行きたがらなかったけど、このごろは慣れてきたようです。この間、ドンをくれた前田さんに会ったので、お父さんが転勤で九州へ行ったって話すと、残念がっていました。前田さんの野球チーム、また

---

*父　寂　州　無　働　*組　*母　冗　談　当　鳴　好　頭　散

*歩　束　眠　偉　連　違　嫌　慣　*勤　残

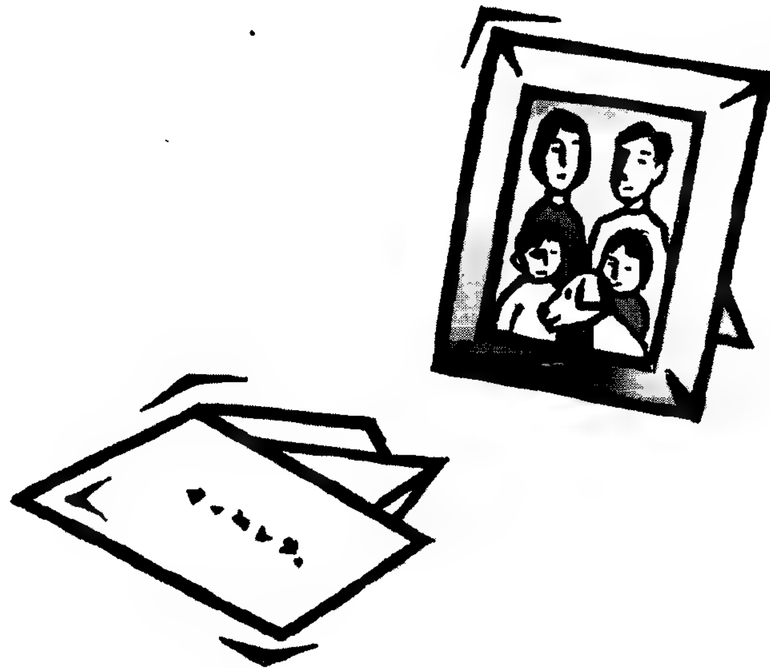
[はたらく]

人が足(た)りなくなったそうです。お父さん、少しは運動していますか。運動しないとすぐ太(ふと)るから、できるだけたくさん運動してください。

じゃ、もう遅(おそ)いからこれでやめます。お休みなさい。

お父さんへ

進一(しんいち)より



*足　太　遅　進



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 進一は何が「ちょっと無理だ」と言っていますか。
2. どうして毎日手紙を書けと言われましたか。
3. お母さんはどんな冗談を言っていますか。
4. 冗談だということがどうして分かりますか。
5. ミエが「お父さんは私が一番好き」と言っているのはどうしてですか。
6. それを聞いて進一はどう思っていますか。
7. 進一とお父さんは手紙のほかにどんな約束をしましたか。
8. 前田さんはお父さんが九州へ行ったことを聞いて、どうして残念がりましたか。
9. 子どものとき、お父さんとどんな約束をしましたか。
10. 子どものとき、どんなことをしてお母さんを手伝いましたか。



使いましょう

A 「〜がる」という言い方を練習しましょう。

例: 母は父がいないと楽だと言っていました。もちろんこれは冗談で、本当は寂しがっているんです。父が電話をかけてくると喜ぶので分かります。

1. 母は子どもがいないと静かでいいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_________。学校から帰ってくると_________ので分かります。
2. 母は家が狭いとそうじが楽でいいと言っていました。もちろんこれは冗談で、本当は_________。家の広告を見ると_________ので分かります。
3. 弟はお父さんがいないとうれしいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_________。お父さんが帰ってくると_________ので分かります。
4. 父はネクタイは一本あればいいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_________。ネクタイをプレゼントにもらうと_________ので分かります。
5. 母は父と出かけるとけんかになると言っていました。これはもちろん冗談で、本当は_________。父が出かけようと言うと_________ので分かります。

B 「できるだけ〜ようにする」という言い方を練習しましょう。

例: できるだけ手紙を書くようにしています。

1. ちょっと太ってきたので、できるだけ_________ようにしています。
2. 来年アメリカへ行きたいので、できるだけ_________ようにしています。
3. 教室の中ではできるだけ_________ようにしています。

4. 体に悪いので、できるだけ________ようにしています。
5. 早くじょうずになりたいので、できるだけ________ようにしています。

C 「～なんて」という言い方を練習しましょう。

例: A: 辞書がなければこれは読めないでしょう。
B: 辞書なんてなくてもいいです。

1. A: かさを持って行かないと、雨にふられるかもしれませんよ。
B: ________なんて________。
2. A: ほら、今晩はカレーよ。おいしそうでしょ。
B: ええ、またカレー。________なんて________。
3. A: 二十本もビールを飲んだんですよ。
B: ________なんて________。
4. A: 新聞を読まないんですか。
B: ________なんて________。テレビがあるから。
5. A: 車を買わないんですか。
B: ________なんて________。こんなに便利なんだから。

D 「～とか～とか」という言い方を練習しましょう。

例: ごはんのときいつも[うちに帰っているかな][この番組を見ているかな] ⇨ ごはんのときいつもうちに帰っているかなとか、この番組を見てるかなとか言っています。

1. すきやきを作るのには[肉][やさい] ⇨
2. 家の広告にはいつも[駅から近くて便利][新しくてきれい] ⇨
3. かれに電話するといつも[来週は行く][あとで返事をする] ⇨
4. 先生はいつも[勉強しなさい][がんばりなさい] ⇨
5. あの人に会うといつも[一日五時間勉強した][スポーツがよくできた] ⇨



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

進一君は________ので、________ているお父さんによく手紙を書く。この手紙によると、お母さんは________が、本当は________そうだ。進一君も、お父さんとの約束を________て、________ている。この手紙を読むと、________ことがよく分かる。



話しましょう

A 第３課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「仕事も大切かもしれませんが、それよりもやはりみんなで生活する方が大切です。お金より家族の方が大切でしょう。この家の子どもたちはまだ小さいし、お父さんがいて、いろいろ教えなければいけないこともあると思います」

B 家族とわかれて生活しなければならなくなったとき、どんなことに注意しますか。



書きましょう

A-1 ＿＿＿に＿＿＿から、＿＿＿(しろ)と言われましたが、やはり毎日は少し無理です。けれども、できるだけ＿＿＿ようにしています。

例: 父は手紙を書きなさいと言いました。

→ 父に、あまり帰れないから手紙を書けと言われましたが、やはり毎日は少し無理です。けれども、できるだけ書くようにしています。

1. 母は、外で食べないで自分で料理をして食べなさいと言いました →
2. 中学の先生は、毎日新しい言葉を五つおぼえてノートに書きなさいと言いました →
3. 友だちは、ラジオを聞くときはテープにとって、あとからもう一度聞いた方がよいと言いました →

A-2 ＿＿＿は、初めは＿＿＿が、このごろは＿＿＿てきたようです。＿＿＿も＿＿＿と言っています。

例: ジョンさんもナンシーさんも漢字が面白くなりました。

→ ジョンさんは、初めは漢字を嫌がっていましたが、このごろは面白くなってきたようです。ナンシーさんも面白くなってきたと言っています。

1. タンさんもキムさんも日本料理が好きになりました →
2. ナンシーさんもカレンさんも電車に慣れました →
3. チェッタさんもチャンさんもテレビがきらいになりました →

第４課　［あきれる］



新しい言葉

(〜た)ばかり	ころ	満員(まんいん)
我慢(がまん)スル	不思議(ふしぎ)ナ・ニ	(〜て)たまらない
座席(ざせき)	眠(ねむ)る	サラリーマン
化粧(けしょう)スル	大声(おおごえ)	時々(ときどき)
だめナ	じっとスル	夢中(むちゅう)
うるさい	大人(おとな)しい	空(あ)き(缶(かん))
缶(かん)	片付(かたづ)ける	続(つづ)ける
途中(とちゅう)	お年寄(としよ)り	あきれる
礼儀正(れいぎただ)しい	育(そだ)てる	心配(しんぱい)ナ



いっしょに考えましょう

1. 外国へ行って驚(おどろ)いたことは何ですか。
2. その国で良いと思ったことは何ですか。
3. 良くないと思ったことは何ですか。
4. 皆さんの国で良くないと思うことはどんなことですか。
5. 外国へ行ったとき、どんなことにすぐ慣れましたか。慣れないことは何でしたか。

[あきれる]

毎日利用する電車は、日本人を知るのにちょうどよい教室のようなものです。日本に来たばかりのころは、朝の満員電車にどうして我慢できるのだろうかと不思議でたまらなかったし、夜は、お酒のにおいをさせて座席で眠っているサラリーマンを見て驚いたこともありました。

この間は、きれいに化粧した若い母親が二人、三、四歳の子供を連れて乗ってきました。子供たちは「ここ、ここ」と大声を出しながら席を取り、靴を脱ぐとすぐ、いすの上で騒ぎ始めました。母親たちは時々「やめなさい」とか「だめよ、じっとしてなさい」と注意するのですが、本当にやめさせようという気持ちはなさそうで、自分たちも話に夢中です。子供たちが騒ぎすぎてうるさくなると、かばんの中からお菓子やジュースを出してやります。子供たちはそのときだけちょっと大人しくなりますが、空き缶や紙くずは片付けません。母親たちは、一生懸命話を続けています。途中で大きい荷物を持って乗ってきたお年寄りがいたのに、立とうともしないので、あきれてしまいました。

このように、日本の若い母親の中には時々子供のような人もいます。日本に来る前は、日本人は親切で礼儀正しいと聞いていましたが、本当にそうなのでしょうか。私は日本が大好きですから、こんな母親や、こんな母親に育てられている子供たちを見ると、ちょっと心配になってくるのです。

満　我　慢　不　*思　議　座　驚　化　粧　若　*親　歳　供
靴　脱　騒　（々）　夢　菓　*子　*大人　*空　缶　片　付　*生
懸　命　続　途　寄　儀　配



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. ある日どんな母親が電車に乗ってきましたか。
2. 子供たちは電車に乗るとすぐ何を始めましたか。
3. 母親たちはどうして子供たちを静かにさせなかったのでしょうか。
4. 子供にお菓子をやったのはどんなときでしたか。
5. 途中で乗ってきたのはどんな人でしたか。
6. この人があきれたのはどうしてですか。
7. この人は日本に来る前、日本人はどんな人たちだと聞いていましたか。
8. どうして電車は日本人を知る教室なのですか。
9. 外国へ行ったとき、このようなことを見たことがありますか。
10. 皆さんの国ではこの話と同じようなことがありますか。



使いましょう

A－1　「～(さ)せる」という言い方を練習しましょう。

例:　子供がマッチで遊んでいたらどうしますか。⇨ すぐやめさせます。

1. 友だちが、ねつがあるのに仕事に行くと言ったらどうしますか。
   ⇨ ＿＿＿＿＿せます。
2. 子供を丈夫にするためにどうしますか。
   ⇨ ＿＿＿＿＿せます。
3. 先生はどのようにして新しい言葉を教えますか。
   ⇨ ＿＿＿＿＿せます。
4. 子供のへやがきたなかったらどうしますか。
   ⇨ ＿＿＿＿＿せます。
5. 電車の中で子供たちが騒いだらどうしますか。
   ⇨ ＿＿＿＿＿せます。

A－2　例:　A:　きょうは八時まで仕事をしてくれますか。
B:　すみません。きょうはつかれているので、帰らせてください。

1. A:　＿＿＿＿＿。
   B:　いいえ、きょうは私にはらわせてください。
2. A:　＿＿＿＿＿。
   B:　すみません。日曜日だけは休ませてください。
3. A:　＿＿＿＿＿。
   B:　もう少し考えさせてください。

4. A: ＿＿＿＿＿。
   B: いいえ、この仕事は私にやらせてください。
5. A: ＿＿＿＿＿。
   B: じゃあ、もう一度説明させていただけませんか。

B 「〜たばかり」という言い方を練習しましょう。

例: 日本に来たばかりなので、何も分かりません。

1. ＿＿＿＿＿なので、まだあたたかいです。
2. ＿＿＿＿＿なので、まだきれいです。
3. ＿＿＿＿＿なので、まだ顔もあらっていません。
4. ＿＿＿＿＿なのに、もうわすれてしまいました。
5. ＿＿＿＿＿なのに、もうおなかがすいてしまいました。

C 「〜て(で)たまらない」という言い方を練習しましょう。

例: どうして我慢できるのだろうかと不思議でたまりませんでした。

1. ＿＿＿＿＿のが、うれしくてたまりません。
2. ＿＿＿＿＿のが、嫌でたまりません。
3. ＿＿＿＿＿ときは、寂しくてたまりませんでした。
4. ＿＿＿＿＿て、家に帰りたくて帰りたくてたまらなくなりました。
5. ＿＿＿＿＿ときは、＿＿＿＿＿たまりません。

D 「〜と聞いていた」という言い方を練習しましょう。

例: 日本人は礼儀正しいと聞いていたのに、そうでもありませんでした。

1. 日本は＿＿＿＿＿と聞いていたのに、そうでもありませんでした。
2. この学校は＿＿＿＿＿と聞いていたのに、そうでもありませんでした。
3. サラリーマンは＿＿＿＿＿と聞いていたのに、そうではありませんでした。
4. 日本語は＿＿＿＿＿と聞いていたのですが、やはりそうでした。
5. タイの料理は＿＿＿＿＿と聞いていたのですが、やはりそうでした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿ようなものだ。日本へ来たばかりのころは＿＿＿＿＿に驚かされた。この間も若い母親が二人＿＿＿＿＿。子供が＿＿＿＿＿のに、母親たちは＿＿＿＿＿に夢中だ。＿＿＿＿＿のに＿＿＿＿＿ので、あきれてしまった。

日本に来る前には＿＿＿＿＿と聞いていたが、本当にそうだろうか。



話しましょう

A　第４課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の国では、電車の中などで子供が騒いだときには、ほかの人でも注意します。騒いでいる子の親が嫌な顔で見ても、ほかの人がこまるということを、もっと子供に教えなければいけないと思います」

B　もし電車の中で近くにいる子供が騒いだら、どうしますか。



書きましょう

A−1　＿＿＿＿＿のに、＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿てしまいました。

例：お年寄りがいる ⇨ 立とうともしない

→ お年寄りがいたのに、立とうともしないので、あきれてしまいました。

1. 一週間ダイエットをした ⇨ やせない →
2. 料理を作った ⇨ 食べてくれない →
3. 先生に教えてもらった本を買った ⇨ 分からない →

A−2　＿＿＿＿＿たばかりのころは＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿に＿＿＿＿＿。

例：日本に来た

→ 日本に来たばかりのころは、電車の中で騒いでいる子供たちや、お年寄りが乗ってきても立とうともしない若い人に驚きました。

1. 日本語の勉強を始めた →
2. この町に住み始めた →
3. 結婚した →

第5課　［たべる］



新しい言葉

気(き)が合(あ)う
もの
むく
止(と)まる
おかしい
ただ
旅(たび)スル
片言(かたこと)
つく
努力(どりょく)スル
仲間(なかま)
ある～
包丁(ほうちょう)
すっかり
当(あ)たり前(まえ)
変(へん)ナ
土地(とち)
一杯(いっぱい)
囲(かこ)む
おしゃべりナ
皮(かわ)
片手(かたて)
結局(けっきょく)
理由(りゆう)
口(くち)にする
知(し)り合(あ)い［←知り合う］
返(かえ)ってくる
特別(とくべつ)ナ・ニ



いっしょに考えましょう

1. 好きな料理を五つ、きらいな料理を三つ教えてください。
2. どこで、だれと、どんなものを食べるとき、一番おいしいと思いますか。
3. あまりおいしくないと思うのは、どんなときですか。
4. 外国(たとえば日本)の料理で、皆さんの国の料理と同じものを使っているのに、料理のし方が違うと思ったものがありますか。
5. 皆さんの国にしかない食べ方や食べ物があれば説明してください。

[たべる]

気の合う仲間が集まって、おしゃべりをしながら一緒に飲んだり食べたりするのは楽しいものだ。あるとき、こんなことがあった。みんなで料理を作っているとき、一人がトマトの皮をむいてお皿に並べ始めた。するとほかの人が「あなた、トマトは皮をむかないものよ」と言った。そう言いながら、その人は包丁片手にキュウリの皮をむいている。「あら、私の家ではキュウリの皮はむかないわ」とトマトの皮をむいた人は言う。それからしばらく、むく、むかない、どちらが正しい、正しくないと、みんなが言い始めて、料理の手はすっかり止まってしまった。結局「こんな小さなことでもいろいろ違うものね」で、この騒ぎは終わった。

自分の今までやってきた食べ方、料理のし方と違えば、少しおかしいと思うのは当たり前のことだが、その理由をよく考えてみると、ただ慣れていないだけということが多い。最初は変だと思っても口にしてみると、思っていたよりおいしかったということもよくある。

世界中を旅している人に、どうしたらその土地の人と知り合いになれるのかと聞いてみると、「片言でもいいから、そこの人たちの言葉を話し、一緒におなか一杯食べ、飲むことだ」という答えが返ってきた。世界は広いのだから、トマトの皮をむく人もむかない人もいる。皮がついているかいないかは問題ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで、飲み、食べ、一緒に笑うことが大切だ。そうすれば、特別な努力をしなくても、いい友達を作ることができるということなのだろう。

合　仲　皮　皿　包　局　*当　*初　*中　*旅　杯　囲　笑　特
別　努　力　達



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. トマトの皮をむいた人に、ほかの人は何と言いましたか。
2. キュウリの皮をむいた人に、だれが何と言いましたか。
3. みんなでどんなことを話し始めましたか。
4. みんなで話して、結局どうなりましたか。
5. 自分と違う食べ方はおかしいと思うのは、どうしてだと言っていますか。
6. 世界中を旅行している人に、どんなことを聞きましたか。
7. その人からどんな答えが返ってきましたか。
8. 友達を作るには、何をすることが大切だと言っていますか。
9. 皆さんは友達とよく集まりますか。
10. そのときどんな料理を作ることが多いですか。



使いましょう

A-1　「～ものだ」という言葉を練習しましょう。

例：食事のとき、話をする。
→ 食事のときは、みんなで楽しく話をするものです。
→ 食事のときは、話はしないものです。

1. プレゼントは、くれた人の目の前であける。
→ プレゼントは、＿＿＿＿＿＿ものです。
→ プレゼントは、＿＿＿＿＿＿ないものです。
2. 結婚式では、黒い服を着る。
→ 結婚式では、＿＿＿＿＿＿ものです。
→ 結婚式では、＿＿＿＿＿＿ないものです。
3. おふろは、朝入る。
→ おふろは、＿＿＿＿＿＿ものです。
→ おふろは、＿＿＿＿＿＿ないものです。
4. すきやきを作るとき、肉を先に入れる。
→ すきやきを作るとき、＿＿＿＿＿＿ものです。
→ すきやきを作るとき、＿＿＿＿＿＿ないものです。
5. 歯は、ごはんの前にみがく。
→ 歯は、＿＿＿＿＿＿ものです。
→ 歯は、＿＿＿＿＿＿ないものです。

A-2　例：「トマトの皮のような小さいことでもいろいろ違うものですね」

1. 「へえ、三か月でずいぶん＿＿＿＿＿＿ものですね」

2. 「野球を初めてやってみましたが、ずいぶん＿＿＿＿ものですね」
3. 「前は、あまり家もなかったのに、ずいぶん＿＿＿＿ものですね」
4. 「この前会ったときは、まだ小さかったのに、ずいぶん＿＿＿＿ものですね」
5. 「きのう買ったビール、もうなくなったんですか。ずいぶん＿＿＿＿ものですね」

B 「当たり前」という言い方を練習しましょう。

例：世界は広いのだから、料理も食べ方もいろいろあるのは当たり前だ。

1. あの人は世界中を旅行しているのだから、＿＿＿＿のは当たり前だ。
2. 彼は友達なのだから、＿＿＿＿のは当たり前だ。
3. ここは有名なのだから、＿＿＿＿のは当たり前だ。
4. どこにでもあるのだから、＿＿＿＿のは当たり前だ。
5. あの人が書いたのだから、＿＿＿＿のは当たり前だ。

C 「〜てみると、思っていたより〜」という言い方を練習しましょう。

例：食べてみると、思っていたよりおいしかったということもよくある。

1. 住みにくい国だと思っていたが、＿＿＿＿てみると、思っていたより＿＿＿＿。
2. かるそうに見えたが、＿＿＿＿てみると、思っていたより＿＿＿＿。
3. きびしい先生のようだが、＿＿＿＿てみると、思っていたより＿＿＿＿。
4. 難しいと思っても、＿＿＿＿てみると、思っていたより＿＿＿＿。
5. おいしくなさそうなものでも、＿＿＿＿てみると、思っていたより＿＿＿＿。

D 「どうしたら〜か」という言い方を練習しましょう。

例：どうしたらその土地の人と友達になれるのかと聞いてみると、「そこの人たちの食べるものを一緒に食べることだ」という答えが返ってきた。

1. 先生に、どうしたら＿＿＿＿かと聞いてみると、「＿＿＿＿ことだ」という答えが返ってきた。
2. 医者に、どうしたら＿＿＿＿かと聞いてみると、「＿＿＿＿ことだ」という答えが返ってきた。
3. スポーツ選手に、どうしたら＿＿＿＿かと聞いてみると、「＿＿＿＿ことだ」という答えが返ってきた。
4. 国際結婚した人に、どうしたら＿＿＿＿かと聞いてみると、「＿＿＿＿ことだ」という答えが返ってきた。
5. たばこをやめた人に、どうしたら＿＿＿＿かと聞いてみると、「＿＿＿＿ことだ」という答えが返ってきた。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

どんなことでも、自分の今までやってきたことと＿＿＿＿が違えば、＿＿＿＿と思うものだが、その理由をよく考えてみると、＿＿＿＿ということが多い。慣れてしまえば、＿＿＿＿。世界は広いので、＿＿＿＿のは当たり前だ。＿＿＿＿が問題ではなく、＿＿＿＿が大切だ。



話しましょう

A 第5課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「『楽しく飲んだり食べたりすれば、友達になれる』と言っていますが、そんなことだけで本当の友達にはなれないと思います。友達になるためには、嫌なことやつらいことを一緒にやってみるとか、もっと大切なことがあると思います」

B 料理だけでなく、国が違うとやり方が違うことがあります。例をあげて話し合ってみましょう。



書きましょう

A–1 ＿＿＿＿しているとき、一人が＿＿＿＿。すると、ほかの人が＿＿＿＿ものだと言った。

例：トマトの皮を、むく人も、むかない人もいる。
→ 友達が集まって、一緒に料理をしているとき、一人がトマトの皮をむいていた。すると、ほかの人がトマトは皮をむかないものだと言った。

1. 電話で自分の会社の社長のことを、「山川社長は～」とは言わない →
2. 自分より上の人をよぶときには「～君」とは言わない →
3. スープを飲むときは音を出さない →

A–2 ＿＿＿＿は問題ではなく、それよりも、＿＿＿＿が大切だということが分かった。

例：皮をむくかむかないか
→ 皮をむくかむかないかは問題ではなく、それよりも、一緒に楽しく食べることが大切だということが分かった。

1. お金があるかないか →
2. 文法をよく知っているかどうか →
3. 口に出して言うか言わないか →

第6課　［あそぶ］



新しい言葉

売れる	楽しむ	まるで
華道	茶道（さどう）	文化
伝統	剣道	学ぶ
簡単ナ・ニ	（時間を）かける	身に付ける
単なる～	暇つぶし	勝ち負け
腕	～といっても	技術的ナ・ニ
悩む	苦しむ	精神的ナ・ニ
成長スル	なるほど	もしかすると
まじめナ・ニ	熱心ナ・ニ	何もかも
必要ナ		



いっしょに考えましょう

1. 暇なとき、いつもどんなことをしますか。
2. 「遊び」という言葉を聞いて、何を考えますか。
3. 小さいとき、どんなことをして遊びましたか。
4. 何をしているときが一番楽しいですか。
5. 皆さんの国では大人はどんなことをして遊んでいますか。

[あそぶ]

『パチンコ道』という本が売れているそうです。パチンコは暇なときにちょっと楽しむ遊びだと思っていたのに、それをまるで、華道や茶道のように呼んでいます。日本の文化には、昔から「○○道」と呼ばれるものがあり、その伝統を大切にしてきました。スポーツの世界では、柔道や剣道などがそうです。「○○道」を学ぶ人たちは、花を飾る、お茶を飲む、スポーツを楽しむという簡単にできそうなことに時間をかけ、その形や決まりを身に付けるのです。

ある人が「パチンコは単なる暇つぶしじゃありません。勝ち負けは自分の腕ひとつだと思うから一生懸命になるのです」と言って、こんな話をしてくれました。「腕ひとつといっても、技術的に上手か下手かだけではなく、気持ちの持ち方までも問題にしているのです。高い技術を身に付けようとして、悩み、苦しみながら精神的にも成長していく。そうして身に付けた技術が心と一つになったとき、パチンコに勝てるのです」。その話を聞いて、なるほどと思いました。きれいに花が飾れるのも、本当にお茶が楽しめるのも、スポーツで勝てるのも、技術と心が一つになったときなのだという考え方です。

もしかするとこれと同じような考えで、「パソコン道」や「ゲーム道」などという言葉を使っている人たちがいるのかもしれません。しかし、よく考えてみると、この考え方はちょっとまじめすぎるのではないかと思います。このように考えてしまうと、簡単なことまでがみんな「○○道」になってしまいます。何でも熱心にやることはいいことですが、いつも形や決まりのことばかり考えていたら、本当に遊ぶということがなくなってしまいます。時々は、何もかも忘れて子供のときのように自由な気持ちで遊んでみることも必要だと思います。

暇　華　呼　*化　統　柔　剣　*学　飾　簡　単　*付　勝　負
腕　的　*手　*下　*手　悩　苦　精　神　成　熱　忘　必　要

第6課



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 「パチンコ道」は昔からありましたか。
2. 「○○道」と呼ばれるものには、どんなものがありますか。
3. 「○○道」は、どんなことを大切にするのですか。
4. 本を買って、一生懸命にパチンコをするのはどうしてですか。
5. 技術というのは上手か下手かだけを問題にしているのですか。
6. どんなとき、パチンコに勝てると言っていますか。
7. 「パソコン道」や「ゲーム道」のような考え方をどう思っていますか。
8. 「子供のときのように自由な気持ちで遊ぶ」とは、どんなことでしょうか。
9. ゲームに勝つのには、何が大切だと思いますか。
10. 遊びたいと思うのは、どんなときですか。



使いましょう

A 「〜てきた」という言い方を練習しましょう。

例: 「○○道」は、長く伝えられてきた形や決まりを大切にしてきました。

1. 母は父がなくなってから一人で店を＿＿＿＿＿てきました。
2. 自分の会社を持ちたいと思って、きょうまで＿＿＿＿＿てきました。
3. 家を買うために、長い間＿＿＿＿＿てきました。
4. このおまつりは、八百年ぐらい前から＿＿＿＿＿てきました。
5. 私は今まで＿＿＿＿＿てきました。そして、これからもがんばっていきたいと思います。

B 「〜まで」という言い方を練習しましょう。

例: その技術を使う人の心の持ち方までも問題にしているのです。

1. とてもおなかがすいていて＿＿＿＿＿まで食べてしまいました。
2. この本を読んで、＿＿＿＿＿まで分かるようになりました。
3. 字を見ると、＿＿＿＿＿まで分かります。
4. 便利になって、＿＿＿＿＿までできるようになりました。
5. 人を好きになると、＿＿＿＿＿まで好きになってしまいます。

C 「〜といっても」という言い方を練習しましょう。

例: A: いろいろな所へ旅行ができていいですね。

B: ええ。でも、旅行といっても、仕事で行くので大変です。

1. A: あしたテストがあるそうですね。
   B: 聞きました。テストといっても、＿＿＿＿＿。
2. A: 毎日、自分で食事を作るんですか。
   B: そうなんです。食事といっても、＿＿＿＿＿。
3. A: テレビに出たって聞きましたよ。
   B: だれに聞きました。出たといっても、＿＿＿＿＿。
4. A: プレゼントありがとうございます。いつもすみません。
   B: いいえ、プレゼントといっても、＿＿＿＿＿。
5. A: よく本を読まれるそうですね。
   B: ええ、でも、＿＿＿＿＿といっても、＿＿＿＿＿が多いです。

D 「もしかすると～のかもしれません」という言い方を練習しましょう。

例: A: 彼はなかなか来ませんね。もう三十分も過ぎたのに。
B: もしかすると時間を間違えたのかもしれません。

1. A: あの人、最近元気がなくて、寂しそうですね。
   B: もしかすると＿＿＿＿＿のかもしれません。
2. A: 今も電話してるんだけど、だれも出てこないんです。
   B: もしかすると＿＿＿＿＿のかもしれません。
3. A: アンさんは今日、きれいな服を着ていますね。
   B: もしかすると＿＿＿＿＿のかもしれません。
4. A: あの人、最近とてもうれしそうで、いつもにこにこしていますね。
   B: もしかすると＿＿＿＿＿のかもしれませんね。
5. A: あそこに人が集まっていますね。
   B: もしかすると＿＿＿＿＿のかもしれません。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

日本では昔から＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿というような簡単にできそうなことを＿＿＿＿＿と呼んで、＿＿＿＿＿。

もしかすると、「パソコン道」「ゲーム道」という言葉も＿＿＿＿＿のかもしれません。しかし、この考え方は＿＿＿＿＿と思います。時々は何もかも忘れて＿＿＿＿＿のではないでしょうか。

 話しましょう

A 第6課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「パチンコでも何でも、やるなら上手になって勝ちたいと思うし、その方がいいと思います。パチンコに勝つために『パチンコ道』という本を買って、一生懸命練習する人もいるのです。勉強と違って本を読むのも楽しいし、それも遊びだと思います」

B どんなとき、どんな遊びをするか、例をあげて話し合いましょう。

 書きましょう

A-1 ＿＿＿＿といっても、＿＿＿＿だけではなく、＿＿＿＿まで＿＿＿＿。

例: 柔道の技術というのは何を問題にしているのですか。
→ 技術といっても、上手か下手かだけではなく、その技術を使う人の気持ちの持ち方まで問題にしているのです。

1. 医者の仕事というのは、どんなことを問題にしているのですか →
2. ホテルの仕事というのは、何を大切に考えているのですか →
3. このスポーツのしあいでは、どんなことを大切に考えているのですか →

A-2 ＿＿＿＿はいいことですが、＿＿＿＿たら、＿＿＿＿てしまいます。

例: 何でも熱心にやること
→ 何でも熱心にやることはいいことですが、いつも形や決まりのことばかり考えていたら、本当に遊ぶということがなくなってしまいます。

1. 勉強に夢中になること →
2. こいびとに夢中になること →
3. やせてきれいになること →

第7課　[いう]



新しい言葉

特急（とっきゅう）	料金（りょうきん）	蒸し暑い（むしあつい）
残業（ざんぎょう）スル	つもり	気（き）にかかる
すべて	指定（してい）スル	券（けん）
繰り返す（くりかえす）	アナウンススル	敬語（けいご）
間違う（まちがう）	優しい（やさしい）	乗せる（のせる）
命令（めいれい）スル	感（かん）じがする	求める（もとめる）
残す（のこす）	いたずらスル	離れる（はなれる）
禁止（きんし）スル	投書（とうしょ）スル	目（め）にする
確か（たしか）ナ・ニ	思いやり（おもいやり）[←思いやる]	伝わる（つたわる）
相手（あいて）		



いっしょに考えましょう

1. 日本語できれいだと思う言葉を五つあげてください。
2. 日本語できらいな言葉を五つあげてください。
3. どんなことを言われたとき、うれしかったですか。
4. どんなことを言われたとき、嫌な気持ちがしましたか。
5. 人と話すとき、どんなことに注意して話していますか。

[いう]

私が毎日使っている○○線の特急電車に乗るには、五百円の特別料金を払わなければならない。ちょっと高いけれども、蒸し暑くて我慢できない日や残業でとても疲れた日など、「コーヒー一杯飲んだつもりで」と考えて、つい乗ってしまう。

この電車を利用していて、いつも気にかかることがある。「この電車は、すべて指定席です。特急券をお持ちでない方はお乗りにならないでください」と何度も繰り返されるアナウンスである。敬語の使い方が間違っているのでも、言い方が失礼なのでもない。文法も正しいし、声も優しい。けれども私には、「乗せてあげるから券を買ってきなさい」と命令されているような感じがする。「お乗りになる前に特急券をお求めください」とでも言えないだろうかと思ってしまう。

いつかどこかで、「私が子供たちに話す言葉は『残さないように食べなさい』とか、『そんないたずらやめなさい』とか、『テレビはもう少し離れて見なさい』と、一日中、命令や禁止の文ばかりだ」という若いお母さんからの投書を目にして、「そうだろうか」と思ったことがある。確かに言葉の形はそうだが、お母さんの命令文からは「たくさん食べて大きくなるんですよ」「近くでテレビを見ていると目が悪くなりますよ」という子供への思いやりが伝わる。

優しく言ったつもりでも「～しなさい」と聞こえ、「～しなさい」と言っても優しさが伝わる。学校では、漢字や文法、言葉の意味などは教えてもらうが、言葉の使い方や伝わり方は教えてくれない。相手のことを考えた言葉とその使い方。特急電車に乗りながら、いつも考えさせられる。

払　蒸　疲　*指　定　券　繰　敬　優　令　感　求　*残　離
禁　*止　投　確　相

 答えましょう

次の質問に答えてください。

1. これを書いた人はどんな日に特急電車に乗りますか。
2. 特急電車に乗ると、何が気にかかるのですか。
3. 電車のアナウンスはどんな感じがすると言っていますか。
4. 特急電車のアナウンスをどのようにした方がよいと言っていますか。
5. 若いお母さんは新聞にどのような投書をしましたか。
6. お母さんの言葉からどんな気持ちが伝わると言っていますか。
7. 学校で教えてもらうのはどんなことですか。
8. 特急電車に乗って、いつもどんなことを考えさせられると言っていますか。
9. 気にかかる言葉にはどんなものがありますか。
10. 何か注意するとき、相手に失礼にならないようにするにはどんな言葉を選びますか、そして、どんな言い方をしますか。

 使いましょう

A-1 「～つもり」という言い方を練習しましょう。

例: 特別料金は五百円だから、コーヒーを一杯飲んだつもりで、特急電車に乗った。

1. ＿＿＿＿＿つもりで、歩いて行った。
2. ＿＿＿＿＿つもりで、銀行にお金を入れた。
3. 死んだつもりで、＿＿＿＿＿。
4. 父親になったつもりで、＿＿＿＿＿。
5. 有名な人になったつもりで、＿＿＿＿＿。

A-2 例: 優しく言ったつもりだったが、「～しなさい」と聞こえてしまった。

1. ＿＿＿＿＿つもりだったが、入っていなかった。
2. ＿＿＿＿＿つもりだったが、間違ってしまった。
3. 自分では親切なことをしたつもりだったが、＿＿＿＿＿。
4. 自分では大人になったつもりだったが、＿＿＿＿＿。
5. 自分では元気になったつもりだったが、＿＿＿＿＿。

B-1 「～させられる」という言い方を練習しましょう。

例: あまり飲めないのに、[飲む]飲まされました(飲ませられました)。

1. 歌が上手ではないのに、[歌う]＿＿＿＿＿。
2. たばこをやめたくないのに、[やめる]＿＿＿＿＿。

3. 日曜日なのに、[働く]＿＿＿＿＿。
4. 今すぐ使わないのに、[買う]＿＿＿＿＿。
5. まだ下手なのに、日本語で[説明する]＿＿＿＿＿。

B−2 例: アナウンスの言葉を聞いて、言葉の使い方を[考える]考えさせられた。

1. その話を聞いて、[なく]＿＿＿＿＿。
2. ニュースを聞いて、[驚く]＿＿＿＿＿。
3. いつまでも子供が帰ってこないので、[心配する]＿＿＿＿＿。
4. がんばっている人を見て、自分も＿＿＿＿＿という気持ちに[する]＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿て、＿＿＿＿＿かと[考える]＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿ても、＿＿＿＿＿ように聞こえたり、言葉の形は＿＿＿＿＿でも、＿＿＿＿＿伝わることがある。言葉の使い方で大切なことは、＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿ではなく、＿＿＿＿＿を考えた＿＿＿＿＿だと思う。



話しましょう

A 第７課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「話を聞く人がどう聞くかということも大切だと思います。私の国には、話を聞くのが上手な人をほめる言葉があります。相手が何を言おうとしているかを考えながら聞けば、特急券のことも命令されたような感じはしなかっただろうと思います」

B 人に何かを伝えるとき、一番大切なことは何だと思いますか。



書きましょう

A−1 ＿＿＿＿＿で、＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿ということを聞いて(読んで)、＿＿＿＿＿のは問題だと考えさせられた。

例: ニュースで、おおぜいの人がビルの火事で死んだと言っていた
→ニュースで、おおぜいの人がビルの火事で死んだということを聞いて、高い建物をたくさん作るのは問題だと考えさせられた。

1. テレビをつけたら、ふつうの人は都会で家が持てなくなってきたと言っていた
→
2. 工場の出すきたない水で魚がたくさん死んだとラジオで言っていた →
3. 新聞によると、勉強のため、夜十時ごろ家へ帰る小学生がふえているそうだ
→

Ⓐ-2 ＿＿＿＿は確かに＿＿＿＿が、＿＿＿＿という気持ちが伝わる。

例: 母親の言葉 / 命令文が多い
→ 母親の言葉は確かに命令文が多いが、良い子に育ってほしいという気持ちが伝わる。

1. 父の言葉 / あまり多くない →
2. 先生 / 時々きびしいことを言う →
3. ジョンソンさん / 日本語があまり上手ではない →

第8課　[かざる]



新しい言葉

外見
変わる
ピンク
選挙スル
うち
信じる
信頼スル
(会社)名
安心スル
判断スル
無視スル

影響スル
制服
～といえば
うそ
比べる
データ
ところで
肩書き
横
中身
理想

様子
清潔ナ・ニ
大統領
調査スル
給料
立派ナ・ニ
名刺
受け取る
部長
おしゃれナ・ニ
同時ニ



いっしょに考えましょう

1. 銀行に勤めていると考えてください。お金を借りたいと言って次の人たちが来ました。会えるのはこの中の一人だけです。どの人と会いますか。
   A. サンダルをはいた五十歳ぐらいの人。
   B. セーターを着た二十歳ぐらいの人。
   C. 上着を着、ネクタイをしめた四十歳ぐらいの人。
   D. きれいにお化粧をした三十歳ぐらいの人。
2. 一回会っただけで、その人がいい人だと思ったことがありますか。それはどうしてですか。

[かざる]

人間くらい外見に影響されるものはいないだろう。古い駅がきれいになると、そこを利用する人の服装や様子まですっかり変わってしまうなどということもある。病院の制服は清潔な白と決まっていたが、最近は病院に来る人の気持ちを考えて、水色やピンクなどの優しい色を使う所が多くなった。

外見といえば、アメリカの大統領選挙では、背の高い人が長い間勝ってきたという、うそのような本当の話がある。これもアメリカの話だが、ある大学で調査してみると、卒業生のうち背の高い人の方が低い人に比べ、給料が高かったという信じられないようなデータが集まった。これは背が高い人の方が立派に見え、信頼されやすいということだろう。外見に影響されるいい例ではないだろうか。

ところで、日本人がよく使う名刺に書かれている会社名や肩書きも外見の一つと考えられる。初めて紹介された人から受け取った名刺に有名な会社名が入っていれば、それだけで人は安心するし、名刺の横に部長の肩書きでもあれば、その信頼はもっと確かなものになる。

よく外見だけで人を判断するなと言われるが、実際にはそれだけで人を見ていることが多い。もちろん昔から言われている「外見より中身」ということは本当に大切なことだ。いくら外側を飾っておしゃれをしても、中身がなければ何にもならない。しかし、社長になってから前よりずっと立派になったという人の例もあるのだから、外見を無視することはできない。理想を言えば、外側を作ると同時に中身を良くする努力を続けることが大切なのであろう。

---

*間 影 響 装 *様 *子 *変 制 清 潔 領 挙 背 *調 査 低 比 給 *立 派 信 頼 刺 肩 *安 断 *実 視 想 *同



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 古い駅がきれいになると、そこを利用する人の様子はどうなりますか。
2. それはどうしてですか。
3. 同じような例はほかにもありますか。
4. それはどんな例ですか。
5. 外見の良い方が信頼されるという例にはどんなものがありますか。
6. 日本人が人を外見で判断する例をあげてください。
7. 「外見より中身」とはどういう意味ですか。
8. これを書いた人は、外見と中身のどちらを大切にした方がいいと考えていますか。
9. 外見と中身とどちらが大切だと思いますか。
10. 外見を良くしておけば良かったと思ったことがありますか。



使いましょう

A 「ところで〜といえば」という言い方を練習しましょう。

例: A: 駅の近くに、新しい病院ができましたね。
B: 大きな病院ですね。ところで、病院といえば、山田さんが入院したそうですよ。

1. A: きのうのテレビ番組、面白かったですよ。
   B: 私も見ました。ところで、________といえば、________。
2. A: 今年の夏休みはタイへ旅行するんです。
   B: いいですね。ところで、________といえば、________。
3. A: 来年は選挙がありますね。
   B: そうでしたね。ところで、________といえば、________。
4. A: 日本の家は高いですね。
   B: そうですね。ところで、________といえば、________。
5. A: パソコンを使って新しい名刺を作りました。
   B: 見やすいですね。ところで、________といえば、________。

B 「〜ばそれだけで〜」という言い方を練習しましょう。

例: 有名な会社名の入った名刺をもらえば、それだけで安心する。

1. 百円入れれば、それだけで________。
2. 友達がいれば、それだけで________。

3. 声を聞けば、それだけで＿＿＿＿＿。
4. 写真を見れば、それだけで＿＿＿＿＿。
5. 大学に入れば、それだけで＿＿＿＿＿。

C 「いくら～ても、～ば～」という言い方を練習しましょう。

例: いくら外側を飾っても、中身がなければ何にもならない。

1. いくら高い品物でも、＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿。
2. いくら言葉がきれいでも、＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿。
3. いくら値段が高くても、＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿。
4. いくらおしゃれをしていても、＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿。
5. いくら毎日練習しても、＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿。

D 「～と同時に」という言い方を練習しましょう。

例: 自分の意見も言うと同時にほかの人の考えもよく聞くことが大切だ。

1. まどをあけると同時に＿＿＿＿＿。
2. ＿＿＿＿＿と同時にベルが鳴り始めた。
3. ＿＿＿＿＿と同時に人に信頼されるようになった。
4. 一生懸命に働くと同時に＿＿＿＿＿。
5. 若いときには＿＿＿＿＿と同時に＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

人間は＿＿＿＿＿ものだ。病院で＿＿＿＿＿や、背の高い人が＿＿＿＿＿たり、＿＿＿＿＿たりするのは、そのいい例だ。昔から＿＿＿＿＿と言われているが、＿＿＿＿＿。しかし、理想を言えば＿＿＿＿＿。



話しましょう

A 第8課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「今は外見の時代だと思う。テレビを見ると、歌が上手でなくても、外見がよく見える人が有名になっている。外見が悪くて友達ができなかったり人に嫌がられたりすることもある。もっともっと、外見を大切にしよう」

B 外見を大切にしなければならないのはどんなときですか。



書きましょう

A-1 ＿＿＿くらい＿＿＿ものはないだろう。＿＿＿と、＿＿＿などということもある。

例: 人間はすぐ外見に影響される。
→ 人間くらい外見に影響されるものはないだろう。古い駅がきれいになると、そこを利用する人の服装や様子まですっかり変わってしまうなどということもある。

1. 気の合う仲間とのおしゃべりは大変楽しい。
2. 子供が病気をするととても心配だ。
3. パソコンゲームをしていると時間を忘れてしまう。

A-2 ＿＿＿はできれば＿＿＿方がいいです。理想を言えば、＿＿＿て＿＿＿もっといいのですが。

例: 学校
→ 学校はできれば有名な方がいいです。理想を言えば、家に近くて有名ならもっといいのですが。

1. 結婚相手 →
2. 病院 →
3. 家 →

第9課　[あらわす]



新しい言葉

近所(きんじょ)	せっかく	どうしても(〜ない)
幼(おさな)い	一杯(いっぱい)やる	口癖(くちぐせ)
(〜に)対(たい)する	せりふ	判(はん)
知(し)らず知らずのうちに	いつの間(ま)にか	描(えが)く
リボン	長男(ちょうなん)	迎(むか)える
とうとう	(聞(き)かず)じまい	〜くせに
からかう	デザイン	ちゃんとスル
(女(おんな)の子(こ))用(よう)	区別(くべつ)スル	個性(こせい)
(男(おとこ))もの	見(み)かける	紫(むらさき)
派手(はで)ナ・ニ	灰色(はいいろ)	地味(じみ)ナ・ニ
(黒(くろ)っ)ぽい	珍(めずら)しい	表(あらわ)す
ジェンダー	(〜に)ついて	いつまでも
セクハラ	息子(むすこ)	(言(い)い)出(だ)す
いったい	わけ	



いっしょに考えましょう

1. 日本語で知っている色を言ってください。
2. その中でどの色が好きですか。
3. どうしてその色が好きですか。
4. 「男の子の色」というと、どんな色を考えますか。
5. 「女の子の色」というと、どんな色を考えますか。

[あらわす]

小学校四年生になる近所の男の子が「赤は女の色だから」と言って、せっかく母親が買ってきたシャツをどうしても着ようとしなかったという話を聞き、私も同じようなことを言って母を困(こま)らせたことがあったなと、幼(おさな)いときのことを思い出した。

子供が五人もいたのに、すべて男。その子供たちに囲まれて一杯やりながら、父は決まって「一人でも女の子がいたらなあ」と言ったものだ。「私も女ですよ」父の口癖(くちぐせ)に対(たい)する母のせりふも、判で押(お)したように決まっていた。女の子を欲(ほ)しがっていた父は、家の中に「女の色」が少ないからと言って、カーテンの色をピンクにしてみたり、私たち子供に赤の入ったセーターを買ってきたりした。こうして私は知らず知らずのうちに、父に「女の色」を教えられ、いつの間にか私の描(えが)く女の子は、赤い服を着、ピンクのリボンをするようになっていた。そんな父だったから、長男(ちょうなん)の私が結婚したときも、やっと自分にも女の子ができたと言って私の妻を迎(むか)え、家の中に「女の色」が増(ふ)えると言って喜んだ。しかし、父がどうして赤やピンクを「女の色」だと思っていたのかは、とうとう聞かずじまいになってしまった。

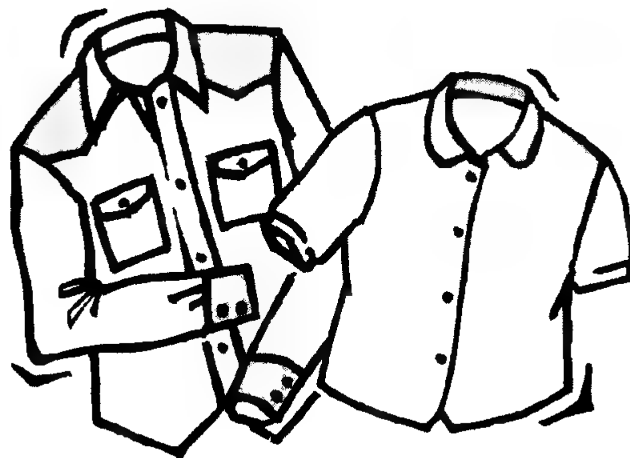
私が子供のころには黄色いセーターを着たりすると、「男のくせに」とからかわれたものだ。色ばかりではなく、例えばかばんや洋服のデザインなどにも、ちゃんと男の子用、女の子用と区別(くべつ)があったように思う。ところが、最近は個性(こせい)を大切にする時代なのだそうで、テレビを見ていても、町を歩いていても、「女の人」用のかばんを持った男性や、「男も

困　幼　癖　対　押　欲　描　*男　迎　増　区　個

[あらわす]

の」の時計をした女性を見かけることも少なくない。ピンクや紫の派手なシャツを着、赤いハンカチを持った男性もいれば、黒や灰色の地味な上着を着、黒っぽいズボンをはいた女性も、珍しくない。知らず知らずのうちに「男の色」「女の色」を覚えた私の目には、もう今は男女を表す色の区別などなくなってしまったように見える。

「お父さん、少しジェンダーについて勉強したら。いつまでもそんなこと言ってたら、会社でセクハラって言われるぞ」大学生になった息子が、いつのころからかそんなことを言い出した。「しかし、それならいったい『女の色』を嫌がって母親を困らせる小学生が、今でもいるのはどういうわけなのだ」と、私は心の中で考えてしまう。



紫　灰　*地　*上　珍　覚　表　息



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が、幼いときのことを思い出したのは、どうしてですか。
2. お父さんはどうしてカーテンをピンクにしたり、子供たちに赤い色の入ったセーターを買ってきたりしたのですか。
3. この人の描く女の子がいつも赤い服を着、ピンクのリボンをしているのはどうしてですか。
4. この人が子供のころには、黄色いセーターを着たりすると何と言われましたか。
5. この人が子供のころには、どんな物に「男の子」用、「女の子」用の区別があったのですか。
6. 最近、どんな男性や女性を見かけますか。
7. それはどうしてだと言っていますか。
8. この人は息子に、どう言われていますか。
9. 最近でも物の色や形に男性用、女性用の区別があると思いますか。
10. 今持っている物の中で男性用の物は何ですか、女性用の物は何ですか。



使いましょう

A 「せっかく」という言い方を練習しましょう。

例: せっかくしゅくだいをしたのに、忘れてきてしまいました。

1. せっかく旅行に行く用意をしたのに、__________。
2. せっかくおいしい料理を作ったから、______。
3. せっかく__________のに、家にいませんでした。
4. せっかく__________から、みんなに見てもらいましょう。
5. せっかくの__________なのに、働かなければなりません。
6. せっかくの__________だから、きょうから使いましょう。
7. A: 今晩、一緒に映画を見に行きませんか。
   B: せっかくですが、__________。
8. A: これ、おいしいですよ。たくさんめしあがってください。
   B: せっかくですが、__________。

B 「どうしても〜ようとしない」という言い方を練習しましょう。

例: 母親が買ってきた赤いシャツをどうしても着ようとしなかった。

1. むすめは寝る時間になっても、どうしても__________としなかった。
2. __________のに、息子はどうしても__________としない。

3. ＿＿＿＿＿のに、かれはどうしても学校を休もうとしない。
4. ＿＿＿＿＿のに、かれはどうしても食べようとしない。
5. ＿＿＿＿＿のに、どうしても＿＿＿＿＿ない。

C 「〜たものだ」という言い方を練習しましょう。

例：私が子供のころには、黄色いセーターを着たりすると「男のくせに」と言われたものだ。

1. 今と違って、私の子供のころはよく＿＿＿＿＿たものです。
2. 昔は地下鉄がなかったので、＿＿＿＿＿たものです。
3. 学生時代にはお金がなかったので、＿＿＿＿＿たものです。
4. 暇だったころは＿＿＿＿＿たものです。
5. ひらがなが読めなかったころは＿＿＿＿＿たものです。

D 「〜ように思う」という言い方を練習しましょう。

例：A: この音楽、ごぞんじでしょう。
　　B: ええ、どこかで聞いたように思ったんですが。

1. A: あれ、しゅくだいを忘れたんですか。
   B: ええ、＿＿＿＿＿ように思ったんですが。
2. A: 私のペンを知りませんか。
   B: さっき、＿＿＿＿＿ように思いますが。
3. A: どこかでお会いしたことがありましたか。
   B: ええ、＿＿＿＿＿ように思いますが。
4. A: この字、知っているでしょう。
   B: ええ、確か＿＿＿＿＿ように思うんですが。
5. A: この料理、初めてですか。
   B: いいえ、一度＿＿＿＿＿ように思うんですが。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿という話を聞いて昔のことを思い出した。私は父に＿＿＿＿＿ように思う。

個性を大切にする今は＿＿＿＿＿ように見えるが、それなら＿＿＿＿＿はどういうわけだろう。



話しましょう

Ａ　第９課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「いつ、どこで、どんなものを着るかは長い時間かかって昔から考えられたものだから、好きかきらいかだけで決めてはいけないと思います。結婚式のときも、仕事に行くときも、私はみんなと同じ服装で行きます」

Ｂ　私たちは毎日の生活の中で、どんなところに「色」を利用していますか。



書きましょう

Ａ−1　＿＿＿＿のに、いつの間にか＿＿＿＿いた。

例：きのうまで子供だと思っていた
→きのうまで子供だと思っていたのに、いつの間にか大人になっていた。

1. 名前も知らなかった　→
2. 顔を見るのも嫌だった　→
3. 初めはへやに何もなかった　→

Ａ−2　＿＿＿＿。＿＿＿＿も＿＿＿＿ば、＿＿＿＿も＿＿＿＿。

例：この学校には、アメリカ人や中国人などいろいろな人がいる
→この学校にはいろいろな人がいる。アメリカ人もいれば、中国人もいる。

1. 京都は、新しいビルと古い建物が一緒にあって、古くて新しい町だ　→
2. ジョンさんは、絵をかいたり、ピアノをひいたり、いろいろできる　→
3. 公園の子供たちは、ないたり、けんかをしたり、見ていると面白い　→

第10課　[いきる]



新しい言葉

先日	突然ニ	アンケート	(声を)かける
笑顔	幸せナ・ニ	(生き)がい	うーん
～まま	黙り込む	つまり	生きる
追う	たいてい	接待スル	～やら
上司	引っ越しスル	過ごす	ほとんど
ポンと	投げかける	とまどう	(十)代
後半	(～に)かけて	付き合う	働きバチ
天職	燃える	娘	街角
思いがけない	たった～	(一)度	人生
コピースル	満足スル・ナ・ニ	まあまあ	不満ナ・ニ
愛スル	才能	健康ナ・ニ	その他
趣味	恋スル	平凡ナ・ニ	変化スル
富む	経済的ナ・ニ	豊かナ・ニ	社会的ナ・ニ
地位	名誉		



いっしょに考えましょう

1. 今までに何かのアンケートに答えたことがありますか。
2. それはどんなアンケートでしたか。
3. 何かに夢中になったことがありますか。
4. 何かを夢中になってやっている人を見て、どう思いますか。
5. 今、一番やりたいことは何ですか。

[いきる]

先日町を歩いていると、突然「アンケートをお願いします」と声をかけられた。笑顔で「今、幸せですか。生きがいは何ですか」と聞かれて、私は「うーん」と言ったまま、しばらく黙り込んでしまった。「生きがい」というのは、つまり生きる意味というようなことなのだろう。最近は毎日、朝から晩まで仕事に追われ、休みの日もたいてい接待でゴルフに行くやら、上司の引っ越しの手伝いをさせられるやらで、家族と過ごす時間も少なく、自分のことを考える時間などほとんどない。そんなときにポンと投げかけられた「生きがいは」という質問だったので、本当にとまどってしまった。

十代後半から二十代にかけてはギターに夢中になっていて、音楽が生きがいだと思っていた。妻の典子と付き合っているころは、彼女がすべてだと思っていたし、会社に勤め始めたころは、人から「働きバチだ」と言われても、これが天職だと思って仕事に燃えていた。娘の幸子が生まれたときは、かわいくてかわいくて、「目に入れても痛くない」というのはこういうことだと思い、「生きがい」についてなど考えもしなかった。そして今、街角で思いがけない質問をされて、私は黙り込むしかなかった。

たった一度の人生だと言われますが、どう生きたいと思いますか。今、幸せですか。生きがいは何ですか。ここに私が答えたアンケートのコピーがあります。一度やってみてください。そして人生とは、生きがいとは何かを、一緒に考えてみてください。

---

*日　突　*笑　幸　*生　黙　込　追　接　司　越　*投　質　*後
典　彼　職　燃　娘　*幸　街　角

[いきる]

1. 今の生活に
   ( ) 満足している　( ) まあまあ満足している
   ( ) あまり満足していない　( ) 不満だ
2. 今、一番欲しいものは
   ( ) 友達　( ) 愛　( ) 才能　( ) 時間
   ( ) お金　( ) 自由　( ) 健康
   ( ) その他 [　　　　　　　　　　]
3. 今、一番したいことは
   ( ) 仕事　( ) 勉強　( ) 趣味　( ) 恋
   ( ) 結婚　( ) その他 [　　　　　　　　　　]
4. 理想だと思う人生は
   ( ) 平凡な人生　( ) 変化に富んだ人生
   ( ) 経済的に豊かな人生
   ( ) 社会的地位、名誉のある人生
   ( ) 自分がやりたいことをやったと満足できる人生
   ( ) その他 [　　　　　　　　　　]
5. 今、生きがいと呼べるものが
   ( ) ある [それは、　　　　　　　　　　]
   ( ) ない
   ( ) 分からない

*足　愛　才　能　健　康　他　趣　恋　平　凡　富　経　済　豊　位　誉



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. これを書いた人は、道を歩いていたとき、どんなことを聞かれましたか。
2. すぐ答えられましたか。
3. どうしてすぐに答えられなかったのですか。
4. 「生きがい」というのはどういう意味ですか。
5. ギターに夢中になっていたのはいつですか。
6. 会社に勤め始めたころには、どう言われていましたか。
7. 娘さんが生まれたときはどんな気持ちでしたか。
8. そのとき、自分の生きがいはこれだと思いましたか。
9. 「天職」だと思える仕事を持ちたいと思っていますか。それはどんな仕事ですか。
10. 仕事が生きがいになると思いますか。



使いましょう

A 「～まま」という言い方を練習しましょう。

例: 私は電気をつけたまま、いつの間にか眠ってしまいました。

1. 寒かったので、__________まま、寝てしまいました。
2. 急いでいたので、__________まま、出かけてしまいました。
3. 驚いて__________まま、次の言葉が出てきませんでした。
4. せっかく辞書を買ったのに、__________まま、まだ使っていません。
5. ひさしぶりに帰った家は__________のままでした。

B 「つまり～ということだ」という言い方を練習しましょう。

例: A: 結婚式はあたたかくなってからしようと思っているんです。
　　B: つまり、一月、二月ではないということですね。

1. A: もう少しお金があれば買うんですが . . . 。
   B: つまり、__________ということですね。
2. A: 彼女は私の妹の子供です。
   B: つまり、__________ということですね。
3. A: あの旅館は急に行ってもとまれないらしいですよ。
   B: つまり、__________ということですね。
4. 日本の若い人の身長は二十年前より三センチ以上も高くなっているそうだ。
   つまり、__________ということだろう。

5. 女性の半分以上はダイエットをしたことがあるそうだ。
つまり、＿＿＿＿＿ということだろう。

C 「～から～にかけて」という言い方を練習しましょう。

例: 六月から七月にかけて雨が多いです。

1. 去年の終わりからことしの初めにかけて＿＿＿＿＿。
2. 十代後半から二十代にかけて＿＿＿＿＿。
3. 朝から夕方にかけて＿＿＿＿＿。
4. 北海道から東京にかけて＿＿＿＿＿。
5. 私の国では＿＿＿＿＿から＿＿＿＿＿にかけて＿＿＿＿＿。

D 「～やら～やら」という言い方を練習しましょう。

例: 急にお客が来たので、急いでへやを片付けるやらお茶を出すやらで大変でした。

1. せっかく海へ行ったのに＿＿＿＿＿やら＿＿＿＿＿やらで大変でした。
2. 子供が五人もいると＿＿＿＿＿やら＿＿＿＿＿やらで、家の中は大騒ぎです。
3. 急に旅行へ行くことになったので、＿＿＿＿＿やら＿＿＿＿＿やらで大忙しでした。
4. せっかくのお金も＿＿＿＿＿やら＿＿＿＿＿やらで、すっかりなくなってしまいました。
5. 妻が急に病気になって＿＿＿＿＿やら＿＿＿＿＿やらで大変でした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

先日、町で「＿＿＿＿＿」と聞かれた。若いころは＿＿＿＿＿と思ったり、＿＿＿＿＿と思っていた。最近は＿＿＿＿＿。そんなとき＿＿＿＿＿は何かとたずねられて＿＿＿＿＿てしまった。



話しましょう

A 第10課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私は毎日一生懸命生きています。何をするのにも一生懸命です。生きがいはなんて考えている時間もないのです。本当に一生懸命生きているときには、生きがいがあるかないかということは、問題にならないと思います」

B　そんけいする人について話してください。どんな生き方をしていますか。



書きましょう

A　＿＿＿＿についてなど考えもしなかったので、突然＿＿＿＿て＿＿＿＿。

例：生きがい

→生きがいについてなど考えもしなかったので、突然思いがけない質問をされて黙り込むしかなかった。

1. 言葉の伝わり方　→
2. 食事と健康　→
3. 結婚　→

B　＿＿＿＿と、突然＿＿＿＿に「＿＿＿＿」と聞かれた。最近は＿＿＿＿など考えもしなかったので、私はすぐには返事ができず、しばらく＿＿＿＿。それから＿＿＿＿と考えるようになった。

例：「生きがいは何ですか」

→町を歩いていると、突然若い人に「生きがいは何ですか」と聞かれた。最近は生きがいのことなど考えもしなかったので、私はすぐには返事ができず、しばらく黙り込むしかなかった。それから私の生きがいは何だろうかと考えるようになった。

1. 「今だれかを愛していますか」　→
2. 「何か趣味を持っていますか」　→
3. 「人生を楽しんでいますか」　→

第11課　[こまる]



新しい言葉

お宅(たく)	お嬢(じょう)さん	成人式(せいじんしき)	(電話(でんわ)が)かかる
～さえ	全(まった)く(～ない)	年齢(ねんれい)	生年月日(せいねんがっぴ)
通(かよ)う	詳(くわ)しい	起(お)こる	売(う)り込(こ)み[←売り込む]
～ものの	経(た)つ	(～に)つれて	何(なん)だか
気味(きみ)が悪(わる)い	似(に)る	名簿(めいぼ)	怖(こわ)い
情報(じょうほう)	手(て)に入(い)れる	又(また)は	(～に)よって
聞(き)き出(だ)す	方法(ほうほう)	経験(けいけん)スル	間取(まど)り
人数(にんずう)	カーペット	有無(うむ)	大手(おおて)
家電(かでん)	メーカー	掃除機(そうじき)	正直(しょうじき)ナ・ニ
～として	何気(なにげ)ない	見(み)も知(し)らぬ～	何(なん)らかの～
目的(もくてき)	管理(かんり)スル	インターネット	ホームページ
アクセススル	やりとりスル	通信(つうしん)スル	進(すす)む
だんだん	個人(こじん)	金(かね)もうけスル	許(ゆる)す
財産(ざいさん)	戸籍(こせき)	思想(しそう)	宗教(しゅうきょう)
遺伝子(いでんし)	他人(たにん)	万一(まんいち)	悪用(あくよう)スル
～こそ	恐(おそ)ろしい		



いっしょに考えましょう

1. どんなとき、電話は便利だと思いますか。
2. どんなとき、電話は便利ではないと思いますか。
3. 知らない人から電話がかかってきたとき、どうしますか。
4. 全然知らない会社から、手紙をもらったことがありますか。
5. どうして住所が分かったのだと思いますか。

[こまる]

「お宅のお嬢さん、来年二十歳になられますが、成人式のお着物の御用意はなさいましたでしょうか」と、ある日突然電話がかかってきた。確かに娘は来年の一月で二十歳になる。しかし、その店には今まで一度も行ったことがないし、名前さえ全く聞いたことがなかった。そんな店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。どうしてこんなことが起こるのだろうかと不思議に思った。

そのときは着物の売り込みぐらいにしか考えていなかったものの、時間が経つにつれて、何だか気味が悪くなってきた。娘の友達の家にも似たような電話が何度かかかってきて困ったということだ。これは、娘の通っている学校の学生名簿を店の人が持っているということを意味する。よく考えてみれば、怖いことだ。情報を売ったり買ったりしている会社があるそうだが、そのような会社は、社員名簿や学生名簿から必要な情報を手に入れているのだろう。又は、電話によって聞き出すという方法も考えられる。

私はこんな経験をしたことがある。ある日「お宅の間取りについてアンケートをお願いします」という電話があり、家族の人数、年齢、家の広さ、間取り、カーペットの有無、その色などについていろいろ聞かれた。大手家電メーカーが掃除機の開発のために行っているという言葉を信じて正直に答えてしまったが、こうして聞き出した答えも使おうと思えば立派な情報として利用できる。何気なく聞かれ、何気なく答えたことがみんな情報としてどこかに集められ、見も知らぬ人たちに何らかの

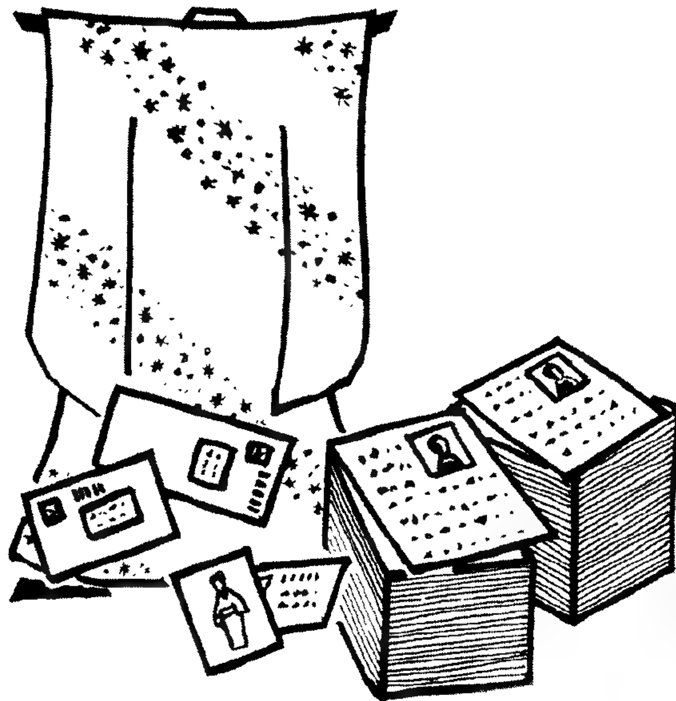
宅　嬢　*二十歳　*全　齢　*通　詳　*経　似　簿　怖　情　報

又　*有　掃　除　*正　*直　*気　*目

[こまる]

目的で管理されているとしたら、それは無視できない問題ではないだろうか。

今はだれでもインターネットを使ってホームページにアクセスすれば、簡単に情報のやりとりができる。しかし、情報通信技術の開発が進めば進むほど、情報の管理がだんだん難しくなってくる。個人の情報が金もうけに使われるくらいならまだ許せるが、財産、戸籍、思想、宗教、そして遺伝子情報のようなものまで他人に知られて管理され、万一それが悪用されたら、それこそ恐ろしいことである。一人一人が個人の情報を守る方法を、今こそ考えなければならないのではないだろうか。



管　*進　許　財　産　*戸　籍　宗　遺　悪　恐



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. ある日、どんな電話がかかってきましたか。
2. 電話を受けたとき、どう思いましたか。
3. あとから、どんな気持ちになりましたか。
4. 店の人が娘の名前や電話番号を知っていたのはどうしてだと思いましたか。
5. 情報を売ったり買ったりする会社は、どのようにして情報を集めるのですか。
6. 大手家電メーカーはどんなことをたずねてきましたか。
7. この人は何を心配しているのですか。
8. この人は、今何をしなければならないと言っていますか。
9. 皆さんの国でもこのような電話がかかってくることがありますか。
10. もしこのような電話がかかってきたら、どのように答えますか。



使いましょう

A 「～ものの」という言い方を練習しましょう。

例: 日本には来たものの、言葉が分からず困っている。

1. 旅館の予約はしたものの、まだ電車のきっぷは ________。
2. 日曜日に行くと約束はしたものの、________。
3. 日本語を習ってはいるものの、使うのは________。
4. ________ものの、まだ使っていない。
5. ________ものの、買い物をしないで帰ってきた。

B 「～につれて」という言い方を練習しましょう。

例: 時間が経つにつれて、何だか気味が悪くなってきた。

1. 暗くなるにつれて、だんだん________。
2. 外国生活が長くなるにつれて、________。
3. 寒くなるにつれて、________。
4. ________につれて、経験も増えてきます。
5. ________につれて、友達も多くなります。

C 「～によって」という言い方を練習しましょう。

例: 電話によって、いろいろな情報を集める。

1. 新しいコンピューターによって、________。
2. 外見を飾ることによって、________。

3. おおぜいの日本人と話すことによって、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿によって、相手の心を知ることができる。
5. ＿＿＿＿＿によって、遠くにいる人にいろいろなことを知らせることができる。

D 「〜として」という言い方を使って「田中先生」の話をしましょう。

田中先生は ⇨

1. 学校では＿＿＿＿＿として働いています。
2. 家では ＿＿＿＿として子供たちに愛されています。
3. 学校時代は＿＿＿＿＿として有名でした。
4. 暇なときには＿＿＿＿＿として＿＿＿＿＿ています。
5. 十年後には＿＿＿＿＿として＿＿＿＿＿たいと思っています。

E 「〜ば〜ほど」という言い方を練習しましょう。

例: 情報通信技術の開発が進めば進むほど、情報の管理が難しくなってくる。

1. 荷物は＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿ほど良い。
2. ビールは ＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿ほどおいしい。
3. 山は上に ＿＿＿＿ば ＿＿＿＿ほど気温が下がる。
4. 日本語は＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿ほど＿＿＿＿＿なる。
5. 考えれば考えるほど＿＿＿＿＿こともある。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

時々＿＿＿＿＿から、電話が＿＿＿＿＿ことがある。どうやって＿＿＿＿＿だろうか。名簿などを集めて＿＿＿＿＿。このようにして集めた情報を＿＿＿＿＿ならまだよいが、＿＿＿＿＿などまで管理されて ＿＿＿＿＿されたりしたら、＿＿＿＿＿。



話しましょう

A 第11課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の会社は、いろいろなところから情報を集めて、ほかの会社に売っています。情報を売るときには、悪用しないという約束で売りますから、他人に自分の生活を管理されるというのは、心配しすぎだと思います」

B 人に喜ばれる電話やインターネットの使い方を考えてみましょう。

 書きましょう

A-1 ＿＿＿＿＿。どうして＿＿＿＿＿のだろうかと不思議に思った。

例: 店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。

→店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。どうしてこんなことが起こるのだろうかと不思議に思った。

1. そんなに太っていないのに、若い娘たちは一生懸命ダイエットをしている →
2. 日本のサラリーマンは毎日残業をして、家に帰るのが遅い →
3. 私の友達は、親からお金を送ってもらっているのに、アルバイトもしている →

A-2 ＿＿＿＿＿くらいならまだ許せるが、＿＿＿＿＿たら、それこそ＿＿＿＿＿。

例: 金もうけに使う / 悪用される

→個人の情報が金もうけに使われるくらいならまだ許せるが、それが悪用されたら、それこそ恐ろしいことである。

1. 親にうそを言う / 人の物をぬすむ →
2. 接待でゴルフに行く / 会社のお金を自分のために使う →
3. お酒を飲んで大声を出す / けんかして相手にけがをさせる →

第12課　[あつまる]



新しい言葉

植木(うえき)	市(いち)	主婦(しゅふ)	偶然(ぐうぜん)ニ
木陰(こかげ)	白髪(しらが)	小柄(こがら)ナ	お互(たが)いニ
生(い)き生(い)き(と)スル	ぎんなん	ベンチ	腰(こし)を下(お)ろす
コイ	えさ	孫(まご)	話(はな)しかける
ボランティア	ホッとスル	きっかけ	亡(な)くす
一人暮(ひとりぐ)らし	それぞれニ	独立(どくりつ)スル	時(とき)には
訪(たず)ねる	普段(ふだん)	それに	年(とし)を取(と)る
大変(たいへん)ナ	苦手(にがて)ナ	手入(てい)れスル	ちょっとした～
あきらめる	しようがない	～ところ	公社(こうしゃ)
パンフレット	区役所(くやくしょ)	ユニークナ	試(こころ)み[←試みる]
老人(ろうじん)	手助(てだす)けスル	若者(わかもの)	力(ちから)
早速(さっそく)	申(もう)し込(こ)む	もともと	出身(しゅっしん)
～後(ご)	引(ひ)っ越(こ)す	親(した)しい	友人(ゆうじん)
(～に)とって	一時(ひととき)	戦争(せんそう)	苦労(くろう)スル
知識(ちしき)	いかに(～か)	先輩(せんぱい)	感謝(かんしゃ)スル
親類(しんるい)	祖母(そぼ)	(三(さん))世代(せだい)	

(場所の名前) 浅草(あさくさ)　関西(かんさい)



いっしょに考えましょう

1. 近くに一人で暮(く)らしているお年寄りはいますか。
2. お年寄りはどんなことに困っているでしょうか。
3. 若い人は年を取った人にどんなことをしてあげられますか。
4. 年を取ったら、だれと一緒に暮(く)らしたいですか。
5. お年寄りから教えてもらえることは、どんなことですか。

[あつまる]

植木市で有名な東京の浅草で、若い主婦、田川さんを偶然見かけたのは、去年の夏のことだった。公園の木陰で白髪の小柄なおばあさんと楽しそうに話していた。おばあさんも田川さんもお互いにうれしそうだし、生き生きとしていた。次に二人を見たのは秋も終わるころで、二人はぎんなんを拾いながら歩いていた。三度目に会ったときは、公園のベンチに腰を下ろして、池のコイにえさをやっていた。

「いいですね。お散歩ですか、お孫さんと」

と話しかけると、おばあさんは、

「いえいえ、この人はボランティアの田川さん。いつも連れてきてくれるんですよ。ここに来るとホッとするもんだから」

と答えた。

これがきっかけで、私はこの二人、山口さんと田川さんと知り合いになった。八十五歳の山口さんは十年ほど前に御主人を亡くしてから、ずっと一人暮らしを続けている。三人の子供たちはそれぞれ家庭を持ち、独立している。時には訪ねてくれるが、山口さんは普段話相手がだれもいないのはやはり寂しいと思っていた。それに年を取ると買い物も大変だし、苦手な庭の手入れだって大変だ。植木に水をやってくれたり、近くのスーパーまで一緒に行ってくれたりと、ちょっとした手伝いをしてくれる人が欲しい。でもあきらめなければしようがないか。そう思っているところへ、「おとしより公社」のパンフレットが送られてきたのだそうだ。

---

*植　*市　浅　主　婦　偶　*木　陰　*白　髪　柄　互　拾　腰

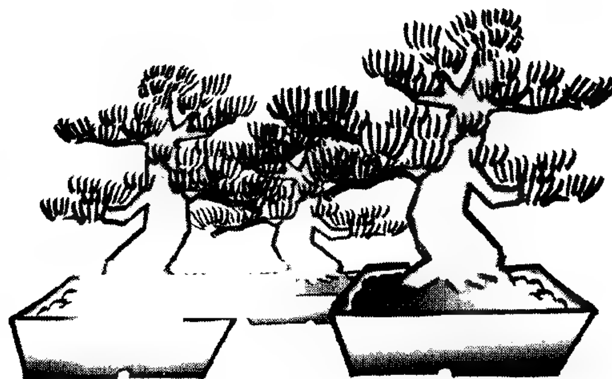
孫　亡　暮　独　訪　普　段　*苦

[あつまる]

「おとしより公社」というのは、山口さんが住んでいるところの区役所が始めたユニークな試みである。一人暮らし老人の手助けをしたいという若い人を、若者の力を借りたいというお年寄りに区役所が紹介するのである。山口さんは早速申し込んだ。そして紹介してもらったのが田川さんだった。二十三歳の田川さんはもともと関西の出身だが、結婚後、御主人の転勤で東京に引っ越してきた。まだ子供もなければ親しい友人もいない。そんな田川さんにとって山口さんを訪ねる月曜と木曜の午後は、とても楽しい一時なのである。

「昔の浅草の様子や、戦争で家を焼かれて苦労した経験や、御主人との思い出など、山口さんの話を聞いていると、私の知識や経験がいかに少ないかが分かるんですよ。人生の先輩としていろいろ教えていただいて感謝しています」と田川さんは言う。

山口さんと私と田川さん。親類でも何でもないけれども、ちょうど祖母、母、娘の三世代が集まって、今年の夏は一緒に植木市に行く約束をした。きっと楽しい散歩になるだろうと今から楽しみにしている。



*試　老　力　*早　速　*西　*友　戦　争　焼　*苦　労　*知　識
輩　謝　類　祖　*母　*今



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. これを書いた人が初めて二人を見かけたのはいつ、どこででしたか。
2. この人が二人と知り合ったきっかけは何でしたか。
3. そのとき、二人の様子はどうでしたか。
4. 山口さんが一人暮らしをしているのはどうしてですか。
5. 山口さんはどんなことに困っていましたか。
6. 田川さんはどうして山口さんと知り合いになりましたか。
7. 「おとしより公社」ではどんなことをしていますか。
8. 山口さんは田川さんにどんな話をしますか。
9. 「おとしより公社」をどう思いますか。
10. 私たちは一人暮らしのお年寄りにどんなことをしてあげられると思いますか。



使いましょう

A 「～ものですから」という言い方を練習しましょう。

例: 急いでいるものですから、お先に失礼します。

1. ＿＿＿＿＿ものですから、つい食べすぎてしまいました。
2. ＿＿＿＿＿ものですから、うっかり忘れてしまいました。
3. あまり面白かったものですから、＿＿＿＿＿。
4. どうしても分からなかったものですから、＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿ものですから、＿＿＿＿＿。

B 「きっかけ」という言い方を練習しましょう。

例: A: いつたばこをおやめになったのですか。
　　B: 彼女にやめろと言われたのがきっかけなんです。

1. A: どうして医者になろうと決めたんですか。
   B: ＿＿＿＿＿がきっかけなんです。
2. A: どこでかれと友達になったんですか。
   B: ＿＿＿＿＿がきっかけなんです。
3. A: どうして肉を食べないのですか。
   B: ＿＿＿＿＿がきっかけで＿＿＿＿＿なったんです。
4. A: 山田さん、毎週日曜日にテニスをされているらしいですね。
   B: ええ、＿＿＿＿＿がきっかけで＿＿＿＿＿そうです。
5. A: おくさんは外国の方だそうですね。
   B: ええ、＿＿＿＿＿がきっかけで＿＿＿＿＿んです。

C-1 「〜ところ」という言い方を練習しましょう。

例: A: まだ出かけないんですか。
B: 今、出かけるところです。

1. A: お忙しそうですね。
B: ええ、これから＿＿＿＿＿ところなんです。
2. A: もう十二時すぎですよ。まだ起きているんですか。
B: 今、＿＿＿＿＿ところです。
3. A: すみません。ちょっとお願いできますか。
B: ええ、いいですよ。ちょうど＿＿＿＿＿ところですから。

C-2 例: A: 御主人はいらっしゃいますか。
B: 主人はおふろに入っているところですから、あとでお電話ください。

1. A: ここで音楽を聞いてもいいですか。
B: ＿＿＿＿＿ところですから、静かにしてください。
2. A: まだでしょうか。
B: ＿＿＿＿＿ところですから、お待ちください。
3. A: 片付けてもいいですか。
B: ＿＿＿＿＿ところですから、そのままにしておいてください。

C-3 例: A: 一緒に食事でもしませんか。
B: すみません。今、食べたところなんです。

1. ＿＿＿＿＿ところです。あたたかくておいしいですよ。
2. A: 林さんはいらっしゃいますか。
B: たった今、＿＿＿＿＿ところです。
3. 駅に着いたら、ちょうど＿＿＿＿＿ところでした。

D 「〜にとって」という言い方を練習しましょう。

例: 田川さんにとって、山口さんを訪ねる月曜と木曜の午後は、とても楽しい一時なのである。

1. 子供にとって、夏休みは＿＿＿＿＿ものです。
2. 若い人にとって、音楽は＿＿＿＿＿。
3. 留学生(りゅうがくせい)にとって、家族からの手紙は＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿にとって、＿＿＿＿＿は大きな問題です。
5. ＿＿＿＿＿にとって、＿＿＿＿＿は楽しみの一つです。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

田川さんが山口さんと知り合いになったのは＿＿＿＿＿。山口さんは十年ほど前から＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿。田川さんは＿＿＿＿＿し、＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿と言っている。



話しましょう

A　第12課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「山口さんには、子供が三人もいるのですから、その子供がお世話をしたらいいと思います。お年寄りを一人にしないように、国が決めればいいと思います。そうすれば『おとしより公社』のようなものもいらなくなると思います」

B　世代の違う人が集まることに、どんな意味がありますか。



書きましょう

A　＿＿＿＿＿という話を聞いていると、＿＿＿＿＿がいかに＿＿＿＿＿かが分かるんです。

例：御主人の思い出や戦争で家を焼かれて苦労した
→ 御主人の思い出や、戦争で家を焼かれて苦労したという話を聞いていると、私の知識や経験がいかに少ないかが分かるんです。

1. 留学生の生活はアルバイトや勉強で大変だ →
2. 今の日本の小学生はテストなどで大変だ →
3. 日本では主婦が外で働くのは、仕事と子供の世話で大変だ →

B　＿＿＿＿＿という話を聞いて、＿＿＿＿＿がいかに＿＿＿＿＿かが分かりました。私も＿＿＿＿＿がきっかけで、＿＿＿＿＿。

例：親と子が話し合うこと / 先生の話
→ 寂しくて紫だけで絵をかくという話やいたずら電話をかけて面白がるという話を聞いて、親と子が話し合うことがいかに大切かが分かりました。私も先生の話がきっかけで、子供たちと話すようになりました。

1. たばこをやめること / 彼女にやめた方がいいと言われた →
2. 食べ物と健康 / 友人が入院した →
3. 運動する / 体重が増えた →

第13課　［つかう］



新しい言葉

出張(しゅっちょう)スル	もうすぐ	墜落(ついらく)スル	原因(げんいん)
いまだ(に)	不明(ふめい)ナ	遺言(ゆいごん)スル	遺体(いたい)
落(お)ち着(つ)く	給与(きゅうよ)	昇進(しょうしん)スル	調子(ちょうし)
ストレス	しまいに	定年(ていねん)	引(ひ)っ込(こ)む
縁(えん)	～ぞ	商社(しょうしゃ)	就職(しゅうしょく)スル
何より(も)	嫌(きら)う	形見(かたみ)	愛用(あいよう)スル
型(かた)	海外(かいがい)	免税店(めんぜいてん)	動(うご)く
外出(がいしゅつ)スル	パート	不便(ふべん)ナ・ニ	感(かん)じる
～どころか	かえって	ゆとり	～わけではない
身(み)の回(まわ)り	寝室(しんしつ)	電子(でんし)レンジ	炊飯器(すいはんき)
洗濯機(せんたくき)	電化製品(でんかせいひん)	デジタル	表示(ひょうじ)スル
行(い)き帰(かえ)りニ	ビル	あちらこちら	確(たし)かめる
気(き)にする	気(き)が付(つ)く	あと～	せき立(た)てる
いらいらスル	合(あ)わせる	腹時計(はらどけい)	見当(けんとう)を付(つ)ける
沸(わ)かす	インスタント	注(そそ)ぐ	今(いま)では
にらめっこスル	はず	試(ため)す	ほぼ
正確(せいかく)ナ・ニ	気(き)に入(い)る	遭(あ)う	語(かた)りかける



いっしょに考えましょう

1. いつも時計を持っていますか。
2. 時計が便利だと思うのはどんなときですか。
3. 時計を何度も見るのはどんなときですか。
4. 時計を持たないで生活できると思いますか。
5. もし世界中の時計がなくなったらどうなるでしょう。

[つかう]

出張途中の突然の飛行機事故で、主人が亡くなってもうすぐ三年になる。墜落の原因はいまだに不明だ。遺言も残さず、遺体も帰ってこなかった。「時間に追われるような、こんな落ち着かない生活はもう嫌だ。給与も昇進も要らん。こんな調子で仕事を続けていたら、ストレスでしまいには死んでしまう。定年になったら田舎に引っ込んで、時計とは縁のない生活をするぞ」商社に就職して二十年になる主人は、繰り返しこんなことを言っていた。時間に追われる毎日を何よりも嫌っていたその主人が私に残してくれた形見は、長く愛用していた古い型の腕時計であった。海外出張前に「空港の免税店で新しいのを買うから」と言って残していった古い腕時計は、今も休まず動いている。

主人を亡くしてから、私は外出するときもパートに出るときも時計を持っていかないことにした。初めは少し不便だと感じることもあったが、慣れてくると不便どころか、かえって生活にゆとりさえ出てきた。時計を持たなくなったからといって、時間のことを全然考えずに生活しているわけではないし、身の回りに時計が一つもないわけでもない。私の寝室には目覚し時計があるし、ビデオや電子レンジ、それに炊飯器や洗濯機などの電化製品にまでデジタル表示の時計が付いている。パートの行き帰りにも、駅や銀行のビルなど、あちらこちらにある時計を見て、時間を確かめることができる。

時計を持たなくなって、私は自分が前ほど時間を気にしなくなっているのに気が付いた。まず、歩きながら「約束の時間まであと何分」と、

張　墜　*落　*原　因　*遺　*言　与　昇　*要　*田舎　縁　就
*嫌　*形　免　税　*店　回　*寝　*覚　炊　器　洗　濯　製　*表
示

[つかう]

何かにせき立てられて何度も何度も時計を見ることがなくなった。また、急ぐ用事もないのに電車を待ちながら何回も時計を見ていらいらすることもなくなったし、時計を合わせる必要もなくなった。

昔から腹時計などと言うが、私も時計を見なくてもだいたい時間が分かるようになった。「もうそろそろニュースの時間だろう」と見当を付けると、それが大きくは間違っていない。風呂を沸かしたりインスタントラーメンに湯を注いで時間を待つときも、今では時計とにらめっこしなくてもよくなった。「もうできているはずだ、だいたい三分くらい経ったから」と、試してみるつもりで時計を見ると、それがほぼ正確だからである。私はこんな生活が気に入っている。

主人は出発前にどんな時計を買ったのだろうか。時間に追われるような気持ちで、何度も何度もその時計を見ているときに事故に遭ったのではないのだろうか。「田舎に引っ込まなくても、時計と縁のない生活はできますよ」私は今日も主人の形見にそう語りかけている。



*回　腹　*風　呂　沸　湯　*注　*試　*正　*確　遭　*今日　*語

第13課



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 御主人は、いつ、どうして亡くなったのですか。
2. 御主人はどうして時計を残していきましたか。
3. 御主人が何よりも嫌っていたのは、どんなことでしたか。
4. 御主人は定年後にどんな生活をしたいと言っていましたか。
5. この人が時計を持たなくなったのはいつからですか。
6. 時計を持たなくなって、かえって生活にゆとりが出てきたのはどうしてですか。
7. 今、時計とにらめっこしなくてもよくなったのは、どうしてですか。
   また、時計を見ないで、どんなことができるようになりましたか。
8. 御主人の時計を見ながら、この人はどんなことを時計に話しかけていますか。
9. 今、時間に追われて生活していますか。それはどうしてですか。
10. 時計を持たないで生活したいと思いますか。それはどうしてですか。



使いましょう

A 「～はずだ」という言い方を練習しましょう。

例: 田中さんの家からここまでは一時間くらいかかります。
　A: 田中さんはまだですか。もう三時になりますよ。
　B: 二時前に家を出たそうだから、もうすぐ来るはずですよ。

1. ジョンさんは日本語を三年間勉強しました。
   A: ジョンさんに出す手紙なんですが、日本語でいいでしょうか。
   B: ＿＿＿＿から、＿＿＿＿はずですよ。
2. 田中さんには、きのう「あしたは学校は休みです」と言いました。
   A: 田中さんは、今日は学校が休みだということを知っているでしょうね。
   B: ＿＿＿＿から、＿＿＿＿はずですよ。
3. 田中さんは、きのう「あしたは家にいます」と言っていました。
   A: 田中さんに電話しようと思っているんですが。
   B: ＿＿＿＿から、＿＿＿＿はずですよ。
4. 田中さんは、きのう「あしたは家にいません」と言っていました。
   A: 田中さんに電話しようと思っているんですが。
   B: ＿＿＿＿から、＿＿＿＿はずですよ。
5. 今、四時五十八分です。次のバスは五時です。
   A: バス、なかなか来ませんね。どうしたんでしょう。
   B: ＿＿＿＿から、＿＿＿＿はずですよ。

B 「～からといって、～わけではない」という言い方を練習しましょう。

例: 毎日学校へ来ているからといって、日本語が上手になるわけではない。

1. 肩書きが立派だからといって、＿＿＿＿＿わけではない。
2. ねだんが安いからといって、＿＿＿＿＿わけではない。
3. 敬語を使っているからといって、＿＿＿＿＿わけではない。
4. 日本に来たからといって、＿＿＿＿＿わけではない。
5. ＿＿＿＿＿からといって、漢字が読めないわけではない。
6. ＿＿＿＿＿からといって、まずいわけではない。
7. ＿＿＿＿＿からといって、新聞が読めるわけではない。
8. ＿＿＿＿＿からといって、友達になれるわけではない。

C 「～どころか～さえ～ない」という言い方を練習しましょう。

例: A: 漢字はいくつぐらい読めますか。
　　B: 漢字どころか、ひらがなさえまだ読めないんです。

1. A: よく外国旅行に行かれるのですか。
   B: ＿＿＿＿＿どころか、＿＿＿＿＿さえ行ったことがありません。
2. A: この方のご住所をごぞんじですか。
   B: ＿＿＿＿＿どころか、＿＿＿＿＿さえ分かりません。
3. A: 料理ができないといっても、焼きそばぐらい作れるでしょう。
   B: いいえ、＿＿＿＿＿どころか、＿＿＿＿＿さえ作れません。
4. A: よく本を読みますか。
   B: 忙しくて＿＿＿＿＿どころか、＿＿＿＿＿さえ読めないんです。
5. A: もうしゅくだいはできましたか。
   B: 今日は頭が痛くて＿＿＿＿＿どころか、＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿てから、＿＿＿＿＿生活をしている。初めは＿＿＿＿＿。時計を持たなくなってから＿＿＿＿＿なったし、＿＿＿＿＿もなった。私は＿＿＿＿＿が気に入っている。



話しましょう

A 第13課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「『時計と縁のない生活』は、田舎でなら考えられても、都会ではできないと思

います。私は電車の運転をしていますが、私の運転する電車が五分遅くなっても大きい声で怒るお客さんを見ると、時計は必要だと思います」

B　私たちの毎日の生活で、要らないと思う機械は何ですか。



書きましょう

A−1　＿＿＿＿から、＿＿＿＿ことにした。初めは＿＿＿＿が、慣れてくると＿＿＿＿どころか、かえって＿＿＿＿。

例：自分の時計を持って歩かないことにした

→いろいろな所に時計があるから、私は自分の時計を持って歩かないことにした。初めは不便なこともあったが、慣れてくると不便どころか、かえってゆとりを持って生活できるようになった。

1. エレベーターを使わないことにした　→
2. 車を使わないことにした　→
3. テレビを見ないことにした　→

A−2　＿＿＿＿からといって＿＿＿＿わけではないし、＿＿＿＿わけでもない。

例：時計を持たなくなった

→時計を持たなくなったからといって時間のことを全然考えないで生活しているわけではないし、身の回りに時計が一つもないわけでもない。

1. テレビを見なくなった　→
2. 田舎で生活している　→
3. 教室で日本語を使わない　→

第14課　［であう］



新しい言葉

(お)坊(ぼう)さん	自然(しぜん)	動植物(どうしょくぶつ)	母校(ぼこう)
自然科学(しぜんかがく)	教師(きょうし)	祖父(そふ)	代(だい)
寺(てら)	さらに	勧(すす)める	仏教(ぶっきょう)
苦(にが)い	平和(へいわ)	体験(たいけん)スル	気(き)が弱(よわ)い
活動(かつどう)スル	まさか	衛星(えいせい)	添(そ)える
文字(もじ)	目(め)に留(と)まる	文章(ぶんしょう)	出会(であ)い[←出会う]
変(か)える	宇宙(うちゅう)	地球(ちきゅう)	美(うつく)しい
夜空(よぞら)	浮(う)かぶ	球(きゅう)	争(あらそ)う
血(ち)	流(なが)す	ばかばかしい	民族(みんぞく)
種(しゅ)	生(い)き物(もの)	宇宙飛行士(うちゅうひこうし)	周(まわ)り
ちっぽけナ・ニ	思(おも)い立(た)つ	環境(かんきょう)	移(うつ)る
アイディア	提供(ていきょう)スル	種(たね)	分(わ)ける
道具(どうぐ)	次々(つぎつぎ)に	反応(はんのう)スル	気(き)を良(よ)くする
援助(えんじょ)スル	週末(しゅうまつ)	大喜(おおよろこ)びスル	懐(なつ)かしい
ふるさと	栽培(さいばい)スル	夢(ゆめ)	どんなに
おかげ	協力(きょうりょく)スル	～うちに	汗(あせ)
現(あらわ)れる			



いっしょに考えましょう

1. 子供のころ、何になりたいと思っていましたか。
2. だれかに会ったことがきっかけで何かを始めたことがありますか。
3. 何かのきっかけとなった経験がありますか。それはどんなことですか。
4. 言葉が何かのきっかけになったことがありますか。
5. そのほかに何か影響を受けたことはありますか。

[であう]

川上良円さんは若いお坊さんである。富士山の見える町に生まれ、豊かな自然の中で育った。山を歩いて動植物の写真を撮るのが何よりの趣味だという良円さんは、高校を卒業するころまでは母校で自然科学の教師になりたいと考えていた。しかし、家が祖父の代から寺であったこと、さらに父親に強く勧められたことなどが理由で仏教の大学に入った。

父親の良恵さんは、自分の苦い経験から「戦争はいけない。どんなことをしてでも、平和は守らなければならない」といつも言っていた。そしていろいろな所へ出かけていっては、自分の戦争体験や平和の大切さについて話をするのが自分の仕事だと考えていた。良円さんはそんな父親を見て、ただ自然が好きなだけの気の弱い自分に父と同じような活動なんてまさかできるはずがないと思っていた。

大学を卒業する春のことだった。ある写真の展覧会で、一枚の衛星写真に添えられた文字が目に留まった。そして、その短い文章との出会いが良円さんの人生を変えた。

「遠く離れた宇宙から見た地球はとても美しい、夜空に浮かぶ小さな青い球だ。その上で争い、血を流し合っているなんて本当にばかばかしい。国や民族が違っても、みんなヒトという同じ一つの種なのだから」

小さい青い球の上の生き物　　宇宙飛行士の言葉に、そうか、それが自分たちだったのか、と良円さんは思った。毎日見ている富士山も周り

---

*上　*良　坊　*富　士　*山　*自　撮　科　師　*父　寺　勧　仏
恵　弱　展　覧　枚　衛　*星　添　文　*留　章　宇　宙　*美
*夜　*空　浮　*争　血　流　民　種　*士　周

[であう]

の家も人も、宇宙から見たら一つのちっぽけな球なのだ。

良円さんは、一年ほど前から、町に住み始めたベトナムの人たちと一緒に畑を作ってみようと思い立った。戦争のために国を離れて新しい環境に移り、一生懸命に生活しようとしている人たちである。畑作りのアイディアを町の人たちに話してみたところ、土地を提供してくれる人、野菜の種を分けてくれる人、畑仕事の道具を貸してくれる人が次々に出てきた。そんな反応に気を良くした良円さんは、あちらこちらへ行き、いろいろな人に援助を求め、そして週末には朝からベトナムの人たちと畑に出るようにした。ベトナムのみんなは大喜びだった。懐かしいふるさとの野菜が栽培できるなんて夢のようだと言うおばあさんがいた。工場の仕事でどんなに疲れていても、野菜畑のおかげで元気になれると言う若者もいた。初めてできた野菜を協力してくれた町の人たちに分けて、食べてもらった。そうしているうちに、喜んだ町の人の中から、もっと広い土地を貸そうと言ってくれる人や、一緒に汗を流したいという若者も現れた。

良円さんは今、父親とは違った形で平和のために自分にできそうなことは何だろうかと、まじめに考え始めたところである。

環　境　移　提　*供　菜　*種　具　反　応　援　末　懐　栽
培　*夢　協　汗　現



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 川上さんが自然科学の教師になりたいと思っていたのはどうしてですか。
2. 川上さんのお父さんはどんな活動をしていますか。
3. 展覧会の写真を見て川上さんはどう思いましたか。
4. そして、何をすることにしましたか。
5. どうして川上さんの町にベトナムの人がいるのですか。
6. 町の人たちはどんな協力をしてくれましたか。
7. ベトナムの人たちは何と言って喜びましたか。
8. 野菜をもらった町の人たちの中からどんな人が出てきましたか。
9. 川上さんのような人を知っていますか。その人はどんなことをしていますか。
10. 平和のためにできることは何だと思いますか。



使いましょう

A 「～ては～」という言い方を練習しましょう。

例: 彼はいろいろな所へ行っては写真を撮っています。

1. 家族の写真を見ては＿＿＿＿＿。
2. 父が好きだった音楽を聞いては＿＿＿＿＿。
3. 体重をはかっては＿＿＿＿＿。
4. 父はお酒を飲んでは＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿ては＿＿＿＿＿を思い出している。

B 「まさか～はずがない」という言い方を練習しましょう。

例: A: 小林さんがあのマンションを買うと言っていたそうですよ。
B: あんな高いマンションがまさか買えるはずがありませんよ。

1. A: 青山さんが入院したというのは本当ですか。
   B: そんなことないでしょう。あんなに元気だった人がまさか＿＿＿＿＿はずがありません。
2. A: これ、もう動きません。
   B: ええっ。きのう買ってきたばかりなのに、まさか＿＿＿＿＿はずがありません。
3. A: 都会の中に野菜畑があるそうです。
   B: だれに聞いたんですか。まさか＿＿＿＿＿はずがありません。
4. A: まだでしょうかね。
   B: 何度もたのんだのですから、まさか＿＿＿＿＿はずがありません。

5. A: 上手な絵ですね。息子さんがおかきになったのですか。
   B: まさか＿＿＿＿＿はずがありません。

C 「～たところ」という言い方を練習しましょう。

例: 先生にうかがってみたところ、分からないという返事でした。

1. 空港に電話をして聞いてみたところ、＿＿＿＿＿。
2. 実際に行ってみたところ、＿＿＿＿＿ほど＿＿＿＿＿。
3. できるかどうか聞いたところ、＿＿＿＿＿ということでした。
4. 市役所で調べてもらったところ、＿＿＿＿＿。
5. たばこに火をつけようとしたところ、＿＿＿＿＿。

D 「～うちに」という言い方を練習しましょう。

例: 何回も練習しているうちにだんだん分かってきました。

1. 朝のうちに＿＿＿＿＿。
2. 若いうちに＿＿＿＿＿。
3. 元気なうちに＿＿＿＿＿。
4. 暗くならないうちに＿＿＿＿＿。
5. 忘れないうちに＿＿＿＿＿。
6. いろいろ考えているうちに＿＿＿＿＿。
7. 話し合っているうちに＿＿＿＿＿。
8. 日本で生活しているうちに＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

川上さんは＿＿＿＿＿までは＿＿＿＿＿と思っていた。その気持ちが変わったのは＿＿＿＿＿からだった。それがきっかけで＿＿＿＿＿てみようという気持ちになった。みんなに喜んでもらって＿＿＿＿＿とまじめに考え始めている。



話しましょう

A **第14課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。**

「良円さんのような人をたくさん知っています。でも、一人の力は小さなものだから、そんな人が何人いても世界は今と同じです。自分が満足するために働いているのならいいのですが . . .」

B　大切にしている人や物との出会いについて話してください。



書きましょう

A-1　＿＿＿＿ては＿＿＿＿ているうちに、＿＿＿＿になった。そこで＿＿＿＿と＿＿＿＿てみたところ、＿＿＿＿。

例：草花の写真を撮る ⇨ その絵をかく

→ 山を歩いてはそこに生えている草花を見ているうちに、草花の写真を撮るようになった。そこで今度はその絵をかこうと思ってかいてみたところ、前より草花のことがよく分かるようになった。

1. 絵を見る ⇨ 自分でかく　→
2. 自分でケーキを焼く ⇨ ケーキの店を始める　→
3. ダイエットの研究をする ⇨ それを本に書く　→

A-2　＿＿＿＿ている。私はそんな＿＿＿＿を見て、まさか＿＿＿＿はずがないと思っていた。そんな気持ちが変わったのは＿＿＿＿がきっかけだった。

例：父がいろいろな所へ行って、平和について話をしている。

→ 父がいろいろな所へ出かけていって、平和について話をしている。私はそんな父を見て、まさか自分にそんなことができるはずがないと思っていた。そんな気持ちが変わったのは一枚の写真を見たのがきっかけだった。

1. 娘がやせようとたいそうをしている　→
2. 友達が毎日五キロ走っている　→
3. 母が新聞によく投書している　→

第15課　［わかりあう］



新しい言葉

旅の恥はかき捨て	ことわざ	少々	非常ナ・ニ
困難ナ	限る	その上	厳しい
上下関係	定める	枠	無礼講
表現スル	現在	会議	個人的ナ・ニ
目上	目下	述べる	しっかり(と)スル
決める	壊れる	息抜きスル	支える
現代	全体ニ	集団	秩序
出来上がる	相変わらず	課長	平社員
身分	(～に)したがって	縦	乱す
かかわり[←かかわる]	気にかける	～以外	無関心ナ・ニ
気付く	ふり	取り引きスル	(取り引き)先
慌てる	譲る	態度	属する
利益	規律正しい	一方	関心
意識スル	扱い[←扱う]	嘆き[←嘆く]	丁寧ナ・ニ
ただし	明らかナ・ニ	受け入れる	理解スル
決して(～ない)	よそ者	なかなか	作り上げる
～まい			



いっしょに考えましょう

1. 皆さんの国には外国人がたくさんいますか。
2. これまでに「外人」と呼ばれたことがありますか。
3. 皆さんの国にも「外人」という言葉がありますか。
4. 日本人とすぐ友達になれますか。
5. 日本人の友達とそのほかの国の友達とでは、どちらが多いですか。

[わかりあう]

「旅の恥はかき捨て」ということわざがある。旅に出たら少々のことは許されるという意味だ。昔の日本では旅に出ることは非常に困難なことだった。多くの人は生まれた土地を離れられず、死ぬまで限られた所に住み、その上、厳しい上下関係の中で生きていた。旅はその定められた枠から出られる、ただ一つの機会だったわけだ。それで、旅に出たら少しぐらいの自由は許されてもよいと考えたのだろう。

無礼講という言葉もある。古くから使われている表現で、現在でも「今日は無礼講で . . .」と言われれば、会議の席でも個人的な集まりでも、そのときだけは相手が自分より目上か目下かなどは忘れ、少しぐらいの失礼があっても気にせず、自分の意見を述べることができる。しかしこのときが過ぎれば、また厳しい上下関係に戻らなければならない。しっかりと決められた社会の枠が長く壊れずに続いてきたのは、無礼講のような息抜きがこれを支えてきたからなのだろう。

現代の日本では、社会全体としての上下関係はほとんどなくなったように見える。とはいうものの、昔とはまた違った集団の秩序がしっかりと出来上がっている。その一つが会社である。会社の中では相変わらず、社長、部長、課長、平社員という身分にしたがって縦の関係が厳しく守られ、それを乱そうとする者はあまりいない。ところが会社とかかわりのある人間関係は気にかけるのに、それ以外の人に対しては無関心であることも多い。電車の中で、お年寄りが立っていても気付かないふりをしておきながら、会社の上司や取り引き先の人が乗ってくると、慌てて

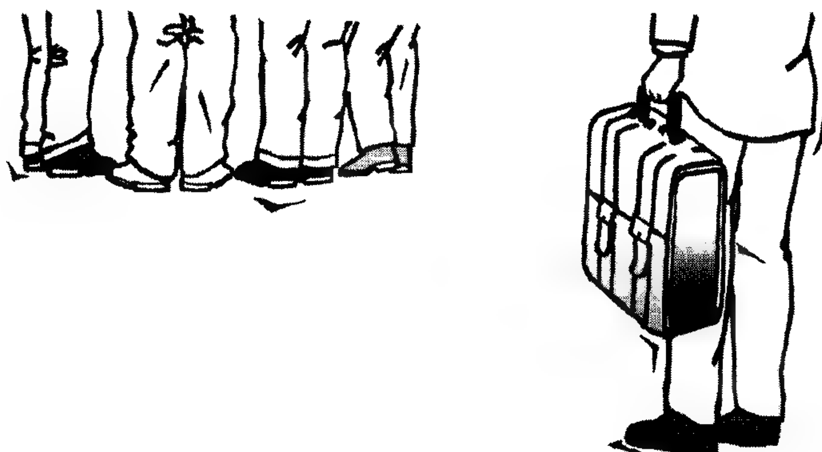
恥　捨　常　*困　*難　限　厳　*下　*定　枠　*無　講　*現　在
述　戻　壊　*息　抜　支　*集　団　秩　序　課　*平　縦　乱
慌

[わかりあう]

席を譲ったりすることさえある。このような態度は「ウチ」と「ソト」という関係から説明できる。自分の属している社会、自分の利益に直接かかわるグループを「ウチ」といい、「ウチ」の者に対しては規律正しくその秩序を守るようにする。一方、「ソト」に対しては「ウチ」に対するほどの関心を持たない。

外国人のことをよく「外人」というが、これもやはり同じような意識から出た言葉だろう。何年日本に住んでいようと、日本人より日本的であろうと、いつまでも「外人」扱いされるという嘆きを聞いたことがある。「日本人は確かに大変丁寧だが、ただしそれはお客様に対する丁寧さであることは明らかで、自分たちの社会に受け入れて理解し合おうとは、決してしてくれない」という嘆きだ。「よそ者」というわけである。このように「ソト」の者をなかなか「ウチ」へ入れようとしないのは、そうすることでしっかり作り上げられた「ウチ」社会を壊すまいとしているからなのだろう。

これは日本だけのことだろうか。



譲　態　属　益　規　律　*方　扱　嘆　*丁　寧　客　*明　解　*決



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 昔の社会はどんな社会でしたか。
2. 昔の人にとって、旅はどんな機会だったのですか。
3. 「無礼講」とは、どんなことですか。
4. どうして社会の枠が長く壊れずに続いたのですか。
5. 現代の日本で厳しい上下関係が見られるのはどんな集団ですか。
6. 「ウチ」、「ソト」とは何のことですか。
7. この人は日本に住んでいる外国の人からどんな嘆きを聞いたことがありますか。
8. どうして日本人はソトの人たちをウチに入れようとしないのですか。
9. ウチ、ソトの区別があるのは日本だけのことだと思いますか。
10. どうしてこのような区別があるのですか。



使いましょう

A-1 「〜わけだ」という言い方を練習しましょう。

例: 時間に追われたくないから、時計を持たなくなったわけです。
若者をお年寄りに紹介するために、「おとしより公社」を作ったわけです。

1. ＿＿＿＿＿から、留学することにしたわけです。
2. ＿＿＿＿＿から、仕事をやめることになったわけです。
3. ＿＿＿＿＿たいと思って、新しい家をさがしているわけです。
4. ＿＿＿＿＿うと思って、ここに集まっていただいたわけです。
5. ＿＿＿＿＿ので、アンケートをお願いしているわけです。

A-2 「〜というわけだ」という言い方を練習しましょう。

例: A: きのうはさいふをなくしたり、駅でころんだりして大変でした。
B: きのうはあまりいい日ではなかったというわけですね。

1. A: あのう、さっきのお話について、いろいろ質問があるのですが....。
   B: ＿＿＿＿＿というわけですね。
2. A: この仕事は難しそうだし、時間もないし、私には....。
   B: ＿＿＿＿＿というわけですね。
3. A: ごめんなさい。きのうは出かけてしまって、家にいなかったのです。
   B: ああ、それで＿＿＿＿＿というわけですか。

4. A: トムさんは今度新しく車を買ったそうですよ。
   B: ああ、それで__________というわけですか。
5. A: リンさんは料理学校に行きたいと言っていましたよ。
   B: つまり __________というわけですか。

B 「～ながら」という言い方を練習しましょう。

例: 来ると約束しておきながら、けい子さんは来ませんでした。

1. 日本語ができないと言いながら、__________。
2. たばこが体に悪いと分かっていながら、__________。
3. いつも人の世話になっておきながら、__________。
4. あの人がどこにいるか知っていながら、__________。
5. 今度は自分でやると約束しておきながら、__________。

C 「～しようと～」という言い方を練習しましょう。

例: 何年日本に住んでいようと分からないことがあります。

1. どこのだれと結婚しようと__________。
2. 何があろうと決して__________。
3. 何年かかろうと__________。
4. だれが何と言おうと__________。
5. だれが来ようと__________。

D 「～まい」という言い方を練習しましょう。

例: もう二度とお酒は飲むまいと思ったのに、また飲んでしまいました。

1. __________まいと思ったのに、休んでしまいました。
2. __________まいと思っていたのに、また悪いことを言ってしまった。
3. __________まいと思ったのに、また同じレストランへ行った。
4. __________まいと決めていたのに、__________。
5. __________まいと思っていたのに、__________。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

昔の日本人は__________に生きていた。今の社会にも__________区別がある。例えば__________というのが「ウチ」と「ソト」の考え方である。外国人を「外人」と呼んで「ウチ」へ入れようとしないのも__________。



話しましょう

A 第 15 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私も長く外国で生活したが、自分たちの秩序を乱されないようにするのは、当たり前のこと。何年日本に住んでいても、いつまでも『外人』だという人に、自分の国のことを考えてほしい。やっぱり、ウチとソトがあるはずだ」

B 外国で生活したことで、ものの見方や考え方が変わりましたか。また、そんな話を聞いたことがありますか。



書きましょう

A-1 ＿＿＿＿＿ても＿＿＿＿＿ふりをしておきながら、＿＿＿＿＿と、慌てて＿＿＿＿＿。

例: 電車でお年寄りが自分の前に立つ
→ 電車でお年寄りが自分の前に立っても、気が付かないふりをしておきながら、上司が乗ってくると、慌てて席を譲る。

1. 道で先生に会う →
2. 妻が注意する →
3. 課長に用事をたのまれる →

A-2 ＿＿＿＿＿が、ただし、それは＿＿＿＿＿であって、＿＿＿＿＿。

例: 日本人は丁寧だ
→ 日本人は丁寧だが、ただし、それはお客に対する丁寧さであって、自分たちの社会には入れてくれない。

1. 田中先生は厳しい →
2. トムさんは英語しか話さない →
3. 山口さんはよく旅行する →

第16課　[がんばる]



新しい言葉

市内(しない)	向(む)かう	道路(どうろ)	通勤(つうきん)スル
込(こ)む	ノロノロ運転(うんてん)	信号(しんごう)	焦(あせ)る
それにしても	バックミラー	映(うつ)る	渋滞(じゅうたい)スル
たまる	胃(い)	トースト	朝食(ちょうしょく)
済(す)ませる	朝刊(ちょうかん)	さっと	目(め)を通(とお)す
大事(だいじ)ナ・ニ	週日(しゅうじつ)	〜までもない	レポート
書類(しょるい)	昼食(ちゅうしょく)	契約(けいやく)スル	済(す)む
打(う)ち合(あ)わせ[←打ち合わせる]		勤務(きんむ)スル	(中小(ちゅうしょう))企業(きぎょう)
青年(せいねん)	経営(けいえい)スル	(経営(けいえい))者(しゃ)	セミナー
出席(しゅっせき)スル	代理(だいり)	ぎりぎり	間(ま)に合(あ)う
最後(さいご)ニ	アポイント	部下(ぶか)	カラオケ
うまくやる	潤滑油(じゅんかつゆ)	一部(いちぶ)	ひどい
零時(れいじ)	別(べつ)ニ	一戸建(いっこだ)て	都心(としん)
ローン	社宅(しゃたく)	物価高(ぶっかだか)	世(よ)の中(なか)
リストラスル	対象(たいしょう)	倍(ばい)	宝(たから)くじ
当(あ)たる	茶漬(ちゃづ)け	すする	一息(ひといき)つく
十分(じゅうぶん)ナ・ニ	解消(かいしょう)スル	おっと	居眠(いねむ)りスル
クラクション	鳴(な)らす	(〜た)ところで	痛(いた)む



いっしょに考えましょう

1. 電車の中で見る日本のサラリーマンはどんな様子ですか。
2. それを見て、どう思いますか。
3. 日本のサラリーマンは日曜日をどのように過ごすか、知っていますか。
4. 日本でサラリーマンをしてみたいですか。
5. 皆さんの国のサラリーマンはどんな生活をしていますか。

[がんばる]

...朝六時半、市内へ向かう道路は、通勤の車でもう込み始めている。私の乗ったバスもいつものようにノロノロ運転。これで今日一日のストレスの始まりだ。この間のように事故でもあれば、会社へ着くのが、また一時間以上遅(おく)れてしまう。でも、信号が赤なんだから焦(あせ)ったってしようがない。それにしても、バックミラーに映(うつ)るバスの運転手さんの顔は落ち着いたもんだ。毎朝の渋滞(じゅうたい)にすっかりあきらめているのだろう。朝夕の渋滞にいらいらするようでは、ストレスがたまって胃(い)がいくつあっても足りないだろうからな。

今朝(けさ)も急いで出かけてきた。起きるとすぐにトーストにコーヒーの簡単な朝食(ちょうしょく)を済(す)ませ、朝刊(ちょうかん)にさっと目を通して家を出る。子供たちはまだゆうべ帰ったときと同じようによく眠っていた。課長になってから残業が増え、子供たちの顔がゆっくり見られるのは週末ぐらいしかない。その大事な休みも、付き合いゴルフなどでなくなってしまうことが多い。

週日の忙しさは言うまでもない。昨日(きのう)だってそうだった。午前中は手紙やレポートなど書類の山を片付ける。午後は客と一緒に昼食(ちゅうしょく)をとりながら、会議が一つ。やっと契約(けいやく)が済むと、次にまたほかの打ち合わせ。そして、それが終わったときにはもう五時。勤務時間はここまでだが、これで帰れるはずもない。会社を出て「中小企業(きぎょう)・青年経営者(せいねんけいえいしゃ)セミナー」に出席するため、近くのホテルへ向かう。残した仕事もあるが、部長の代理として出るのだから、遅れることは許されない。セミナーにはぎりぎりで間に合ったが、最後までいないで、途中でアポイントの

---

*遅　焦　映　渋　滞　胃　*今朝　*朝　*済　刊　*昨日　*昼
契　企　*青　営

[がんばる]

あった客を迎えに部下と一緒に駅へ向かった。客に会って食事をし、その後はいつものカラオケへ。接待は苦手だ。本当はやりたくないのだが、これも商売をうまくやるためのひとつの潤滑油(じゅんかつゆ)、仕事の一部だとあきらめている。

接待にひどく時間がかかったが、零時(れいじ)近くになってやっと客をタクシーに乗せ、自分も別のタクシーを拾った。三年前に、やっとの思いで手に入れた一戸建て。都心から電車で一時間ほどのところにある。今の給料では、家のローンを払うのも大変だ。会社に近い社宅に住めばずっと便利なのだが、子供たちを少しでも広いところで育てようと思うと、これも我慢しなければなるまい。この物価(ぶっか)高の世の中、家族を支えていくのも楽ではない。その上、いつリストラの対象(たいしょう)になるかもしれない時代だ。そんなことを考えていると、疲れが倍(ばい)になる。何かいいことはないのだろうか。この間買った宝(たから)くじでも当たればなあ。

午前一時前。やっと家に着いた。妻の出してくれたお茶漬(ちゃづ)けをすすり、ほっと一息つく。一日で一番落ち着く時間だ。もちろんこれだけでは十分なストレス解消(かいしょう)にはならないが。

. . . おっと。つい居眠(いねむ)りしてしまった。運転手がクラクションを鳴らしている。さっきまでの落ち着きはどうした。いらいらしたところでどうにもなるまい。胃が痛むだけだよ、運転手さん。お互い家族のためにまだまだ頑張(がんば)らなきゃならないんだ。ゆっくり行こうや。今日も、一日長いんだから。

潤　滑　油　零　価　象　倍　宝　漬　*消　居　頑　*張



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が今朝出かけるとき、子供たちは何をしていましたか。
2. 子供たちの顔がゆっくり見られないのはどうしてですか。
3. この人は昨日はゆっくり昼食をとることができましたか。
4. どうして接待をしなければならないのですか。
5. この人は今、どんな所に住んでいますか。
6. どうしてこの人は社宅に住まないのですか。
7. どうして生活が楽ではないのですか。
8. この人が一番落ち着く時間はいつですか。
9. 小さいとき、お父さんとゆっくり話す時間がありましたか。
10. 忙しいサラリーマンたちの楽しみは何だと思いますか。



使いましょう

A 「〜ようでは」という言い方を練習しましょう。

例: こんなことでいらいらするようでは、胃がいくつあっても足りない。

1. こんな簡単な漢字も読めないようでは、＿＿＿＿＿。
2. 自分で洗濯や料理ができないようでは、＿＿＿＿＿。
3. 勉強をしないでテレビばかり見ているようでは、＿＿＿＿＿。
4. 満員電車を嫌がっているようでは、＿＿＿＿＿。
5. 電話もくれないようでは、あの人は＿＿＿＿＿。

B 「〜と、〜」という言い方を練習しましょう。

例: 早く花がさくようにと、毎日水をやっている。

1. 少しでもやせられるようにと、＿＿＿＿＿。
2. 体が丈夫になるようにと、＿＿＿＿＿。
3. いつ帰ってくるかと、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿と、宝くじを買っている。
5. ＿＿＿＿＿と、我慢している。

C 「〜たところで」という言い方を練習しましょう。

例: どんなに頑張ったところで、社長になれるわけではない。

1. どんなにさがしたところで、＿＿＿＿＿。
2. どんなにしかったところで、＿＿＿＿＿。

3. どんなにお金があったところで、＿＿＿＿＿。
4. どんなに＿＿＿＿＿たところで、分かるまい。
5. どんなに＿＿＿＿＿たところで、すぐにはできないだろう。

D 「〜まい」という言い方を練習しましょう。

例: もう春だから、少し寒くなっても、雪はふるまいと思う。

1. 丈夫な人だから、＿＿＿＿＿ても、＿＿＿＿＿まいと思っていた。
2. 古い友達だから、＿＿＿＿＿ても、＿＿＿＿＿まいと安心していた。
3. こんなに客がいるのだから、＿＿＿＿＿ても、＿＿＿＿＿まいと思った。
4. ＿＿＿＿＿から、＿＿＿＿＿ても分かるまいとあきらめた。
5. ＿＿＿＿＿から、＿＿＿＿＿ても＿＿＿＿＿まいと思っていた。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

サラリーマンの一日は忙しい。朝早く家を出て、＿＿＿＿＿たりする。会社での仕事が終わってもそれで家に帰れるわけではない。＿＿＿＿＿なければならない。こんなに働くのは＿＿＿＿＿ためだ。



話しましょう

A 第16課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「サラリーマンは面白くないという人が多いですが、私は定年まで楽しく生活しました。今年も、仕事で友達になったボブさんに招待されてアメリカへ行きます。サラリーマンの中には、暗い話をする人が多いですが、私のような人もおおぜいいます」

B 大会社に勤めたいですか。小さくても自分の会社を経営したいですか。



書きましょう

A-1 もし＿＿＿＿＿ば、＿＿＿＿＿てしまう。でも、＿＿＿＿＿のだから、＿＿＿＿＿てもしようがない。

例: 事故がある / 信号が赤だ / 焦らなくてもいい

もし事故でもあれば、会社へ着くのが一時間以上遅れてしまう。でも、信号が赤なのだから焦ってもしようがない。

1. 試験ができない / 結果を見るまで何もできない / 心配しなくてもいい →
2. 上司に嫌われる / 間違ったことは言っていない / 仕事を変えられてもいい →
3. 新しい家へ引っ越しする / 子供のためだとあきらめた / 遠くなってもいい →

A-2 ＿＿＿＿なら＿＿＿＿でもいいのだが、少しでも＿＿＿＿と思うと、＿＿＿＿。

例: 広い所で子供を育てようと思うと、会社の近くの社宅に住めない
→ 通勤するだけなら社宅でもいいのだが、少しでも広い所で子供を育てたいと思うと、会社から遠い所でも我慢しなければならない。

1. 安くていい物を買いたければ、デパートではだめだ →
2. いい写真を撮りたいと思うと、普通のカメラでは撮れない →
3. 難しい物を読みたいと思うと、今ある辞書だけではいけない →

第17課　［わける］



新しい言葉

～通り（とおり）	性格（せいかく）	タイプ	例（れい）の～
血液（けつえき）	意外（いがい）ナ・ニ	人気（にんき）	こる
というのも	思い浮かべる（おもいうかべる）	(あいさつ)代わり（がわり）ニ	一般（いっぱん）ニ
公（おおやけ）ニ	ルール	重んじる（おもんじる）	何事（なにごと）も
慎重（しんちょう）ナ・ニ	準備（じゅんび）スル	行動（こうどう）スル	傾向（けいこう）
性質（せいしつ）	なぜ	神経質（しんけいしつ）ナ・ニ	一目（ひとめ）で
反映（はんえい）スル	対照的（たいしょうてき）ナ・ニ	縛る（しばる）	自由奔放（じゆうほんぽう）ナ・ニ
楽天的（らくてんてき）ナ・ニ	同僚（どうりょう）	気（き）まぐれナ・ニ	印象（いんしょう）
与える（あたえる）	芸術（げいじゅつ）	(芸術)家（げいじゅつか）	実（じつ）は
典型的（てんけいてき）ナ・ニ	リーダーシップ	事実（じじつ）	一見（いっけん）スル
のんきナ・ニ	わがままナ・ニ	平気（へいき）ナ・ニ	物事（ものごと）
客観的（きゃっかんてき）ナ・ニ	批評（ひひょう）スル	相性（あいしょう）	冷静（れいせい）ナ・ニ
感情（かんじょう）	はっきり(と)スル	様々（さまざま）ナ・ニ	科学的（かがくてき）ナ・ニ
何（なん）の～も(～ない)		根拠（こんきょ）	いいかげんナ・ニ
わずかナ・ニ	分類（ぶんるい）スル	職業（しょくぎょう）	当（あ）てはめる
危険（きけん）ナ・ニ	反論（はんろん）スル	～上（うえ）で	初対面（しょたいめん）
より～	近道（ちかみち）		



いっしょに考えましょう

1. みんなからどんな性格（せいかく）だと言われますか。
2. それが正しいと思いますか。
3. 自分の性格は子供のころと比べて変わったと思いますか。
4. 自分の性格の一番好きなところはどんなところですか。
5. 人の性格を知るのにはどんな方法があると思いますか。

[わける]

「何型か聞いてもいい？」

「A 型」

「やっぱりね、思った通りだわ」

人の性格を A・B・O・AB の四つのタイプに分けて判断しようとする、例の血液型の話である。

これが意外に人気があって、多くの人に信じられている。私もこれにこっている一人である。というのも、周りにいる人たちの性格を思い浮かべてみると、確かにこれはよく当たっていると思うからである。初めて会った人にまで、ついあいさつ代わりに「何型ですか」と聞いてしまう。

A 型は一般に、「秩序や公のルールを重んじ、人間関係を大切にし、何事も慎重に準備をしてから行動する」傾向があるそうで、私の周りの A 型人間もたいていこのような性質である。この型の人には、なぜかやせていて神経質そうな人が多く、一目でそれと分かる。日本人にはこのタイプが一番多く、社会生活にもそれが反映されていると言われている。

B 型は A 型とは対照的に、「秩序やルールに縛られることを嫌い、自由奔放で楽天的」な性格だということで、同僚の B 型人間を見てみるとやはりその通りで声が大きく元気な人が多い。また、自由奔放だがそれが時には気まぐれとなり、何を考えているのか分からないという印象を与え、芸術家に多いタイプと言われる。

格　*血　液　*代　般　*公　慎　*重　準　備　傾　*向　*映　照

縛　奔　放　僚　印　*与　芸

[わける]

O 型はというと、実は私も典型的な O 型なのだが、「リーダーシップがあり、仲間意識が強い」のだそうだ。事実グループのリーダーになる人には O 型が多いようである。教師にもこの型が多いと言う。しかしほかの血液型の人に言わせると、O 型は一見のんきそうだが、気が強くてわがままで、他の人の意見を受け入れられないのだそうだ。自分のことを考えてみると、それも事実のようだ。

最後に AB 型だが、「何が起こっても平気でいられ、物事の全体をまとめて客観的に考えることができる。批評家タイプが多い」と、その性格が説明されている。私はあまりこの血液型の人とは相性が良くない。いつも冷静で感情をはっきり表すことが少ないところが合わないのかもしれない。

血液型に対する意見は人によって様々である。私が血液型の話を口にすると、「科学的に何の根拠もない、いいかげんなことだ」とか、「人間をわずか四つのタイプに分類し、職業など何もかもその型に当てはめて考えるという傾向もあるが、それは危険だ」と反論されることが多い。もちろん、人間は一人一人違うということは分かっているつもりである。だからよく付き合った上でその人のことを判断するようにしているが、私が初対面の人にまで血液型を尋ねるのは、そうすることが相手をよりよく知る近道になると思うからである。

---

*典　観　批　評　*性　*冷　*静　根　拠　危　険　論　*面　尋



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が血液型の話にこっているのはどうしてですか。
2. A 型の人にはどんな傾向がありますか。
3. B 型の人はなぜ何を考えているのか分からないと思われていますか。
4. O 型の人のいいところはどんなところですか。
5. この人はどの血液型の人と合わないと言っていますか。
6. AB 型の中にはどんな人が多いのですか。
7. 血液型の話にはどんな反論がありますか。
8. この人がよく相手に血液型のことを聞くのはどうしてですか。
9. 皆さんの国には何型の人が多いですか。
10. 血液型性格判断を信じますか。それはどうしてですか。



使いましょう

A 「～通り～」という言い方を練習しましょう。

例: A: それ、五千円ぐらいですか。
B: ええ、その通り、五千円です。よく分かりましたね。

1. A: 道はすぐに分かりましたか。
   B: はい、________の通りに来ましたから。
2. A: 今度のテストは難しかったですね。
   B: ええ、やっぱり________通りでしたね。
3. A: 最近、子供たち悪くなったわね。
   B: 大きくなると、親の________通りにはならないでしょう。
4. A: 今度のしあい、大丈夫でしょうか。
   B: 心配しないでください。毎日________通りにやればいいんだから。
5. A: ちょっとからすぎますね。
   B: そうですか。本に ________通りに作ったんですが。

B 「～た上で～」という言い方を練習しましょう。

例: よく付き合った上で、その人を判断するようにしている。

1. 電話で約束をした上で、________と思います。
2. みんなの意見を聞いた上で、________方がいいでしょう。
3. 両親と相談した上で、________ことにします。
4. ________た上で、行くかどうか決めましょう。
5. ________た上で、どんな仕事を何時間ぐらいしてもらうかお話しします。

6. ＿＿＿＿＿た上で、もう一度来てください。
7. この問題については、＿＿＿＿＿た上でお返事します。
8. ＿＿＿＿＿た上で、選んだらどうですか。
9. この家を買うことにしたのは、＿＿＿＿＿た上でのことです。
10. ＿＿＿＿＿た上で、＿＿＿＿＿たらやめてもいいです。

C-1 「～によって」という言い方を練習しましょう。

例: 意見は人によって様々である。

1. 休みの過ごし方は人によって＿＿＿＿＿。
2. 習慣は国によって＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿は年齢によって＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿は時期によって＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿は場所によって、＿＿＿＿＿たり、＿＿＿＿＿たりする。

C-2 例: 車が増えることによって、空気は今よりもっときたなくなるだろう。

1. たった一枚の写真によって、＿＿＿＿＿。
2. 社長の意見によって、＿＿＿＿＿。
3. 人口が増えることによって、＿＿＿＿＿。
4. 新しい技術が開発されることによって、＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿によって、知識が豊かになります。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

最近、血液型によって＿＿＿＿＿。それは＿＿＿＿＿からしい。＿＿＿＿＿という人もいるが、私が＿＿＿＿＿のは＿＿＿＿＿からである。



話しましょう

A 第17課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「血液型などを使って人間をいくつかのタイプに分ける人がいますが、人を判断するときには、そんなことでは何も判断できないと思います。その人が本当にどんな人かを知るためには、頭の中に何もない方がよいと思います」

B 相手の人がどんな人かを判断するとき、一番大切なことは何だと思いますか。

第 17 課



書きましょう

A-1　日本人には＿＿＿＿＿傾向があるが、それは＿＿＿＿＿と言う人もいる。

例：人間を型に当てはめる

→日本人には人間を型に当てはめる傾向があるが、それは危険だと言う人もいる。

1. 何でもまじめに考えすぎる　→
2. 仕事は自分の生活より大切だと考える　→
3. 何でも高ければ良いと考える　→

A-2　＿＿＿＿＿が、一目でそれと分かるのは、＿＿＿＿＿からである。

例：店の人はお客と服装が違うのですぐ分かる

→店の人が、一目でそれと分かるのは、お客と服装が違うからである。

1. 先生は学生と話し方が違うのですぐ分かる　→
2. ねだんの高い物は使われている材料が良いからすぐ分かる　→
3. 雪子さんが恋をしているのはほかの人と付き合わなくなったからすぐ分かる　→

B　＿＿＿＿＿傾向があるが、＿＿＿＿＿と考える人もいる。私もその一人である。というのも＿＿＿＿＿からである。

例：女性が長い時間電話をかけるのはやめてほしいと考える人もいる

→女性には長い時間電話をかけるという傾向があるが、やめてほしいと考える人もいる。私もその一人である。というのも私が家に電話をすると、いつも電話が使われているからである。

1. 新しい品物を何でも使いたがるのは良くないと考える人もいる　→
2. 学生が海外旅行に行きたがるのはあまり良くないことだと考える人もいる　→
3. はっきりものを言うのは間違っていると考える人もいる　→

第18課　[かこむ]



新しい言葉

表紙(ひょうし)	中心(ちゅうしん)	家計簿(かけいぼ)	姿(すがた)
団(だん)らんスル	光景(こうけい)	リビングルーム	記事(きじ)
当然(とうぜん)	通(つう)じる	したがって	
結(むす)び付(つ)き[←結び付く]	現(げん)に	はやる	〜べき
もっとも	以前(いぜん)ニ	とても(〜ない)	居間(いま)
兼(か)ねる	食卓(しょくたく)	食後(しょくご)	場(ば)
活躍(かつやく)スル	替(か)わる	こたつ	登場(とうじょう)スル
〜にもかかわらず	柔(やわ)らかい	ほのぼの(と)スル	暖(あたた)める
和(なご)やかナ・ニ	いっそう	役割(やくわり)	果(は)たす
作(つく)り出(だ)す	戦後(せんご)	経済(けいざい)	高度成長(こうどせいちょう)スル
〜とともに	余裕(よゆう)	欧米(おうべい)	生活様式(せいかつようしき)
自立(じりつ)スル	反省(はんせい)スル	習慣(しゅうかん)	そこで
教育(きょういく)スル	せめて	個室(こしつ)	別々(べつべつ)ニ
携帯電話(けいたいでんわ)	気(き)ままナ・ニ	コミュニケーション	極端(きょくたん)ナ・ニ
ばらばらナ・ニ	結果(けっか)	いわゆる〜	断絶(だんぜつ)スル
(家庭)内(かていない)	暴力(ぼうりょく)	起(お)きる	おそらく
青少年(せいしょうねん)	犯罪(はんざい)	増加(ぞうか)スル	なくす
シンボル	取(と)り返(かえ)す		



いっしょに考えましょう

1. 家の中で、一番好きな場所はどこですか。
2. 家族の集まる部屋にはどんな物が置いてありますか。
3. 家族みんなが集まるのはどんなときですか。
4. 家族みんなで楽しむ趣味などがありますか。
5. 家族と一緒にいたくないと思うことがありますか。それはどんなときですか。

[かこむ]

ここに『だ・ん・ら・ん』という雑誌がある。1980年代の初めのものだが、表紙に使われている写真は、大きなテーブルを中心に、新聞を読む父親、家計簿をつける母親、そして宿題をする子供たちの姿と、「団らん」を絵に描いたような光景である。その中に「リビングルームに大きなテーブルを！」という記事があった。大きなテーブルが一つあれば、家族の集まる場所ができ、「当然会話も多くなり、気持ちも通じ合い、したがって、家族の結び付きがより強くなる」というのである。「現に、今大きなテーブルがはやっていてよく売れている、だからお宅にも是非置くべきです」と、強い調子で大きなテーブルを紹介している。

もっとも、この雑誌の表紙にあるような光景は、以前はどこの家庭でも目にすることのできる、当たり前の光景だった。雑誌の出る少し前までは、一般に家も狭く、大きなテーブルどころか、一人一人が独立した部屋を持つことなどとても考えられなかった。毎日の生活は、居間、食堂、寝室などを兼ねた二、三の部屋で済ませ、そこには、そのころ食卓と呼ばれた小さなテーブルが置かれていた。それが仕事机としても、客を迎えるテーブルとしても、そして、食後にはみんなの団らんの場としても活躍した。寒い冬には、その食卓に替わってこたつが登場し、外の寒さにもかかわらず、その柔らかい暖かさが、そこに集まる皆の気持ちまでもほのぼのと暖め和やかにした。この食卓やこたつが家族団らんの場として「家族の結び付きをいっそう強く」する役割を果たし、表紙の写真にあるような光景を作り出していたのである。

雑 誌 *紙 宿 姿 *描 *光 景 *結 *部 屋 兼 卓 机
躍 替 登 *柔 暖 *和 割 果

[かこむ]

戦後、経済の高度成長とともに、生活にも少し余裕ができてくると、欧米の生活様式や考え方がたくさん入ってきた。同時に、日本は欧米社会と比べ個人の自立ができていないとの反省から、子供のときから独立した部屋を与え、早くから何でも一人でやる習慣を身に付けることが必要だと考えられるようになった。そこで、親たちは子供の教育のために、自分たちは我慢してもせめて子供たちには個室を与えようとしたのである。ところが、その「自立した」子供たちが部屋から出てこなくなってしまったのである。

子供たちは、食事のとき以外は与えられた自分の部屋で、それぞれが別々に、パソコンゲームに夢中になり、携帯電話で友達と話し、気ままに時間を過ごす。当然コミュニケーションは極端に少なくなり、家族はばらばらに。その結果、いわゆる「親子の断絶」や「家庭内暴力」が起きることになる。また、おそらく青少年による犯罪の増加もコミュニケーションをなくした家庭での生活が原因の一つであろうと思われる。

二十年以上も前に書かれた記事は、団らんのシンボルとして大きなテーブルを紹介するばかりではなく、食卓やこたつをなくした家庭内から、それと一緒に消えてしまった大切なものを取り返す必要があるとも伝えていたようである。

余　裕　欧　*米　省　*慣　携　帯　極　端　*果　絶　暴　犯
罪　*増　加　*消



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 『だ・ん・ら・ん』という雑誌の表紙にはどんな写真が使われていますか。
2. 雑誌の中にどんな記事がありましたか。
3. 雑誌の記事はなぜ「大きなテーブル」を勧めているのですか。
4. 当時食卓はどのように使われていましたか。
5. 食卓やこたつはどのような役割を果たしていましたか。
6. 戦後の日本では、親たちはなぜ子供に個室を与えたのですか。
7. 子供たちは個室で何をするのですか。
8. 家庭内のコミュニケーションが少なくなったことが原因で、どんな問題が起きていますか。
9. 皆さんの国でも「親子の断絶」や「家庭内暴力」がありますか。
10. どのようにして家族のコミュニケーションの機会を作っていますか。



使いましょう

A 「～べき」という言い方を練習しましょう。

例: A: これからの若者はどうあるべきだと思いますか。
B: そうですね。勉強はもちろん、趣味をたくさん持つべきでしょうね。

1. A: これからの若者はどうあるべきだと思いますか。
   B: ＿＿＿＿ばかり考えないで、＿＿＿＿べきだと思います。
2. A: 定年後のサラリーマンはどうしたら生きがいが持てるのでしょうか。
   B: ＿＿＿＿ながら、＿＿＿＿べきだと思います。
3. A: 現代の女性はどう生きるべきだと思いますか。
   B: ＿＿＿＿のことも考えて、＿＿＿＿べきですね。
4. A: 日本はしょうらい外国に対して何をするべきだと思いますか。
   B: ＿＿＿＿だけではなく、＿＿＿＿べきでしょう。
5. A: 親子の断絶が起こらないように何をしなければならないと思いますか。
   B: ＿＿＿＿が大切ですから、＿＿＿＿べきではないでしょうか。

B 「～というのである」という言い方を練習しましょう。

例: 父が料理の本を買ってきた。 時々は自分でも料理を作る / 作ろう / 作りたい / 作るからというのである。

1. 大きなテーブルを買った。＿＿＿＿というのである。
2. 宝くじを二十枚買った。宝くじを当てて、＿＿＿＿というのである。

3. 彼は一生懸命に日本語を勉強している。________というのである。
4. 日本の会社では、一年に一回社員旅行がある。みんなで旅行をして、________というのである。
5. 新しい道路ができる。________て、________というのである。

C 「とてもV（可能形）ない」という言い方を練習しましょう。

例：歯が痛くて、ごはんはとても食べられなかったので、コーヒーで済ませた。

1. おなかが痛くて、とても________ので、________。
2. 怖くてとても________ので、________。
3. 忙しくて、パーティーへはとても________ので、________。
4. あの人のことが今でも好きで、とても________ので、________。
5. せっかく図書館で借りてきた本だったが、とても________ので、________。

D 「〜にもかかわらず」という言い方を練習しましょう。

例：外の寒さにもかかわらず、こたつの暖かさは心を和やかにする。

1. 経済的豊かさにもかかわらず、________。
2. 重い病気である(の)にもかかわらず、________。
3. 健康である(の)にもかかわらず、________。
4. 気を付けていた(の)にもかかわらず、________。
5. 約束をした(の)にもかかわらず、________。

E 「せめて」という言い方を練習しましょう。

例：自分は我慢しても、せめて子供たちには個室を与えようとしてきた。

1. いくら小さなアパートでも、せめて________。
2. 大学に入るためには、せめて________。
3. いくら一人でいるのが好きだといっても、せめて________。
4. 山の上がこんなに寒いとは思っていませんでした。せめて________。
5. 忙しいのはよく分かりますが、せめて________。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

二十年前の雑誌に________がはやっているので、是非________という記事があった。昔の日本では、食卓やこたつが________。しかし、戦後親たちは、________ために、________。その結果、________。雑誌の記事は、________ばかりではなく、________ということも伝えている。



話しましょう

A 第18課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「大きなテーブルを買ってそこにみんなが集まったら、『親子の断絶』がなくなるのでしょうか。人の考え方が変わってきたのだからコミュニケーションの場を作ったとしても、問題は残ると思います」

B 家族の結び付きが弱くなったと感じたとき、どうすればいいと思いますか。



書きましょう

A ＿＿＿＿は＿＿＿＿うとした。ところが＿＿＿＿結果、＿＿＿＿なってしまった。

例: 親は子供たちに個室を与えた
→親は自分は我慢してもせめて子供には個室を与えようとした。ところが個室を与えた結果、子供たちは食事のとき以外は部屋から出てこなくなってしまった。

1. 親がお金を出し、子供たちを大学へ行かせた →
2. 親は子供にピアノを習わせた →
3. いろいろな経験をした方がいいので、子供には何でも自由にさせた →

B ＿＿＿＿結果、＿＿＿＿てしまった。＿＿＿＿という、いわゆる＿＿＿＿が＿＿＿＿のである。

例: 個室を与えた /「親子の断絶」が起きる
→子供たちに個室を与えた結果、子供たちは食事のとき以外は部屋から出てこなくなってしまった。家族はばらばらになり、気持ちが通じ合わなくなるという、いわゆる「親子の断絶」が起きてきたのである。

1. 経済が成長した /「働きバチ」が増える →
2. 車が増えすぎた /「交通戦争」が起きる →
3. 家の仕事に時間がかからなくなった /「教育ママ」が増える →

第19課 [おもいだす]



新しい言葉

職場
(十五分)ばかり
よほど
夕暮れ
庭いじり
抜く
ニッコリスル
陽
(乾き)切る
夕涼み
連れ出す
線香花火
やけど
ゆったり(と)スル
そっと
辺り
ベランダ

まれナ・ニ
市
～限り
(汗)まみれ
唯一
土
うなずく
生き返る
ゴクゴク(と)
～がてら
あるいは
打ち上げ花火
役目
腰掛ける
競争スル
暗やみ
眺める

当時
住宅
退職スル
帰宅スル
夕飯
耳にする
ようやく
それとも
のど
花火
仲良く
通りがかり [←通りがかる]
お気に入り
うちわ
見つめる
瞬間
～つつ

市役所
必ず
連想スル
ふく
～ふうナ・ニ
こっそり(と)
解放スル
乾く
どちらにしても
機嫌
(ご)ほうび
浴衣
バケツ
一瞬
(十年)余り



いっしょに考えましょう

1. 「お父さん」という言葉を聞いて、どんなことを思い出しますか。
2. 子供のとき、お父さんとどんなことをしましたか。
3. お父さんがいつも言っていた言葉を覚えていますか。それはどんな言葉ですか。
4. 次のものに何か思い出がありますか。
   夏の夕方にふってくる雨 / 昔住んでいた町 / 昔の恋人
5. 夏というきせつについて、思い出すことがありますか。

[おもいだす]

自転車で通える職場など今ではまれだが、当時市役所に勤めていた父は、自転車で十五分ばかりの所に市の住宅を与えられており、毎日まるで時計ででも計ったように五時半には必ず家へ帰ってきた。どんなに暑くてもどんなに寒くても、よほどのことがない限り、これは定年で退職するまで変わらなかった。

父のことを思い出すと、決まって連想するにおいがある。昼のにおいである。正確には夏の夕暮れのにおいとでも呼ぶべきだが、私にとってその懐かしいにおいは「昼のにおい」であった。

夏の夕暮れ、父は汗まみれになって帰宅すると、汗もふかずに兄と私を大声で呼んだ。庭いじりが唯一の趣味だった父が、夕飯までの時間、兄と私を庭へ呼んでその手伝いをさせるのである。「ここと そこはこんなふうに、あそこは . . .」と父の言うままに、草を抜き土を運んでいた私たちは、「ご飯ができましたよ」と言う母の声を耳にするとホッとする。父に気付かれないようにこっそりお互いの顔を見て、ニッコリうなずき合ったものである。「じゃあ、最後に水をやって、それから手を洗って食事にしよう」その言葉でようやく庭仕事から解放される。昼のにおいがするのは、そのときである。

あれは、一日中強い陽に焼かれた草木が、水を与えられて生き返るときに出すにおいだったのだろうか。それとも、乾き切った土が、ゴクゴクとのどを鳴らしながら水を飲むときに出すにおいだったのだろうか。どちらにしても、忘れられない、うれしいにおいであった。

---

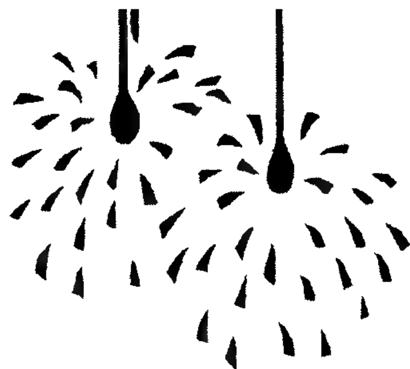
*必　*連　*帰　唯　*一　*土　*運　*洗　*放　*陽　乾

[おもいだす]

「夕涼みがてら、花火でもしようか」機嫌のいい日の父は、そう言って、私たちを庭へ連れ出した。あるいは仲良く庭仕事を手伝った子供たちへのごほうびのつもりだったのかもしれない。もっとも、花火といっても線香花火である。当時のことだから、今のように空高く上がる打ち上げ花火や、通りがかりの人を驚かせるほどの大きな音を出すものはない。それでも、やけどをするといけないからと言って、火をつけるのは父の役目だった。お気に入りの浴衣を着て、ゆったりといすに腰掛け、うちわを使いながら夕涼みしている父の所へ、一本一本花火を持って行き、火をつけてもらう。それを、母が準備してくれた水の入ったバケツの所までそっと運んで行って、兄と私は、どちらが長く火の花が咲かせられるか競争するのである。

「これが、最後」父がそう言って火をつけてくれた一本が消えてしまうと、それまで火の玉をじっと見つめていた目には、一瞬辺りが暗やみになってしまう。この瞬間、昼のにおいがもう一度する。今度は少し寂しいにおいである。子供の時間が終わるにおいである。

父が亡くなって十年余り。ベランダで大きな声を上げて、楽しそうに花火をしている子供たちの姿を眺めつつ、懐かしい昼のにおいとともに今日も父のことを思い出している。



涼　*嫌　香　*浴衣　掛　咲　競　瞬　辺　*余　眺



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 退職するまで変わらなかった父の習慣というのはどんなことですか。
2. 父を思い出すとき、何を思い出しますか。
3. 父は夏の夕暮れに、子供たちに何をさせましたか。
4. なぜ母の一言が子供たちをホッとさせたのですか。
5. いつ昼のにおいがしましたか。
6. なぜ父は夕方に花火をしてくれたのですか。
7. どうして子供たちは自分で花火に火をつけなかったのですか。
8. この人は楽しそうに花火をする子供たちを見ながら、どんなことを思っていますか。
9. 子供のころ、夏の夕暮れにどんなことをしましたか。
10. お父さんを思い出すとき、どんなことを思い出しますか。



使いましょう

A 「〜限り」という言い方を練習しましょう。

例: A: 毎日五時半に帰るのですか。
B: はい、よほどのことがない限り、そうします。

1. A: この川の水は飲んでも大丈夫ですか。
B: いや、________限り、飲まない方がいいと思います。
2. A: 飛行機は安全でしょうか。
B: ________限り、安全な乗り物だと思いますよ。
3. A: いつになったら戦争がなくなるんでしょうか。
B: 難しいですね。________限り、なくならないと思いますよ。
4. A: だれでも医者の仕事をすることができますか。
B: いいえ、________限り、できません。
5. A: 家で休んでいれば、なおるでしょうか。
B: 休んでいても________限り、なおらないでしょう。

B 「〜ふう」という言い方を練習しましょう。

例: ここは、こんなふうにしてください。
分かったというふうに、彼女はニッコリうなずいた。

1. よく見ていてください。こんなふうにすれば、________。
2. お上手ですね。どんなふうにすれば、________。

3. 二度と顔も見たくないというふうな様子で、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿というふうに声を上げて笑いました。
5. ＿＿＿＿＿というふうに席を立ちました。

C 「どちらにしても」という言い方を練習しましょう。

例: A: いつ行きますか。土曜日ですか、それとも日曜日ですか。
B: どちらにしても私は行けないと思います。

1. A: 旅行は飛行機にしますか、それとも船にしますか。
   B: どちらにしても＿＿＿＿＿。
2. A: 今度の選挙では、田中さんにしますか、それとも山川さんにしますか。
   B: どちらにしても＿＿＿＿＿。
3. A: ＿＿＿＿＿、それとも＿＿＿＿＿。
   B: どちらにしても一度会ってよく話し合う必要があります。
4. A: ＿＿＿＿＿、それとも＿＿＿＿＿。
   B: どちらにしてもお知らせします。
5. A: ＿＿＿＿＿、それとも＿＿＿＿＿。
   B: どちらにしても＿＿＿＿＿。

D 「もっとも〜といっても」という言い方を練習しましょう。

例: 花火をしました。もっとも花火といっても線香花火ですが。

1. 旅行に行きます。もっとも＿＿＿＿＿といっても＿＿＿＿＿。
2. 大統領に会ったんです。もっとも＿＿＿＿＿といっても＿＿＿＿＿。
3. 家を買ったんです。もっとも＿＿＿＿＿といっても＿＿＿＿＿。
4. 宝くじに当たったんです。もっとも＿＿＿＿＿といっても＿＿＿＿＿。
5. 毎日家族団らんの時間を持つようにしています。もっとも＿＿＿＿＿といっても＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

市役所に勤めていた父は毎日同じ時間に戻ってきた。夏の夕暮れには＿＿＿。夕食を知らせる母の声がすると、＿＿＿＿＿という父の言葉で、＿＿＿＿＿、そのとき＿＿＿＿＿。父の機嫌がいい日には＿＿＿ ＿＿。兄と私は＿＿＿＿。花火の最後の一本が消えてしまうと、＿＿＿＿＿。

父が亡くなって十年余りになるが、＿＿＿＿＿。



話しましょう

A　第 19 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「この 19 課を読んで、『昔は良かった』と言われているような感じがしました。時代が変われば人も変わります。新しい世代の思い出も、変わるでしょう。思い出も大切ですが、私はしょうらいのことを考えたり、話したりしたいです」

B　何か、忘れられない思い出を一つ話してください。



書きましょう

A-1　どんなに＿＿＿＿ても、よほどのことがない限り、＿＿＿＿。

例：この習慣は定年まで変わらなかった
→ どんなに暑くても、どんなに寒くても、よほどのことがない限り、この習慣は定年まで変わらなかった。

1. 人をなぐらない　→
2. 自分の意見を変えない　→
3. 一週間に一回は両親に手紙を書く　→

A-2　「＿＿＿＿がてら＿＿＿＿うか」と言って、＿＿＿＿は＿＿＿＿を＿＿＿＿。もっとも＿＿＿＿といっても、＿＿＿＿。

例：夕涼み / 花火をする
→「夕涼みがてら花火でもしようか」と言って、父は兄と私を連れ出した。もっとも花火といっても、大きな音を出すものではなく線香花火である。

1. 散歩 / 手紙を出しに行く　→
2. あいさつ / おばさんの家に行く　→
3. 運動 / 買い物に行く　→

第20課　［しらせる］



新しい言葉

進歩(しんぽ)スル	伴(ともな)う	マスメディア	目覚(めざま)しい
発展(はってん)スル	遂(と)げる	取(と)って代(か)わる	今(いま)や
マスコミ	王様(おうさま)	普及(ふきゅう)スル	発達(はったつ)スル
日常(にちじょう)	いながらにして	出来事(できごと)	間(ま)をおく
歴史(れきし)	劇的(げきてき)ナ・ニ	目(ま)の当(あ)たりにする	あたかも
(自分(じぶん))自身(じしん)	映(うつ)す	怒(いか)る	悲(かな)しむ
胸(むね)	映像(えいぞう)	刻々(こっこく)と	クイズ
見知(みし)らぬ～	話題(わだい)	感動(かんどう)スル	～同士(どうし)
(～を)通(とお)して	共通(きょうつう)スル	存在(そんざい)スル	とんでもない
～かねない	報道(ほうどう)スル	事件(じけん)	あらかじめ
計画(けいかく)スル	手(て)を加(くわ)える	可能(かのう)ナ	携(たずさ)わる
部分(ぶぶん)	切(き)り取(と)る	画面(がめん)	作品(さくひん)
とはいえ	使命(しめい)	今後(こんご)	娯楽(ごらく)
学習(がくしゅう)スル	ますます	重要(じゅうよう)ナ・ニ	生(い)かす
点(てん)	受(う)ける	(受(う)け)手(て)	すなわち
立場(たちば)	多様(たよう)ナ・ニ	(多様(たよう))化(か)スル	～だけに
内容(ないよう)	適切(てきせつ)ナ・ニ	見守(みまも)る	責任(せきにん)



いっしょに考えましょう

1. テレビは好きですか。
2. 毎日、どのぐらいテレビを見ますか。どんな番組をよく見ますか。
3. テレビで見たり聞いたりしたことについて友達と話しますか。
4. どんなとき、テレビは役に立つと思いますか。
5. 最近、テレビでどんなニュースを見ましたか。

[しらせる]

通信技術の進歩に伴って、マスメディアは目覚しい発展を遂げてきた。中でもテレビは新聞に取って代わり、今やマスコミの王様である。そのテレビの普及と技術的発達は、私たちの日常生活に大きな影響を与えている。だれもがいながらにして世界のあちらこちらの出来事を同時に、あるいはほとんど間をおかずに目にし、耳にできる時代となっているのである。歴史の一ページを飾るような劇的な瞬間を目の当たりにし、あたかも自分自身がその場にいるかのように感じられるのだ。目の前に映し出される人々と一緒になって喜び、怒り、悲しみ、胸を熱くすることができるのはテレビ映像のおかげであろう。刻々と知らされるニュースだけでなく、音楽やスポーツやクイズ番組、見知らぬ土地の紹介などは私たちに多くの話題を与えてくれる。同じ番組を見て、同じように笑い、同じように驚いたり感動したりしたのだということが分かると、それまで互いに無関心だった人同士が親しく話し始めることさえある。テレビを通して共通の体験を持ったということなのかもしれない。

もっとも、このテレビの存在には、ひとつ間違うととんでもないことになりかねないという怖さもある。以前に、報道番組で暴力事件をあらかじめ計画しておき、それをニュースとして流すという事件が起こった。また、人の手を加えた写真が報道写真として使われたこともあった。やろうとすれば、こんなことも可能なのである。もちろん報道に携わる者がそんなことをしてよいはずがない。しかし面白いことに、そういった事件に対する人々の反応は意外に冷静なものだった。ある部分を切り

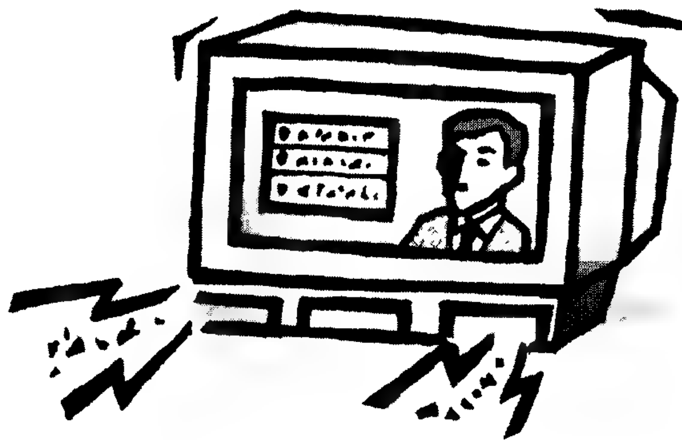
伴　遂　王　及　*達　歴　史　劇　*目　*怒　悲　胸　*熱　像

刻　共　存　件　*画　*加　可　*携

[しらせる]

取って見せるテレビの画面や写真は事実そのままではなく、どうしても与える側の作品となってしまうということが、報道側だけでなく、与えられる側にも分かっていたのである。

とはいえ、テレビの使命(しめい)は今後も報道、娯楽(ごらく)、学習などの世界を通して、ますます重要になるであろう。このテレビというマスメディアを生かせるかどうかという点(てん)では、受け手の側の果たす役割もまた重要である。すなわち「与えられる」立場(たちば)から「求める」立場に変わっていかなければならない。これからテレビはますます多様化(たようか)していくと思われるだけに、その内容(ないよう)が適切(てきせつ)なものになるように受け手の側も見守っていく責任(せきにん)があるということである。



*使　娯　点　*立　*多　容　適　責　任



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. マスコミの目覚しい発展の結果、テレビと新聞はどんな関係になりましたか。
2. テレビがあると、どのようなものを目の当たりにすることができますか。
3. そのほかにどんなものを見ることができますか。
4. 「テレビを通して共通の体験を持つ」というのはどんなことですか。
5. テレビの報道番組で、どんな事件が起こりましたか。
6. そのほかに、どんなことが問題になりましたか。
7. それらの事件に対する人々の反応が冷静なものだったのはどうしてですか。
8. 報道の受け手の側にはどんな責任があると言っていますか。
9. テレビは人々にどんな影響を与えていますか。
10. 新聞とテレビはどこが違いますか。



使いましょう

A 「あたかも～かのように」という言い方を練習しましょう。

例: あたかも自分自身がその場所にいるかのように感じる。

1. ここにいると、あたかも ＿＿＿＿かのように感じる。
2. 美術館で、古い美術品に囲まれていると、あたかも自分が＿＿＿＿かのような気がしてくる。
3. あの人と話していると、あたかも＿＿＿＿かのように思えてくる。
4. あの二人はまだ結婚もしていないのに、あたかも ＿＿＿＿かのように＿＿＿＿。
5. 彼女はあたかも ＿＿＿＿かのように話す。

B 「～を通して」という言い方を練習しましょう。

例: 外国の友達を通して、他の世界を知った。

1. 言葉の勉強を通して、＿＿＿＿。
2. 歌を通して、＿＿＿＿。
3. 先輩を通して、＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿を通して、自分の考えを伝えた。
5. ＿＿＿＿を通して、若者の生活を知った。

C 「～ことに」という言い方を練習しましょう。

例: 面白いことに、その事件に対する人々の反応は意外に冷静だったのである。

1. 残念なことに、その計画に対する社長の反応は意外に＿＿＿＿＿。
2. うれしいことに、＿＿＿＿＿に対する人々の反応は意外に良いものだった。
3. 不思議なことに、＿＿＿＿＿に対する若い人の態度は意外に＿＿＿＿＿。
4. 驚いたことに、＿＿＿＿＿に対するマスコミの報道は意外に＿＿＿＿＿。
5. 悲しいことに、＿＿＿＿＿に対する＿＿＿＿＿は意外に＿＿＿＿＿。

D 「〜とはいえ」という言い方を練習しましょう。

例：テレビには問題も多いとはいえ、その使命は今後ますます重要になるだろう。

1. 退院したとはいえ、＿＿＿＿＿。
2. 二十歳になったとはいえ、＿＿＿＿＿。
3. 家を買ったとはいえ、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿とはいえ、まだ寒い日が続いている。
5. ＿＿＿＿＿とはいえ、寂しいときもある。

E 「〜だけに」という言い方を練習しましょう。

例：テレビはますます多様化していくと思われるだけに、その内容を見守る責任がある。

1. ＿＿＿＿＿だけに、できたときはとてもうれしかった。
2. ＿＿＿＿＿だけに、＿＿＿＿＿ときは心から残念に思った。
3. ＿＿＿＿＿だけに、＿＿＿＿＿ときは本当に驚いてしまった。
4. 家族みんなが集まったのはひさしぶりだっただけに、＿＿＿＿＿。
5. 長い間待っていただけに、＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

テレビの普及と技術的発達は＿＿＿＿＿。同じ番組を見て、＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿さえある。しかし、マスコミの報道がいつも正しいとは限らず、＿＿＿＿＿。今後テレビを生かして使うためには、＿＿＿＿＿。



話しましょう

A 第20課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「テレビなんて気持ちをちょっと変えるための道具なんだから、そんなに『適切な番組』とか『役に立つもの』とか『良い使い方』なんて考える必要はないでしょう。ストレス解消のために楽しく見れば、それで十分ですよ」

B　どんなテレビ番組が必要で、どんなテレビ番組はなくてもよいと思いますか。



書きましょう

A−1　＿＿＿＿ということが分かると、それまで互いに＿＿＿＿人同士が＿＿＿＿ことさえある。

例：同じ番組を見た / 無関心だった
→ 同じ番組を見たということが分かると、それまで互いに無関心だった人同士が親しく話し始めることさえある。

1. 同じ学校を卒業した / 敬語を使って話していた →
2. 生まれた所が近い / 名前も知らなかった →
3. 考え方が違う / パーティーに呼んだり呼ばれたりした →

A−2　＿＿＿＿を可能にする＿＿＿＿も、＿＿＿＿かねない。

例：テレビ / ひとつ間違うととんでもないことになる
→ 共通体験を可能にするテレビも、ひとつ間違うととんでもないことになりかねない。

1. コンピューター / ちょっとした間違いで危険になる →
2. 飛行機 / 小さなことから大きな事故になる →
3. ロボット / 使い方によっては危険なものになる →

第21課　［まもる］



新しい言葉

第(一回)	開催スル	参加スル	～以来
(～に)関する	定期的ナ・ニ	抱える	人類
とらえる	解決スル	取り組む	取り巻く
フロンガス	オゾン層	破壊スル	二酸化炭素
温室効果	引き起こす	温暖化スル	酸性雨
砂漠	森林	洪水	取り上げる
早急ナ・ニ	効果的ナ・ニ	対策	立てる
深刻ナ・ニ	状況	どんどん	広がる
各(国)	立ち上がる	向ける	国際的ナ・ニ
進める	先進国	暮らし[←暮らす]	資源
エネルギー	消費スル	汚す	ほかでもない
そのもの	問う	空気	汚染スル
枯れる	農作物	家畜	状態
規模	～ずつ	リサイクルスル	排気ガス
減らす	節約スル	拡大スル	手遅れ
手を打つ	歩む	急速ナ・ニ	
比べものにならない		つながる	確実ナ・ニ
都合	もたらす	恵み[←恵む]	目指す
生み出す	命	共有スル	共生スル
商品	製造スル	NGO	NPO
誕生スル	未来	誇る	～次第



いっしょに考えましょう

1. 木は人間の生活にどのように役に立っていますか。
2. 木がなくなれば自然はどのような影響を受けますか。
3. それが私たちにどう影響しますか。
4. 海や川の水が汚れると私たちの生活にどう影響しますか。また、空気が汚れるとどんな影響がありますか。
5. 現在、私たちは自然を守るためにどんなことをしていますか。

[まもる]

1972年に第一回国際人間環境会議が開催され、多くの国が参加した。それ以来、地球環境に関する国際会議は定期的に続けられ、それぞれの国が抱える環境問題を人類全体の問題としてとらえ、解決に取り組んでいる。

私たちを取り巻く環境問題は、フロンガスによるオゾン層の破壊や二酸化炭素など温室効果ガスが引き起こす地球の温暖化、さらには、酸性雨、砂漠化、そして森林が消え、洪水が起こる問題など、どれ一つ取り上げてみても自分の国だけで解決できるようなものではない。これらの問題を引き起こしている原因である環境破壊は非常な速さで進む一方であり、早急に効果的な対策を立てなければ、この深刻な状況はどんどん広がり続けていく。そこで、世界各国が立ち上がり、協力して、問題解決に向けた国際的な努力を続けているのである。

地球の環境破壊は、一部の工業国に大きな責任があると言われる。少しでも豊かで便利な生活をしようと、工業化を進められるだけ進めてきた先進国と呼ばれる一部の国が環境を破壊し続けてきたのである。しかし、毎日の暮らしの中で、資源やエネルギーを消費し続け、環境を汚し続けているのは、ほかでもないそこに住む人間一人一人である。必要以上に車を使い、便利な電化製品に囲まれた毎日の生活のあり方そのものが問われなければならないのである。一人一人が生活習慣を変えることなく、このまま空気や水や土を汚染し続ければ、草や木などの植物が枯れ、農作物も、家畜も育たなくなる。その状態がさらに進めば、環境破

催　参　期　抱　巻　層　破　*壊　酸　炭　素　効　*雨　砂
漠　*森　洪　*水　*速　策　深　況　各　資　源　汚　*汚　染
枯　農　畜

[まもる]

壊は地球規模に広がり、だれも生きられなくなる日が来るのは明らかである。

そうした反省に立って、個人の意識も少しずつではあるが変わり始めた。一人一人が資源のリサイクルを考え、排気ガスを減らし、エネルギーを節約するなどし始めた。環境破壊がこれ以上拡大し、手遅れにならないうちに何か手を打たなくてはと考えて、歩み始めた。確かに、現在の状況を急速に変えることはできないかもしれない。個人の力など地球環境を破壊してきた力とは比べものにならないほどちっぽけなものかもしれない。しかし、一人一人の意識の変化や小さな歩みは、地球を守るための大きな運動につながる確実な動きであった。さらには、「人間の都合ばかり考えるのではなく、すべての生き物が、自然のもたらす豊かな恵みを同じように受けられる地球を目指そう」という運動を生み出し、今ゆっくりとだが広がってきている。命あるものすべてが、地球というふるさとを共有し、そこで共生できるようにと、企業は「地球に優しい」商品の製造を始め、世界中でNGOやNPOと呼ばれるボランティアグループが次々に誕生し、活動を続けている。

環境問題に取り組み、その解決を考えることは、今、同じ時代に生きる人間のためだけではなく、次の世代の人たち、さらには、未来の地球の子供たちに対する私たちの責任でもある。人間一人一人が「地球に優しい」存在になり、「ふるさとは地球です」と美しい地球を誇れる日が来るかどうか、それは私たち次第なのである。

模　排　減　節　拡　*歩　*都　*合　*恵　*指　*命　造　誕　*生
未　誇　*次　第



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 1972 年にどんな会議が開かれましたか。
2. 「私たちを取り巻く環境問題」とはどのような問題でしょうか。
3. 世界各国が協力して国際的な努力を続けているのはなぜですか。
4. 環境破壊の責任はどこにあると言われていますか。
5. 先進国で暮らす人々の生活はどのようなものでしょうか。
6. 個人の意識はどのように変わってきましたか。
7. 地球を守るために、どのような運動が生まれましたか。
8. 環境問題に取り組み、その解決を考えるのは何のためでしょうか。
9. 皆さんの国では環境問題の影響はどんなところに現れていますか。
10. それについて、どんな対策が立てられていますか。



使いましょう

A 「～する一方」という言い方を練習しましょう。

例: 環境破壊は進む一方です。

1. これから勉強は＿＿＿＿＿一方です。
2. もう十一月です。これからは＿＿＿＿＿一方です。
3. 新しいアイディアでも出さなければ、会社は＿＿＿＿＿一方です。
4. 何か対策を立てなければ、空気は＿＿＿＿＿一方です。
5. 努力しなければ、＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿一方です。

B 「～ことなく」という言い方を練習しましょう。

例: 暑い日も寒い日も、父は休むことなく仕事をした。

1. どんなに疲れていても、母は＿＿＿＿＿ことなく、＿＿＿＿＿。
2. どんなに反対されても、兄は＿＿＿＿＿ことなく、＿＿＿＿＿。
3. 親切な友人たちのおかげで、私は＿＿＿＿＿ことなく、＿＿＿＿＿。
4. 台風の影響が心配されたが、関西は＿＿＿＿＿ことなく、＿＿＿＿＿。
5. 昔、日本人は＿＿＿＿＿ことなく、＿＿＿＿＿。

C 「比べものにならない」という言い方を練習しましょう。

例: 速さという点では飛行機は船とは比べものにならない。

1. 子供への影響という点では＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿とは比べものにならない。

2. 新しさという点では＿＿＿＿は＿＿＿＿とは比べものにならない。
3. 変化の速さという点では＿＿＿＿は＿＿＿＿とは比べものにならない。
4. 大切さという点では＿＿＿＿は＿＿＿＿とは比べものにならない。
5. ＿＿＿＿という点では学生は教師とは比べものにならない。

D 「〜次第」という言い方を練習しましょう。

例: 上手にできるかどうかは、練習次第です。

1. ＿＿＿＿かどうかは、あしたのお天気次第です。
2. ＿＿＿＿かどうかは、努力次第です。
3. ＿＿＿＿かどうかは、社長次第です。
4. 海外旅行へ行けるかどうかは、＿＿＿＿次第です。
5. ＿＿＿＿かどうかは、＿＿＿＿次第です。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

環境問題を解決するために、世界各国は＿＿＿＿。また、私たち個人の意識も変わり始め、＿＿＿＿。それが＿＿＿＿につながり、企業は＿＿＿＿、世界中で＿＿＿＿。環境問題に取り組むことは、＿＿＿＿。



話しましょう

A 第21課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「経済の発展が遅れている国では、少しでも早くほかの国と同じような生活をするために工業化を進めなければなりません。そのためには環境が少しぐらい悪くなるのはしかたがないと思います」

B 国際的な協力をしなければ、解決できないような環境問題の例をあげてください。



書きましょう

A-1 少しでも＿＿＿＿と、＿＿＿＿は＿＿＿＿だけ＿＿＿＿てきた。

例: 豊かで便利な生活をする / 国 / 工業化

→ 少しでも豊かで便利な生活をしようと、国は工業化を進められるだけ進めてきた。

1. 製品を安く作る / 経営者 / 工場の機械化 →
2. 商売をうまくやる / 企業 / 情報化 →
3. 人々の関心を集める / テレビ番組を作る人たち / 様々な試み →

[A]-2 確かに＿＿＿＿た。しかし、そのために＿＿＿＿のはほかでもない＿＿＿＿自身である。

例: 生活は便利で豊かになったが、私たちは環境を破壊し、環境問題を引き起こした

→ 確かに生活は便利で豊かになった。しかし、そのために環境を破壊し、環境問題を引き起こしたのはほかでもない私たち自身である。

1. 製品は安くなったが、経営者は多くの人をやめさせ、技術者が足りなくなって困っている →
2. 商売はうまくいくようになったが、企業は情報管理が難しくなり、苦労している →
3. テレビ番組に対する人々の関心は高くなったが、新しいアイディアがなくなり、番組作りに苦労している →

[B] 少しでも＿＿＿＿と、＿＿＿＿は＿＿＿＿てきた。しかし、そのために＿＿＿＿のはほかでもない＿＿＿＿自身である。このままでは、＿＿＿＿のは明らかである。

例: 工業化 / 環境問題 / だれも地球に住めなくなる日が来る

→ 少しでも便利で豊かな生活をしようと、私たちは工業化を進められるだけ進めてきた。しかし、そのために、環境を破壊し、環境問題を引き起こしてきたのはほかでもない私たち自身である。このままでは、だれも地球に住めなくなる日が来るのは明らかである。

1. 機械化 / 技術者 / 会社の持つ技術を伝えられなくなる →
2. 情報化 / 情報管理 / 企業の情報を守るために大変な費用がかかる →
3. 様々な試み / 新しいアイディア / 事実に手を加えて報道するような事件が増える →

第22課　［ふれあう］



新しい言葉

すれ違う	真(っ暗)ナ	小高い	丘
太陽	容赦ない	照りつける	早朝
薄着スル	さすがニ	寝ぼけ眼	目覚める
誘う	口数	染まる	(休む)間もない
けたたましい	スケッチブック	取り出す	文字通り
世紀	記録スル	真剣ナ・ニ	日の出
地平線	(地平線)上	歓声	わき上がる
(理解し)難い	一斉に	振り返る	あっという間に
半分	現す	気を取られる	流れる
波	届く	光	あふれる
心地よい	気を悪くする	遠慮スル	(遠慮)がちナ・ニ
何で	視覚	障害	へえっ
こぼれる	異文化	テーマ	(異文化)間
都市	訪れる	現地	触れ合う
友好	深める	研修スル	交流スル
一役	欲張りナ・ニ	せい	スケジュール
人種	言語	国境	性別
隔てる	衝突スル	もめる	絶える
語る	(場所・川の名前) イラワジ川	ミャンマー	マンダレー



いっしょに考えましょう

1. どんなときに旅をしたいと思いますか。
2. 旅行は一人で行くのがいいと思いますか。だれかと一緒の方がいいと思いますか。
3. 何で行く旅が好きですか。それはどうしてですか。
4. 日本で行ってみたい所はどこですか。
5. 日本以外ではどこへ行ってみたいですか。

[ふれあう]

朝五時過ぎ、すれ違う人もない真っ暗な道を、私たちは小高い丘の上にあるお寺へ向かった。昼の間は強い太陽が容赦なく照りつける毎日だが、早朝の空気は、薄着の私たちにはさすがに冷たく、さっきまで寝ぼけ眼をしていた学生たちをすっかり目覚めさせた。それでも辺りが少しずつ明るくなるにつれて気温も上がり、それに誘われるように学生たちの口数も増えてきた。

東の空がオレンジ色に染まり始めると、休む間もなく冗談を言い合っては、けたたましいほどの大声を上げていた学生たちも、それぞれカメラやスケッチブックを取り出して、文字通り「世紀の瞬間」を記録に残そうと真剣な様子で二十一世紀最初の日の出を待っていた。しかし、ベンチに腰を下ろしてこの様子を見ていた私は、ちょっと気にかかることがあり、学生たちほどには真剣な気持ちになれなかった。

太陽が地平線上に頭を出したかなと思ったその瞬間、「先生、陽が出ましたね」と T さん。新しい世紀の陽を迎えて、学生たちから大歓声がわき上がるだろうとばかり思っていた私は、思いがけない言葉に T さんの顔を見つめた。皆も理解し難いという様子で一斉に T さんの方を振り返ったが、あっという間に半分ほど姿を現した新しい世紀の太陽に気を取られて、そのときはだれも口を開くものはいなかった。しばらくすると、目の下を流れるイラワジ川の波の一つ一つにまで届くほどに光があふれ、風も心地よく感じられるようになった。そろそろ学生たちを連れてホテルに戻ろうかと思っていたとき、私と同じことが気にかかっていたのであろう、一人の学生が T さんに話しかけた。「気を悪くさせ

*真　*太　赦　*照　*早　薄　眼　誘　*染　*世　紀　歓　*声
*難　斉　振　波　届　*光　*心

[ふれあう]

るかもしれないけど . . .」その学生は遠慮がちに、何で日の出が分かったのかと尋ねた。「風が暖かくなったから . . .」生まれたときからの視覚障害で光を感じることさえできないというTさんのこの答えに、他の学生たちの口からも、「へえっ」と驚きの声がこぼれた。

「異文化を体験しよう」をテーマに、異文化間コミュニケーション学部の学生たちを連れてミャンマー第二の都市マンダレーを訪れた。現地の人たちと触れ合い、片言の英語とミャンマーの言葉で友好を深めながら異文化体験の旅を続けていた。この研修旅行にはもう一つ、日本の文化を紹介したり、その土地のNGO活動を訪ねたりして国際交流にも一役買おうと欲張りな計画があった。そのせいで毎日のスケジュールは一杯、なかなか皆が集まって話し合う機会が持てないでいた。そんなある日のこと、だれかが「今度の研修で一番の『異文化体験』は、Tさんの言葉だったな」と言ったのがきっかけになって、「異文化」って何だろうという話が始まった。「『異文化』という言葉から連想するのは、国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多いと思われがちだけど、性別、世代、職業の違い、障害の有無とかも人と人とを隔てる異文化なんだと思うよ」と一人の学生。「毎日の生活で人と人が出会うことこそが、すなわち、異文化と異文化の触れ合いなんじゃないかな」と別の学生。「じゃあ、ここにいる先生を入れた十四人の毎日の生活も、異文化と異文化の交流か!」「異文化の衝突と言った方がいいんじゃない、意見が合わなくてもめることが多いから」しばらくの間意見が絶えず、「異文化」を語り合い、考える時間を持つことができた。

それにしても、思いがけない「異文化」との触れ合いだった。

---

*遠　慮　*覚　障　害　異　*訪　触　*好　修　*流　*欲　*言　隔　衝　*絶



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 朝五時過ぎ、学生たちはどこへ向かいましたか。
2. 学生たちは何のためにそこへ向かったのですか。
3. そのとき、これを書いた人はどこで、何をしていましたか。
4. 陽が出た瞬間、T さんはどんなことを言いましたか。
5. 一人の学生が T さんに何を尋ねましたか。そして、T さんは何と答えましたか。
6. なぜみんなは T さんの言葉に驚いたのですか。
7. 学生たちがミャンマーへ行った目的は何だったのですか。
8. 何がきっかけで異文化について話し始めたのですか。
9. 初めて外国へ行ったとき、何か忘れられない触れ合いがありましたか。
10. 旅行して「もう一度ここを訪れよう」と決めた場所がありますか。それはどうしてですか。



使いましょう

Ⓐ–1 「さすがに～」という言い方を練習しましょう。

例: 早朝の空気は、さすがに冷たい。

1. 旅行の本にも紹介されている場所は、さすがに＿＿＿＿＿。
2. 中国の人が作った中国料理は、さすがに＿＿＿＿＿。
3. 外国の生活を長く経験した人は、さすがに＿＿＿＿＿。
4. 世界中を旅した人の話は、さすがに＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿は、さすがに＿＿＿＿＿。

Ⓐ–2 「～だけあって、さすがに～」という言い方を練習しましょう。

例: 三年間勉強しただけあって、彼は、さすがに日本語が上手だ。

1. 試験前の一週間、ほとんど寝ないで勉強しただけあって、＿＿＿＿＿は、さすがに＿＿＿＿＿。
2. 「歩く辞書」と言われるだけあって、＿＿＿＿＿は、さすがに＿＿＿＿＿。
3. 準備に五か月もかけたというだけあって、＿＿＿＿＿は、さすがに＿＿＿＿＿。
4. 十年も＿＿＿＿＿だけあって、＿＿＿＿＿は、さすがに＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿だけあって、この料理は、さすがに＿＿＿＿＿。

A–3 「さすがの(名詞)」という言い方を練習しましょう。

例: 難しくて、さすがの先生も分からなかった。

1. 寒くて、さすがの＿＿＿＿＿も＿＿＿＿＿。
2. からすぎて、さすがの＿＿＿＿＿も＿＿＿＿＿。
3. 四十度の熱があって、さすがの＿＿＿＿＿も＿＿＿＿＿。
4. 高すぎて、さすがの＿＿＿＿＿も＿＿＿＿＿。
5. 二週間一日も休まなかったので、さすがの＿＿＿＿＿。

B 「～がち」という言い方を練習しましょう。

例: あしたはくもりがちで、ところによっては雨が降るでしょう。

1. 子供のころは体が弱く、＿＿＿＿＿がちだった。
2. 六月、七月は＿＿＿＿＿がちで、はっきりしない天気が続く。
3. 年を取ると、いろいろなことを＿＿＿＿＿がちになる。
4. 昔の時計は正確ではなく、＿＿＿＿＿がちだった。
5. 若いころは＿＿＿＿＿と考えがちなものだ。

C 「それにしても」という言い方を練習しましょう。

例: A: ああ、やっぱりたばこはおいしいですね。
B: 本当においしそうですね。それにしても、一日に三十本は、多すぎますよ。

1. A: 山田さんは今日はまだ来ませんね。
   B: ええ、遅れると言っていましたから。それにしても、＿＿＿＿＿。
2. A: やっと終わりました。たくさんありましたからね。
   B: ご苦労さま。それにしても、＿＿＿＿＿。
3. A: このセーターどうですか。三万円もしたんですよ。
   B: いいですね。それにしても、＿＿＿＿＿。
4. A: この学校は宿題が多いと聞いていましたが。
   B: ええ、それにしても、＿＿＿＿＿。
5. A: この美術館はよくこんなにたくさんの作品を集めたものですね。
   B: そうですね。それにしても、＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

＿＿＿＿＿の学生たちを連れて、＿＿＿＿＿。そこで、＿＿＿＿＿を見ることになったが、そのとき、視覚障害のTさんが＿＿＿＿＿と言って、皆を驚かせ

た。ある学生が「＿＿＿＿＿」とTさんに尋ねたところ、Tさんは「＿＿＿＿＿」と答えた。研修が続くある日、学生たちと＿＿＿＿＿について考えた。「＿＿＿＿＿」、「＿＿＿＿＿」などの意見が出て、良い時間を持つことができた。



話しましょう

A　第22課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「人間の個性の違いまで、異文化と考えるべきではないと思います。異文化間に起こる問題とは、国籍、人種、民族、言語、宗教などの違いが原因で起こる集団と集団との問題です。日本ではあまりこのような問題がありませんから、個人の違いまで異文化と考えるのかもしれませんが、それは違うと思います」

B　外国に住んだり、旅行をしたりすることにどんな意味があると思いますか。



書きましょう

A－1　＿＿＿＿＿とばかり思っていた私は、思いがけない＿＿＿＿＿て、＿＿＿＿＿。

例：学生たちから大歓声がわき上がるだろうと思っていた
→学生たちから大歓声がわき上がるだろうとばかり思っていた私は、思いがけない言葉を聞いて、Tさんの顔を見つめた。

1. 友達に喜んでもらえるだろうと思っていた　→
2. 両親に反対されるだろうと思っていた　→
3. 試験は大丈夫だと思っていた　→

A－2　＿＿＿＿＿のは＿＿＿＿＿と思われがちだが、＿＿＿＿＿。

例：「異文化」から連想される / 国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多い
→「異文化」から連想されるのは国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多いと思われがちだが、性別、世代、職業の違い、障害の有無なども人と人を隔てる異文化だと思う。

1. 外国で暮らす / 難しいことだ　→
2. 国際結婚をする / とても苦労が多い　→
3. 人に親切にする / 良いことだ　→

第23課　［うたう］



新しい言葉

シャボン玉（だま）	屋根（やね）	飛（と）ばす	はしゃぐ
詩（し）	テンポ	軽快（けいかい）ナ・ニ	曲（きょく）
かつて	口（くち）ずさむ	童謡（どうよう）	七色（なないろ）
輝（かがや）く	舞（ま）う	事情（じじょう）	故郷（こきょう）
後（あと）にする	作者（さくしゃ）	まなざし	詩人（しじん）
歌詞（かし）	表面（ひょうめん）	およそ（〜ない）	考（かんが）え付（つ）く
奥（おく）	叫（さけ）び［←叫ぶ］	隠（かく）す	我（わ）が子（こ）
自（みずか）ら	不安（ふあん）ナ・ニ	やむを得（え）ない	か弱（よわ）い
間引（まび）く	貧困（ひんこん）ナ・ニ	吹（ふ）き散（ち）らす	託（たく）す
鎮魂歌（ちんこんか）	人知（ひとし）れず	貧（まず）しい	農民（のうみん）
代（か）わる	請（こ）う	涙（なみだ）	両手（りょうて）
祈（いの）る	悲痛（ひつう）ナ・ニ	徐々（じょじょ）に	〜以上（いじょう）
最低（さいてい）	底（そこ）	震（ふる）える	ぶつける
無邪気（むじゃき）ナ・ニ	ふくらます	思（おも）い付（つ）く	虹（にじ）
光（ひか）り輝（かがや）く	願（ねが）う	作物（さくもつ）	実（みの）る
不要（ふよう）ナ・ニ	抜（ぬ）き取（と）る	空（あ）ける	農村（のうそん）
定義（ていぎ）スル	応（おう）じる	死語（しご）	ついていく
団体（だんたい）			



いっしょに考えましょう

1. 子供のときにどんな歌を歌ったか教えてください。
2. 子供のときに歌った歌で、一番好きな歌はどんな意味の歌ですか。
3. 今、どんな歌が好きですか。
4. それはどこで覚えた歌ですか。
5. その歌を歌うと、どんな気持ちになりますか。

[うたう]

シャボン玉飛んだ　屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで　壊れて消えた
風々吹くな　シャボン玉飛ばそ

野口雨情は、はしゃぎながらシャボン玉を飛ばす子供たちの姿を見て、この詩を書いたそうです。今はあまり歌われなくなったようですが、速いテンポで、明るく軽快な曲が付けられ、かつてはだれもが口ずさむ童謡でした。しかし、雨情の目に映っていたのは、本当に笑顔あふれる子供たちや七色に輝きながら青空を舞うシャボン玉だったのでしょうか。どんな事情があったのか、生まれ故郷を後にしなければならなかった作者雨情は、ふるさとを愛し、その自然を優しく見つめた人でした。また、弱い立場のものに暖かいまなざしを注ぐ詩人だったとも伝えられています。そんな雨情が作った「シャボン玉」の歌詞には、その表面からはおよそ考え付かないような作者の心の奥からの叫びが隠されているように、私には聞こえるのです。

我が子どころか、自らの明日の生活にさえ不安を感じていた親たちが、やむを得ず生まれてすぐのか弱い命を間引かなければならなかった時代。貧困という風に吹き散らされ、次々に消えていく命短いシャボン玉に託して、雨情は幼い命への鎮魂歌を作ったのではないでしょうか。

シャボン玉消えた　飛ばずに消えた
生まれてすぐに　壊れて消えた
風々吹くな　シャボン玉飛ばそ

人知れず幼い命を間引かなければならなかった貧しい農民たちに代わって、雨情が許しを請い、涙を流しています。「風よ、吹くな」と、

---

*根　吹　詩　軽　快　曲　童　謡　輝　舞　郷　*後　詞　奥
叫　隠　*我　*自　*明日　得　貧　*散　託　鎮　魂　*貧　請　涙

[うたう]

両手を合わせて祈っています。その悲痛な祈りは、徐々に怒りに変わります。いくら貧しくても、同じ人間である以上、人間として最低の生活があっていいはずだ。心の底からの震えるほどのこの怒りを、だれにぶつければいいのか。無邪気にシャボン玉をふくらます子供たちを目の前にして、雨情は、自分も一緒にシャボン玉を飛ばそうと思い付きました。「シャボン玉よ飛べ」「風よ吹くな」と祈りながら。幼い命の一つ一つが、広く大きな青空に向かって、虹のように光り輝き、どこまでもどこまでも飛んでくれることを、心から願いながら。

「間引く」は、学習研究社『国語大辞典』では、① 作物をより良く実らせるために、不要な一部を抜き取って間を空けること、② 農村などで、育てられない生まれてすぐの子を殺すこと、と定義されています。社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引き」という言葉など死語になってしまったようです。しかし、飛ばずに消えるシャボン玉や、屋根までしか飛べなかったシャボン玉の数は昔と同じくらい、あるいは、それ以上ではないのでしょうか。ゆとりのある生活をするために、子供はたくさん要らない、「育てられない」と言って、許しも請わず、涙も流さず、「生まれてすぐの」幼い命を簡単に間引く親たちが、今も大勢いるのです。勉強についていけないから、団体生活ができないからと言って、「不要な一部」として間引かれてしまう子供たちも少なくありません。

シャボン玉おいで　　ここまでおいで
消えずに飛んで　　ここまでおいで
風々吹くな　　シャボン玉消すな

シャボン玉の歌を聞くと、雨情のこんな願いが、私には聞こえてくるのです。

祈　*悲　*痛　徐　*低　底　震　邪　虹　*村　殺　義　*応　勢



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 野口雨情はどんな人だったと言われていますか。
2. 「シャボン玉」の歌詞には何が隠されていると言っていますか。
3. 昔の人はどうして子供の命を間引かなければならなかったのですか。
4. 雨情の怒りとはどのようなものですか。
5. 雨情が心から願っていたのはどんなことですか。
6. 「間引く」という言葉はどのように定義されていますか。
7. どうしてこの言葉は死語になってしまったのですか。
8. 今はもう「間引き」はなくなりましたか。
9. この歌から何を感じましたか。
10. 皆さんの国でよく歌われる童謡はどんな歌ですか。



使いましょう

A 「〜なんて、およそ〜ない」という言い方を練習しましょう。

例：そんな事故が起こるなんて、およそ考えられない。

1. 家や車を買うために子供を殺すなんて、およそ________。
2. 同じ間違いを繰り返すなんて、およそ________。
3. ________なんて、およそ見当も付かない。
4. ________なんて、およそ意味のないことだ。
5. ________なんて、およそ今までに例のないことだ。

B 「やむを得ず〜」という言い方を練習しましょう。

例：やむを得ず彼らは子供を殺す。

1. 忙しかったのですが、だれもやりたがらないので、やむを得ず________。
2. 今朝から熱があったのですが、用事があったので、やむを得ず________。
3. 両親が病気になったので、やむを得ず________。
4. ________ので、やむを得ず会うことにしました。
5. ________ので、やむを得ず________。

C 「〜以上」という言い方を練習しましょう。

例：学生である以上、勉強をすべきだ。

1. せっかく日本に来た以上、________。
2. 生きている以上、________。

3. 結婚した以上、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿以上、これからまじめに働こうと思います。
5. ＿＿＿＿＿以上、早くほかの仕事をさがそうと思います。

D 「〜に応じて」という言い方を練習しましょう。

例：きせつに応じて、着るものを変えます。

1. 「自然を守ろう」という新聞の広告に応じて、＿＿＿＿＿。
2. 友達の勧めに応じて、＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿に応じて、味をこくしたりうすくしたりします。
4. ＿＿＿＿＿に応じて、練習問題やテストを作ります。
5. ＿＿＿＿＿に応じて、運動のタイプを考えなければなりません。
6. 人々は＿＿＿＿＿に応じた服装をしています。
7. ＿＿＿＿＿に応じた生活をしていれば、問題はないはずです。
8. うちの会社では＿＿＿＿＿に応じた＿＿＿＿＿。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

シャボン玉の歌は＿＿＿＿＿への鎮魂歌だ。雨情が＿＿＿＿＿に代わって、＿＿＿＿＿のである。雨情の時代と違って社会は豊かになったが、今でも＿＿＿＿＿と言って、＿＿＿＿＿間引く親たちや、＿＿＿＿＿からと言って、＿＿＿＿＿として間引かれてしまう子供たちも少なくない。



話しましょう

A 第23課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「みんなが豊かな生活ができるよう、子供の数を決め、それ以上子供を作らないのは、現代では当たり前のことです。世界の人口問題のことを考えてみれば、それは、すぐ分かると思います」

B 今、「不要な一部」として「間引き」される子供たちをなくすにはどうすればよいと思いますか。



書きましょう

A-1 ＿＿＿＿＿(の)に応じて、今はもう＿＿＿＿＿。しかし、＿＿＿＿＿は、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。

例: 社会が豊かになる /「間引く」という言葉 / 間引かれる子供たち
→ 社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引く」という言葉は死語になってしまいました。しかし、間引かれる子供たちは、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。

1. 通信技術の発達 / 手紙 / E メールによる言葉のやりとり →
2. 社会全体の上下関係が少なくなる / 身分の違い / 会社という集団の秩序の厳しさ →
3. 生活様式の変化 / 家族団らんの時間 / 家族の結び付きの大切さ →

A−2 ＿＿＿＿からといって、＿＿＿＿（てしまう）＿＿＿＿も少なくありません。

例: 勉強ができない、団体生活ができない /「不要な一部」として間引かれる
→ 勉強についていけないから、団体生活ができないからといって、「不要な一部」として間引かれてしまう子供も少なくありません。

1. 仕事を続けたい / 子供を作らない →
2. 言葉や習慣が違う / 外国人を「よそ者」と決める →
3. なかなか上手にならない / 勉強をあきらめる →

B ＿＿＿＿のに応じて、今は（もう）＿＿＿＿。しかし、＿＿＿＿は、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。＿＿＿＿からといって、＿＿＿＿（てしまう）＿＿＿＿も少なくありません。

例: 社会が豊かになり、「間引く」という言葉は死語になったが、間引かれる子供がいることは変わらない
→ 社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引く」という言葉は死語になってしまいました。しかし、間引かれる子供たちは、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。勉強についていけないから、団体生活ができないからといって、「不要な一部」として間引かれてしまう子供も少なくありません。

1. 機械化が進み、私たちの生活は便利になったが、忙しさは変わらない →
2. 子供の数が少なくなり、大学に入りやすくなったが、競争の厳しさは変わらない →
3. お年寄りが増え、お年寄りのためのサービスも多くなったが、年を取って寂しいと感じるのは変わらない →

第24課　[なおす]



新しい言葉

長生き(ながいき)スル	かなえる	目標(もくひょう)	医療(いりょう)
助(たす)かる	器具(きぐ)	導入(どうにゅう)スル	ケース
がん	～をはじめ	先天的(せんてんてき)ナ・ニ	心臓(しんぞう)
治療(ちりょう)スル	治(なお)す	腎臓(じんぞう)	肝臓(かんぞう)
患者(かんじゃ)	移植(いしょく)スル	臓器(ぞうき)	手術(しゅじゅつ)スル
数年(すうねん)	ドナーカード	注目(ちゅうもく)スル	生前(せいぜん)
本人(ほんにん)	意思(いし)	表明(ひょうめい)スル	制度(せいど)
(～を)めぐる	専門(せんもん)	必(かなら)ずしも～ない	順調(じゅんちょう)ナ・ニ
特(とく)に	脳死(のうし)	場合(ばあい)	～ことから
関連(かんれん)スル	議論(ぎろん)スル	脳波(のうは)	人工呼吸(じんこうこきゅう)スル
取(と)り付(つ)ける	横(よこ)たわる	外(はず)す	第三者(だいさんしゃ)
言(い)い切(き)る	身内(みうち)	割(わ)り切(き)る	もしかして
認(みと)める	～わけにはいかない		平均寿命(へいきんじゅみょう)
年々(ねんねん)	伸(の)びる	現実(げんじつ)ニ	通院(つういん)スル
寝(ね)たきり	植物人間(しょくぶつにんげん)	負担(ふたん)スル	可能性(かのうせい)
果(は)たして	本来(ほんらい)	最大限(さいだいげん)ニ	取(と)り除(のぞ)く
成(な)す	現場(げんば)	現状(げんじょう)	多量(たりょう)
最新(さいしん)	(最新)式(さいしんしき)	延命(えんめい)スル	～ばかりか
高齢(こうれい)	考(かんが)え直(なお)す		



いっしょに考えましょう

1. 大きな病気やけがで入院したことがありますか。
2. 知っている人が入院したことがありますか。
3. 皆さんの国にある、昔から使われている病気の治(なお)し方を話してください。
4. 昔はなかったけれど、今はよく使われている病気の治し方の例を挙げてください。
5. 新しい技術を使って、昔は治せなかった病気が今は治せるようになりましたが、その結果、どんなことが起こっているか考えてください。

[なおす]

一日でも長生きをという願いをかなえることを目標に、医療技術は目覚しい進歩を遂げてきた。その結果、昔なら助からなかった人が、新しい器具や技術の導入のおかげで元気になるケースも今では少なくない。しかし、そうした医療技術の進歩が私たちにもたらしたものは何だったのだろうか。

がんをはじめ、先天的な心臓病など治療が難しい病気は多い。そのような重い病気を治す方法の一つが、他人から心臓、腎臓、肝臓などを提供してもらい患者に移植する、いわゆる臓器移植の手術である。日本でも数年前にドナーカードが導入され、大きな注目が集まった。もし、自分に万一のことがあったら臓器を提供すると、生前に本人の意思を表明しておく制度である。もっとも、この制度をめぐっては、臓器移植そのものについて専門家の間でさえも様々な問題が取り上げられ、必ずしも順調に普及しているというわけではない。特に、臓器が脳死者から提供される場合が多いことから、それに関連する多くの議論があり、簡単には片付けられない問題となっている。

脳死とは、脳波が止まり、人工呼吸によって心臓だけが動いている状態を呼ぶ。患者に意識はなく、身体中に器具を取り付けられ、ただベッドに横たわっているだけである。話しかけても返事はもちろん、全く反応しない。笑うことも泣くことも、食べることも飲むこともしない。「これでは生きているとは言えない。器具を外してしまうべきだ」と、第三者なら言い切れるのだろうが、身内の立場からするとそう簡単に割り切

標　療　導　臓　治　*治　腎　肝　患　*者　*移　専　順　脳

*波　*呼　吸　*身体　泣　*外　*内　*割

[なおす]

ることはできない。「もしかして」という思いで、なかなか死を認めるわけにはいかない。

現在、医療技術の進歩のおかげで、平均寿命は年々伸びる傾向にある。いつまでも健康であるなら何も問題はないのだが、現実はどうなのだろうか。何らかの理由で通院しなければならない人、寝たきりの人、さらには、植物人間と呼ばれる状態で、身内に大きな負担をかけている人。自分の身の回りにはそんな人はいないと、自分はそんな状態になる可能性はないと、果たしてどれだけの人が言えるのか。

本来、医療とは、患者の苦しみを最大限取り除くことを目的に成されるべきものではなかったのだろうか。医療現場の現状を見ると、必ずしもそうではないようだ。患者本人の思いとは別に、一分、一秒でも長生きさせるために多量の薬を使い、最新式の器具の助けを借り、延命治療が続けられている。そうした現状が、患者ばかりか周りの人たちに何をもたらすことになるのか。社会の高齢化が進む今、もう一度考え直すべき問題である。



認　均　寿　*命　伸　*負　担　*限　*除　*成　秒　量　延



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 何を目標に医療技術を進歩させてきましたか。
2. その結果、どうなりましたか。
3. 重い病気を治す方法の一つとして、どんな方法が開発されましたか。
4. そのために、どんな制度が作られましたか。
5. この制度をめぐって、特にどんな議論がありますか。
6. 脳死というのはどんな状態のことですか。
7. 平均寿命が延びるのは良いことですか。
8. 医療の目的とは何だと言っていますか。
9. 現在の医療でおかしいと思うことは何ですか。
10. これからの医療で一番考えられなければならないと思うことは何ですか。



使いましょう

A 「〜をはじめ」という言い方を練習しましょう。

例: 医者をはじめ、各界の専門家から様々な意見が出されている。

1. 今度の計画は、社長をはじめ、＿＿＿＿＿。
2. その劇的な瞬間は、テレビをはじめ、＿＿＿＿＿。
3. 私の家では、父をはじめ、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿をはじめ、全員が反対しています。
5. ＿＿＿＿＿をはじめ、いろいろ有名な所へ行きました。

B 「〜をめぐって」という言い方を練習しましょう。

例: 脳死をめぐって、様々な意見が出された。

1. 昨日の会議では、新しい計画をめぐって、＿＿＿＿＿。
2. 臓器移植をめぐって、＿＿＿＿＿。
3. 父の残した土地をめぐって、＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿をめぐって、様々な意見が出された。
5. ＿＿＿＿＿をめぐって、あちらこちらで会議が開かれた。

C 「〜ことから」という言い方を練習しましょう。

例: この町は川が多いことから、「水の町」と呼ばれている。

1. 最近＿＿＿＿＿ことから、交通規則がさらに厳しくなった。
2. 最近＿＿＿＿＿ことから、個人情報の管理が問題となっている。

3. 最近＿＿＿＿＿ことから、仕事を持たない人が増えた。
4. ＿＿＿＿＿ことから、結婚式の日を五月に決めた。
5. ＿＿＿＿＿ことから、＿＿＿＿＿は無理だと判断した。

D 「～わけにはいかない」という言い方を練習しましょう。

例: 人の心の問題を無視するわけにはいかない。

1. 社長だからといって、＿＿＿＿＿わけにはいかない。
2. いくらお酒が飲めなくても、＿＿＿＿＿わけにはいかない。
3. 先生にたのまれたのだから、＿＿＿＿＿わけにはいかない。
4. 母に知られたら、＿＿＿＿＿わけにはいかない。
5. 持っているお金を全部使って＿＿＿＿＿わけにはいかない。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

医療技術の進歩は目覚しい。日本でも数年前＿＿＿＿＿ために、＿＿＿＿＿が導入された。しかし、臓器が＿＿＿＿＿場合も多く、様々な問題がある。また、平均寿命は＿＿＿＿＿が、それは本当に良いことだろうか。本来、医療とは、＿＿＿＿＿のに、患者本人の思いとは別に、＿＿＿＿＿が続けられている。それが、＿＿＿＿＿のか、もう一度考え直すべきである。



話しましょう

A 第 24 課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「長生きすればするほど幸福だと多くの人は考えているようですが、違うと思います。人間の幸せは生きる長さとは関係ないと思います。長くても短くてもそれぞれ意味があると思います。人間は自然に生まれ、死ぬのが一番いいと思います」

B 治らない病気にかかった患者に医者はそれを知らせるべきだと思いますか。



書きましょう

A-1 本来、＿＿＿＿＿とは、＿＿＿＿＿ではなかったのだろうか。しかし、＿＿＿＿＿を見ると、必ずしも＿＿＿＿＿。

例: 医療は患者の苦しみを最大限取り除くことだ

→本来、医療とは、患者の苦しみを最大限取り除くことを目的に成されるべきものではなかったのだろうか。しかし、医療現場の現状を見ると、必ずしもそうではないようだ。

1. 報道は事実を正確に伝えるためのものだ →
2. 教育は子供の可能性を最大限に育てることだ →
3. 宗教が目指すのは人間が安心して平和に暮らせる世界だ →

A-2 ＿＿＿が＿＿＿のか、＿＿＿今、もう一度考え直すべき問題である。

例: 医療現場の現状 / 患者や周りの人たちにもたらすもの / 社会の高齢化
→医療現場の現状が患者や周りの人たちに何をもたらすのか、社会の高齢化が進む今、もう一度考え直すべき問題である。

1. 便利で豊かな暮らし / 地球環境に与える影響 / 環境破壊 →
2. 子供の数が少なくなること / 将来の日本経済に与える影響 / 社会の高齢化 →
3. 外国語を勉強することだけ / 国際化を進める方法 / 異文化との交流がますます求められている →

第25課　[のびる]



新しい言葉

おやじ
握る（にぎ）
資本（しほん）
奇跡的ナ・ニ（きせきてき）
乗り切る（の　き）
(〜を)挙げて（あ）
(競争)力（きょうそう　りょく）
幅広い（はばひろ）
年功序列（ねんこうじょれつ）
摩擦スル（まさつ）
業績（ぎょうせき）
従業スル（じゅうぎょう）
(その)辺（へん）
ふと
はかない
倒産スル（とうさん）
(就職)難（しゅうしょく　なん）
キーワード
視野（しや）
注文スル（ちゅうもん）
口をはさむ（くち）
次第に（しだい）
〜たびニ
(〜に)わたる
有数（ゆうすう）
かけ声（ごえ）
優秀ナ（ゆうしゅう）
独特ナ（どくとく）
雇用スル（こよう）
株式会社（かぶしきがいしゃ）
伸ばす（の）
(従業)員（じゅうぎょう　いん）
目先（めさき）
価値（かち）
バブル景気（けいき）
失業スル（しつぎょう）
週休二日制（しゅうきゅうふつかせい）
目を向ける（め　む）
揺らぐ（ゆ）
皮肉ナ（ひにく）
不景気ナ（ふけいき）
熱が入る（ねつ　はい）
対応スル（たいおう）
石油（せきゆ）
大国（たいこく）
(〜の)下（もと）
人材（じんざい）
終身雇用（しゅうしんこよう）
帰属意識（きぞくいしき）
(冗談)交じり（じょうだん　ま）
表情（ひょうじょう）
全員（ぜんいん）
しかしながら
見いだす（み）
崩壊スル（ほうかい）
(失業)率（しつぎょう　りつ）
余暇（よか）
〜つつある
基礎（きそ）
地道ナ・ニ（じみち）
見失う（みうしな）
交える（まじ）
克服スル（こくふく）
危機（きき）
(〜に)おける
市場（しじょう）
確保スル（かくほ）
保証スル（ほしょう）
貿易スル（ぼうえき）
一体（いったい）
(父親)役（ちちおや　やく）
物語る（ものがた）
とらわれる
公害（こうがい）
不況（ふきょう）
新卒（しんそつ）
生涯（しょうがい）
長期的ナ・ニ（ちょうきてき）
築く（きず）



いっしょに考えましょう

1. 日本の経済について、知っていることはどんなことですか。
2. 会社を選ぶとき、どんな点を考えて選びますか。
3. 皆さんの国では、定年まで働く人が多いですか。
4. 皆さんの国が、これからも経済発展するために問題だと思うことは何ですか。
5. 経済発展をした国が果たすべき役割は何だと思いますか。

[のびる]

「あの時代がおかしかったんですよ」おやじさんが、口をはさんだ。同僚と長く続く不景気の話を始めたときのことだ。「作りさえすれば何でも売れた時代があったもんだから、調子に乗りすぎて自分の本当の姿を見失ってたんだよ、国全体がね」商社を途中で退職して、包丁を握ることにしたというおやじさんの言葉には、次第に熱が入ってきた。「おやじさんの昔の話なんか聞くの、初めてだな」いつもの所で一杯やっていた同僚と私は顔を見合わせた。それからしばらく、おやじさんも交えて経済の話になった。

戦後わずか四十年ほどの間に、資源も資本も持たない日本が、様々な困難に遭うたびにそれに対応、克服して奇跡的な経済成長を遂げた。そればかりか、二度にわたる石油危機も乗り切り、有数の経済大国として世界経済における重要な役割をも果たすようになった。国を挙げての経済発展のかけ声の下、企業はどこも、世界市場で十分な競争力を持つ商品の開発を目指して、優秀な人材を確保し、幅広い技術を身に付けさせる。と同時に、日本独特の終身雇用制度で身分を保証し、年功序列にしたがって雇用者を昇進させ、給与を上げることで、社員の帰属意識を強くしてきた。時には貿易摩擦を引き起こした国々から「日本株式会社」と冗談交じりに呼ばれるほどに、企業は国と一体となって業績を伸ばしてきた。

「『仕事は』って聞かれると、会社の名前を答えてたものな」おやじさんの顔に懐かしそうな表情が浮かんだ。「社長が父親役で、従業員全員

---

*失 握 *交 克 奇 跡 *挙 *下 *優 秀 保 幅 *終 雇 功 列 貿 易 摩 擦 績 従

[のびる]

が家族」そう語るおやじさんの言葉が当時の状況をよく物語っている。もっとも、その辺(へん)の事情は同僚と私も知らないわけではない。

家にいる時間よりも会社にいる時間の方が長い、そんな生活の繰り返しの時代だった。今振り返ってみれば、目先の利益ばかり追っていたと言われるかもしれないが、それでも一生懸命頑張り、業績はどんどん伸びた。しかしながら、利益にばかりとらわれているうちに何かを見失い、ふと気が付くと、残ったのはカネとモノだけにしか価値(かち)を見いだせない人間、そして、ひどい公害だけだった。その後、はかないシャボン玉のような存在だったバブル景気の崩壊(ほうかい)がきっかけとなって、長い不況時代へ。今、テレビや新聞紙上では、かつてない規模で続く倒産(とうさん)、リストラによる高い失業率(しつぎょうりつ)、新卒者の就職難と、毎日のように深刻な状況が報道されている。

もっとも一方では、残業に取られなくなった時間や週休二日制でできた余暇(よか)を利用して、ボランティア活動や生涯(しょうがい)教育のクラスに参加する余裕を持った人たちも確実に増えてきている。「自分らしく」をキーワードに「カネとモノからココロに目を向ける時代」へ移りつつあるという。人間が人間らしく生きるために、長期的な視野に立って揺(ゆ)らぐことのない社会の基礎(きそ)を築(きず)くことの大切さが、今こそ問われているのかもしれない。

「二度とあんな時代は来ないよ。いや、来て欲しくないね。嫌だよ、あんな人生。ハイ、ビールね」他の客の注文(ちゅうもん)も聞きながら「包丁持って二十五年。皮肉(ひにく)な話だけど、金は無(な)くても今の方がずっと地道に、自分の力で生きてるような気がするよ」おやじさんは言葉を続けた。

*辺　値　崩　*倒　率　*暇　涯　揺　基　礎　築　*文　*皮　*無



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 店のおやじさんはどんな人ですか。
2. 戦後四十年の間に日本の経済はどうなりましたか。
3. 企業は、何を目指してどんな努力をしましたか。
4. 「終身雇用」や「年功序列」と呼ばれる制度は、どんな結果をもたらしましたか。
5. 「日本株式会社」と呼ばれたのはどうしてですか。
6. 日本経済が高度成長を果たした結果、何が残ったと言っていますか。
7. バブル景気崩壊後の長い不況の影響で、どんなことが起こっていますか。
8. 今、時代はどのように移りつつあると言っていますか。
9. 皆さんの国の経済は今どんな状態にありますか。
10. 皆さんの国のこれからの経済発展にとって、一番大きな問題は何だと思いますか。



使いましょう

A 「〜さえ〜ば」という言い方を練習しましょう。

例: A: 会社を経営するのに、一番大切なことは．．．。
B: 優秀な人材さえ確保できれば、後は、あまり問題ないですよ。

1. A: これ、だれにでも簡単に使えますか。
   B: ええ、ここに書いてある説明さえ＿＿＿＿ば、＿＿＿＿。
2. A: 日本の大学生はどうして勉強しないんですか。
   B: ＿＿＿＿さえ＿＿＿＿ば、後は卒業できると思ってるんですよ。
3. A: まだできないんですか。
   B: ええ、後は＿＿＿＿さえ＿＿＿＿ば、それで終わりです。
4. A: ＿＿＿＿さえ＿＿＿＿ば、食べられると書いてあるんですが。
   B: そうですよ。お湯を入れて、三分間待てば食べられます。
5. A: あなたは頭がいいんだから、後は＿＿＿＿さえ＿＿＿＿ば、＿＿＿＿。
   B: そうですか。でも日本の大学へ入るのはそんなに簡単じゃないでしょう。

B 「〜たびに」という言い方を練習しましょう。

例: 日本経済はそのたびにこれを乗り切ってきた。

1. あの人はクリスマスのたびに＿＿＿＿。
2. あの人は会うたびに＿＿＿＿。

3. 本屋へ行くたびに＿＿＿＿＿。
4. 新しい経験をするたびに＿＿＿＿＿。
5. 毎年夏が来るたびに　＿＿＿＿。

C 「～における／～においては」という言い方を練習しましょう。

例：世界経済における日本の役割は重要になっている。

1. 現代におけるマスコミの役割は＿＿＿＿＿。
2. 家庭における母親の役割は　＿＿＿＿。
3. 職場における男性の立場は＿＿＿＿＿が、家庭においては＿＿＿＿＿。
4. 日本の企業においては＿＿＿＿＿が大きな問題だ。
5. 人口の多い都市においては＿＿＿＿＿が問題になっている。

D 「～の下で」という言い方を練習しましょう。

例：国際化のかけ声の下で私たちは頑張った。

1. 彼は十五歳まで両親の下で＿＿＿＿＿。
2. 厳しい先生の下で＿＿＿＿＿。
3. 新しい社長の下で＿＿＿＿＿。
4. 経済発展のかけ声の下で、＿＿＿＿＿。
5. 周りの人々の暖かい援助の下で、＿＿＿＿＿。

E 「～つつある」という言い方を練習しましょう。

例：経済発展にばかり目を向けることによって、価値あるものを見失いつつある。

1. 地球の自然は＿＿＿＿＿によって＿＿＿＿＿つつある。
2. 日本の雇用制度は＿＿＿＿＿によって＿＿＿＿＿つつある。
3. 社会の上下関係は＿＿＿＿＿によって＿＿＿＿＿つつある。
4. 平均寿命は＿＿＿＿＿によって＿＿＿＿＿つつある。
5. 親子の関係は＿＿＿＿＿によって＿＿＿＿＿つつある。



まとめましょう

下線のところに言葉を入れてください。

日本は戦後わずか四十年ほどの間に、＿＿＿＿＿。しかし、＿＿＿＿＿うちに何かを見失い、残ったのは、＿＿＿＿と＿＿＿＿＿だけだった。バブル景気の崩壊後は＿＿＿＿＿。もっとも一方では、＿＿＿＿＿人たちも増えており、「カネとモノから＿＿＿＿＿」へ移りつつあると言う。＿＿＿＿＿の大切さが今問われている。



話しましょう

Ａ 第 25 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の国では定年まで一つの会社にいる人は少なく、自分に合わなければどんどん職場を変えます。若くても仕事ができれば、課長や部長になれ、日本の会社のように長く勤めていれば、力がなくても上司になれるということはありません」

Ｂ 今一番話題になっている経済問題は何ですか。それについて話し合いましょう。



書きましょう

Ａ-1 ＿＿＿＿と言われるかもしれないが、それでも、＿＿＿＿て、＿＿＿＿。

例: 目先の利益ばかり追っていた

→目先の利益ばかり追っていたと言われるかもしれないが、それでも、一生懸命頑張って、業績はどんどん伸びた。

1. 遊んでばかりいるくせに →
2. 最近の若者はだめだ →
3. 役に立たない →

Ａ-2 ＿＿＿＿うちに、＿＿＿＿。ふと気が付くと、＿＿＿＿(の)は＿＿＿＿。

例: 目先の利益にとらわれる / 残る / カネとモノだけに価値を見いだす人間とひどい公害

→目先の利益にとらわれているうちに、何かを見失ってしまった。ふと気が付くと、残ったのはカネとモノだけに価値を見いだす人間とひどい公害だけだった。

1. 仕事に夢中になる / 残業している / 私 →
2. 子供のことばかり考える / 私の人生 / 子供を育てること →
3. 熱心にアルバイトをする / 大学生活の思い出 / アルバイトに関係のあること →

索　引

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

す

ち

つ

て

と

な

に

ぬ

ね

の

は

ひ

ふ

み

む

め

も

や

ゆ

よ

著　作　者（五十音順）

荒井礼子（甲南大学言語文化センター非常勤講師）
太田純子（KIT日本語研究所）
亀田美保（元大阪YMCA日本語学校主任講師）
木川和子（エイモン日本語教育研究所代表）
桑原直子（元大阪YMCA日本語学校専任講師）
長田龍典（大阪YMCA日本語学校主任講師）
松田浩志（プール学院大学国際文化学部教授）

テーマ別　中級から学ぶ日本語（改訂版）

1991年4月25日　初版発行
2004年7月30日　改訂版　第5刷発行


KENKYUSHA
〈検印省略〉

著　者　松田浩志 ほか
発行者　荒木邦起
印刷所　研究社印刷株式会社

発行所　株式会社　研究社
〒102-8152
東京都千代田区富士見2-11-3
電話 (編集) 03(3288)7711 (代)
(営業) 03(3288)7777 (代)
振替 00150-9-26710
http://www.kenkyusha.co.jp/

Printed in Japan / ISBN4-327-38443-7 C1081

カバーデザイン: 大谷信之(OVO) / 本文デザイン: 清水美弥子(OVO) / 本文イラスト: 中野耕司